

HP Designjet T770 および T1200 プリンタ シリ  
ーズ  
プリンタの使い方



#### 法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。



USB 2.0 高速対応。

#### 商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、および Adobe® PostScript® 3™は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Corell®は、Corel Corporation または Corel Corporation Limited の商標および登録商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは、米国における商標です。

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.の測色基準の商標です。

# 目次

## 1 はじめに

安全に関する注意事項 .....	2
HP スタートアップ キット .....	2
このガイドの使用方法 .....	2
プリンタ モデル .....	4
プリンタの主な機能 .....	4
プリンタの主なコンポーネント .....	5
フロントパネル .....	8
プリンタ ソフトウェア .....	9
プリンタの印刷メニュー .....	10

## 2 ソフトウェアインストール

使用する接続方法を選択する .....	12
ネットワークに接続する (Windows) .....	12
直接コンピュータに接続する (Windows) .....	12
プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Windows) .....	14
ネットワークに接続する (Mac OS) .....	14
直接コンピュータに接続する (Mac OS) .....	17
プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Mac OS) .....	18

## 3 プリンタを設定する

はじめに .....	21
用紙の適合性のオプション (T1200 シリーズのみ) .....	21
ネスティングをオン/オフにする (T1200 シリーズのみ) .....	22
使用状況に関する情報をオン/オフにする .....	23
アラートをオン/オフにする .....	23
プリンタへのアクセスのコントロール .....	24
アカウント ID の要求 (T1200 シリーズのみ) .....	24
Windows ドライバの環境設定を設定する .....	24

## 4 プリンタのカスタマイズ

プリンタをオン/オフにする .....	26
フロントパネルの表示の言語を変更する .....	27
HP Utility にアクセスする .....	27
内蔵 Web サーバにアクセスする .....	27
HP Utility の表示の言語を変更する .....	28
内蔵 Web サーバの言語を変更する .....	28

スリープモード設定を変更する .....	28
ブザーをオン/オフする .....	28
フロントパネルの表示のコントラストを変更する .....	29
測定単位を変更する .....	29
ネットワーク設定を構成する .....	29
グラフィック言語の設定を変更する .....	30

## 5 用紙の取り扱い

一般的なヒント .....	32
ロール紙をスピンドルに取り付ける .....	33
プリンタにロール紙を取り付ける .....	34
ロール紙を取り外す .....	38
カット紙を取り付ける .....	39
カット紙を取り外す .....	41
用紙に関する情報を表示する .....	42
用紙プリセット .....	43
用紙情報を印刷する .....	43
用紙を移動する .....	44
用紙を保守する .....	44
乾燥時間を変更する .....	44
自動カッターのオン/オフを切り替える .....	45
用紙を排紙/カットする .....	45

## 6 2本のロール紙の取り扱い (T1200 シリーズのみ)

マルチロールプリンタの使用 .....	47
プリンタがロール紙にジョブを割り当てる手順 .....	47

## 7 印刷

印刷ジョブを作成する .....	50
印刷品質を選択する .....	51
用紙サイズを選択する .....	52
マージンオプションを選択する .....	53
ショートカットを使用して印刷する .....	53
取り付けられている用紙への印刷 .....	54
印刷を拡大縮小する .....	55
重なった線の処理方法を変更する .....	55
印刷をプレビューする .....	56
試し印刷をする .....	56
高品質の印刷 .....	57
グレースケールで印刷する .....	58
マージンなしで印刷する (T1200 シリーズのみ) .....	59
切り取り線付きで印刷する (T1200 シリーズのみ) .....	60
前回のジョブを再印刷する .....	60
用紙を節約する .....	60
ジョブをネスティングしてロール紙を節約する (T1200 シリーズのみ) .....	61
インクを節約する .....	62

ロール紙保護 (T1200 シリーズのみ) .....	63
無人印刷/夜間印刷 (T1200 シリーズのみ) .....	63

## 8 カラーマネジメント

はじめに .....	66
色が表示される仕組み .....	66
カラーマネジメント プロセスの概要 .....	66
カラー キャリブレーション .....	66
プリンタ ドライバからのカラーマネジメント .....	68
プリンタ ドライバからのカラーマネジメント (PostScript プリンタ) .....	71
内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント (T1200 シリーズのみ) .....	73
フロントパネルからのカラーマネジメント .....	75

## 9 実際の印刷の例

正しい倍率で試し印刷する .....	78
プロジェクトの印刷 .....	80
プレゼンテーションの印刷 .....	90
Microsoft Office からの印刷および拡大縮小 .....	97

## 10 ジョブキューの管理

はじめに .....	104
ジョブキュー ページ (T1200 シリーズのみ) .....	104
ジョブのプレビュー (T1200 シリーズのみ) .....	105
ジョブキューをオフにする (T770 HD および T1200 シリーズのみ) .....	105
キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する (T770 HD および T1200 シリーズのみ) .....	105
キュー内のジョブを識別する (T770 HD および T1200 シリーズのみ) .....	106
キュー内の特定ジョブを優先させる (T770 HD および T1200 シリーズのみ) .....	106
キューからジョブを削除する (T770 HD および T1200 シリーズのみ) .....	107
キュー内のジョブを再印刷またはコピーする (T770 HD および T1200 シリーズのみ) .....	107
ジョブのステータス メッセージ (T770 HD および T1200 シリーズのみ) .....	107

## 11 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

プリンタのアカウント情報 .....	110
プリンタの使用状況に関する情報を確認する .....	110
ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する .....	110

## 12 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い

インクカートリッジについて .....	113
インクカートリッジのステータスを確認する .....	113
インクカートリッジを取り外す .....	114
インクカートリッジを取り付ける .....	115
プリントヘッドについて .....	116
プリントヘッドのステータスを確認する .....	116
プリントヘッドを取り外す .....	117
プリントヘッドを取り付ける .....	120

### 13 プリンタを保守する

プリンタ ステータスを確認する .....	125
プリンタの外部をクリーニングする .....	125
インクカートリッジを保守する .....	125
プリンタを移動または保管する .....	125
ファームウェアをアップデートする .....	126
ソフトウェアをアップデートする .....	127
プリンタ保守キット .....	127
安全なディスク消去 .....	127

### 14 アクセサリ

サプライ品およびアクセサリ .....	130
アクセサリ .....	134

### 15 用紙に関するトラブルシューティング

用紙が正しく取り付けられない .....	137
用紙の種類がドライバに含まれていない .....	139
間違った用紙の種類に印刷された .....	140
「一時停止しています」というメッセージが表示される (T1200 シリーズのみ) .....	140
ロール紙が送られない .....	141
用紙が詰まっている .....	142
帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する .....	145
プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される .....	145
印刷物がバスケットに正しく排出されない .....	145
印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる .....	146
印刷が完了すると用紙がカットされる .....	146
カッターで正しくカットされない .....	146
ロール紙がスピンドルでたるむ .....	146
拡張精度のキャリブレーションを行う .....	146

### 16 印刷品質に関するトラブルシューティング

一般的なヒント .....	150
印刷品質のトラブルシューティング ウィザード .....	150
イメージに横線 (バンディング) .....	151
描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない .....	152
線画が段状またはギザギザに表示される .....	153
線画が二重または間違った色で印刷される .....	153
線が不連続になる .....	154
線がぼやけている .....	155
線の長さが不正確 .....	155
イメージ全体がぼやけているかざらついている .....	156
用紙が平らになっていない .....	156
印刷が擦り切れる、または傷がつく .....	157
用紙にインクが残る .....	157
印刷部に触れると黒インクが擦れる .....	158
オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない .....	159

オブジェクトの端が予期したよりも暗い .....	159
カット紙の端に横線が印刷される .....	159
縦線の色が異なる .....	159
印刷物に白色の点がある .....	160
色が正確に再現されない .....	160
カラーの色あせ .....	161
イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない) .....	161
イメージの一部が印刷されない .....	161
一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない .....	162
PDF ファイルの一部やオブジェクトが印刷されない .....	163
イメージ診断の印刷 .....	163
問題が解決されない場合 .....	165

## 17 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

インクカートリッジを取り付けられない .....	167
インクカートリッジのステータス メッセージ .....	167
プリントヘッドを取り付けられない .....	167
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される .....	167
プリントヘッドをクリーニングする .....	168
プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング .....	168
プリントヘッドの軸合わせを行う .....	171
プリントヘッドのステータス メッセージ .....	173

## 18 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング

プリンタが起動しない .....	175
プリンタで印刷されない .....	175
プリンタの印刷が遅い .....	176
コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある .....	176
HP Utility にアクセスできない .....	177
内蔵 Web サーバにアクセスできない .....	177
ファイル システムの自動確認 .....	178
AutoCAD 2000 でメモリ アロケーション エラーが発生する .....	178
Microsoft Visio 2003 から印刷しても出力されない .....	178
QuarkXPress から印刷する際に使用できない機能 .....	179
プリンタ アラート .....	179

## 19 フロントパネル エラー メッセージ

## 20 HP カスタマー・ケア

はじめに .....	185
HP プロフェッショナル サービス .....	185
HP インスタント サポート .....	186
HP プロアクティブ サポート .....	186
HP サポートへのお問い合わせ .....	187

## 21 プリンタ仕様

プリンタ機能の仕様 .....	189
物理的仕様 .....	190
メモリの仕様 .....	190
電源の仕様 .....	190
エコロジーに関する仕様 .....	191
動作環境の仕様 .....	191
動作音に関する仕様 .....	191

用語集 .....	192
-----------	-----

索引 .....	194
----------	-----

# 1 はじめに

- [安全に関する注意事項](#)
- [HP スタートアップ キット](#)
- [このガイドの使用方法](#)
- [プリンタ モデル](#)
- [プリンタの主な機能](#)
- [プリンタの主なコンポーネント](#)
- [フロントパネル](#)
- [プリンタ ソフトウェア](#)
- [プリンタの印刷メニュー](#)

## 安全に関する注意事項

次の注意事項に従うことにより、プリンタを適切に使用してプリンタの故障を防ぐことができます。常にこれらの注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。
- 必ずプリンタを接地してください。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- プリンタを分解または修理しないでください。サービスについては、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください ([187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#)を参照)。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の恐れがあります。破損した電源コードは HP 純正の電源コードと交換してください。
- 金属または液体 (HP クリーニング キットで使用するものを除く) がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
- 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
  - プリンタ内部に手を入れる場合
  - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする場合
  - プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合
  - 金属や液体 (クリーニングおよび保守手順の一部ではなく) がプリンタの内部部品に触れた場合
  - 雷雨時
  - 停電時

## HP スタートアップキット

HP スタートアップキットはプリンタに同梱されている CD で、プリンタのソフトウェアやマニュアルが含まれています。

## このガイドの使用方法

このガイドは、HP Knowledge Center からダウンロードできます ([185 ページの「Knowledge Center」](#)を参照)。

## はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザーのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

## 使用方法と保守

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。

- [11 ページの「ソフトウェアインストール」](#)
- [20 ページの「プリンタを設定する」](#)

- [25 ページの「プリンタのカスタマイズ」](#)
- [31 ページの「用紙の取り扱い」](#)
- [46 ページの「2本のロール紙の取り扱い \(T1200 シリーズのみ\)」](#)
- [49 ページの「印刷」](#)
- [65 ページの「カラーマネジメント」](#)
- [77 ページの「実際の印刷の例」](#)
- [103 ページの「ジョブキューの管理」](#)
- [109 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)
- [112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)
- [124 ページの「プリンタを保守する」](#)

## トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。

- [136 ページの「用紙に関するトラブルシューティング」](#)
- [149 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)
- [166 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング」](#)
- [174 ページの「一般的なプリンタに関するトラブルシューティング」](#)
- [181 ページの「フロントパネル エラー メッセージ」](#)

## アクセサリ、サポート、および仕様

[129 ページの「アクセサリ」](#)、[184 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)、および[188 ページの「プリンタ仕様」](#)の各章では、カスタマー・ケア、プリンタの仕様、そして用紙の種類、インク サプライ、およびアクセサリの製品番号を含む参照情報を掲載しています。

## 用語集

[192 ページの用語集](#)には、このマニュアルで使用する印刷および HP 用語の定義が記載されています。

## 索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

## 警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用してプリンタの破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

- △ **警告！** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。
- △ **注意：** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

## プリンタ モデル

このガイドでは、次のプリンタ モデルについて説明しています。通常は、それらのモデルを略して短縮名称で呼びます。

正式名称	短縮名称
HP Designjet T770	T770
HP Designjet T770 PostScript アップグレード	T770 PS
HP Designjet T770 (ハード ディスク搭載)	T770 HD
HP Designjet T770 (ハードディスク搭載、PostScript アップグレード)	T770 HD PS
HP Designjet T1200	T1200
HP Designjet T1200 PostScript®	T1200 PS

## プリンタの主な機能

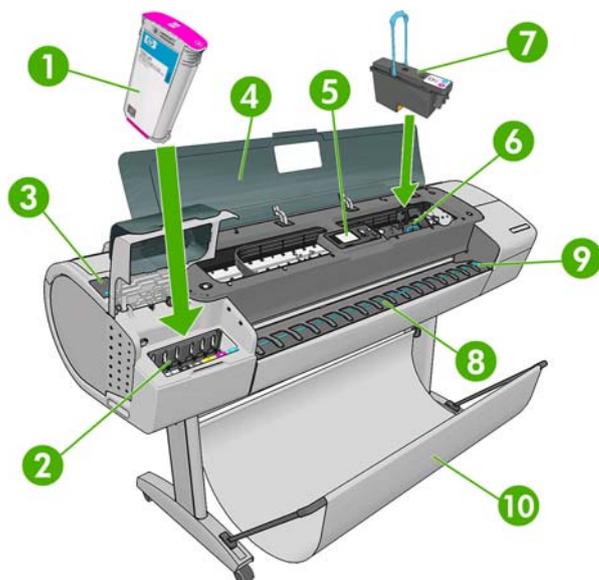
このプリンタは、最大幅 610 mm または 1118 mm の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

- 入力時 1200 × 1200dpi のイメージを最大 2400 × 1200dpi の最適化された解像度で印刷 (**[高品質]** 印刷品質オプション、**[高精細]** オプションおよびフォト用紙を使用した場合)
- HP Utility ([27 ページの「HP Utility にアクセスする」](#)を参照) では、以下の使いやすいインターフェースが使用されています。
  - ジョブ管理 ([103 ページの「ジョブ キューの管理」](#)を参照)
  - プリンタのキャリブレーション
  - オンラインの HP Knowledge Center へのアクセス ([185 ページの「Knowledge Center」](#)を参照)
- 用紙の適応性と簡単な自動給紙機能 ([31 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)。情報およびプリセットは、フロントパネルと HP Utility から利用できます。
- カット紙およびロール紙の使用
- 6 色インク システム
- 自動カラーキャリブレーションによる、正確で一貫したカラー再現
- カラー エミュレーション ([68 ページの「プリンタ エミュレーション」](#)を参照)
- 節約して印刷するためのエコノモード
- 2 本のロール紙を同時に取り付けることで、迅速かつ簡単なロール紙の切り替えと、長時間の無人印刷が可能に (T1200 シリーズのみ)
- ジョブのプレビュー、ネスティングなど、HP Utility またはプリンタの内蔵 Web サーバを使用した高生産性を実現する機能 (T1200 シリーズのみ)
- インクと用紙の使用状況を、内蔵 Web サーバから確認可能 ([27 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)

## プリンタの主なコンポーネント

以下の 1118mm のプリンタ 前面図および背面図で、主なコンポーネントについて説明します。610 mm プリンタ (図には含まれていません) は、幅の狭い本体に同じコンポーネントを搭載しています。

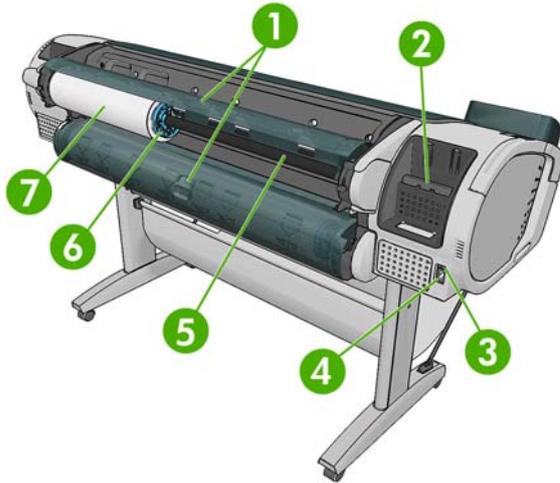
### 前面図



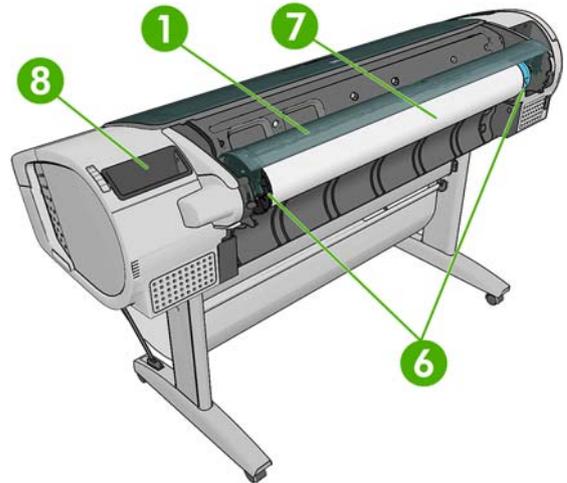
1. インクカートリッジ
2. インクカートリッジスロット
3. 青いレバー
4. ウィンドウ
5. フロントパネル
6. プrintヘッド キャリッジ
7. プrintヘッド
8. 排紙トレイ
9. 用紙の位置調整線
10. バスケット

## 背面図

HP Designjet T1200 シリーズ

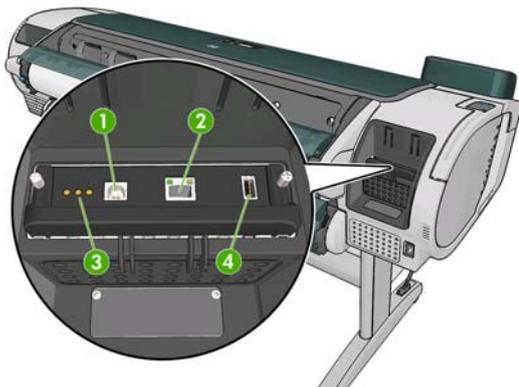


HP Designjet T770 シリーズ



1. ロール紙カバー
2. 通信ポート
3. 電源スイッチ
4. 電源ソケット
5. スピンドル
6. スピンドルストッパ
7. ロール紙
8. 『クイック リファレンス ガイド』ホルダー

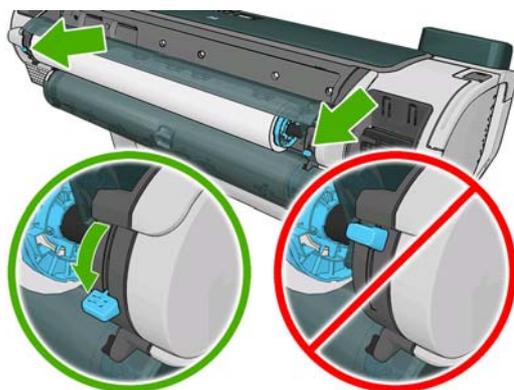
## 通信ポート



1. USB 2.0 ポート (コンピュータ接続用)
2. イーサネット ポート (ネットワーク接続用)
3. 診断 LED (サービス エンジニアが使用)
4. USB 2.0 ホスト ポート (アクセサリ接続用)

## ウォール スペース

プリンタの背面を壁に向けて配置する場合、プリンタの背面にある2つのウォール スペースを下げて、プリンタの背面と壁の最小限の距離を確保します。確保しない場合、拡張精度の問題が発生する可能性があります。

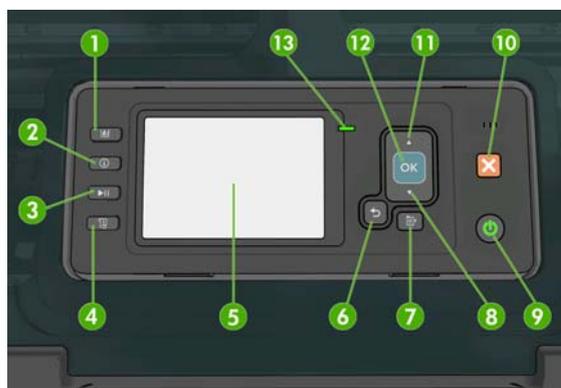


## フロントパネル

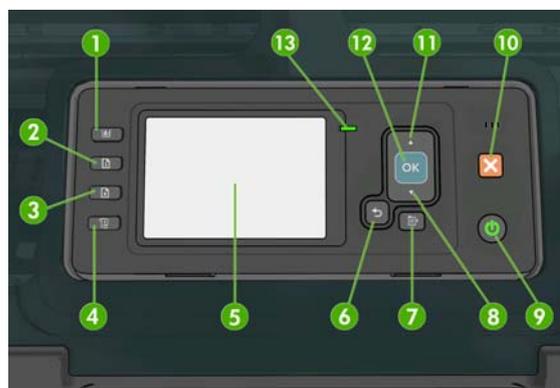
プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の中央にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- トラブルシューティングのための情報アシスト。
- 用紙のカット、取り外しなど、特定の手順を実行する際に使用。
- 手順に沿った役立つアニメーションを表示。
- インクカートリッジ、プリントヘッド、用紙、印刷ジョブなどのプリンタのステータスに関する最新情報を表示。
- 状況に応じて、警告やエラーメッセージが表示され、警告やエラーメッセージに対する注意を促すために警告音が鳴ります。
- プリンタの設定値を変更して、プリンタの動作を変更する際に使用します。ただし、フロントパネルの設定は、プリンタドライバの設定が優先されます ([11 ページの「ソフトウェアインストール」](#)を参照)。

HP Designjet T1200 シリーズ



HP Designjet T770 シリーズ



フロントパネルには、4つのダイレクトアクセスキーをはじめ、以下のコンポーネントがあります。

1. **インク容量の表示** ボタン。 [113 ページの「インクカートリッジのステータスを確認する」](#)を参照してください。
2. **情報の表示** ボタン。このボタンを繰り返し押し続けると、取り付けられているすべての用紙 (ロール紙1、ロール紙2、カット紙) およびプリンタとコンピュータ間の接続に関する情報を表示できます。 [42 ページの「用紙に関する情報を表示する」](#)を参照してください。
3. **印刷の一時停止** ボタン (T1200 シリーズ) を押し続けると、現在のページが終了した後印刷が一時停止します。このボタンをもう一度押し続けると、印刷が再開されます。このボタンは、たとえばロール紙を交換したり取り付けたりする際に便利です。  
**用紙の取り外し** ボタン (T770 シリーズ) を押し続けると、現在取り付けられている用紙 (ロール紙またはカット紙) が取り外されます。
4. **排紙/カット** ボタン。 [45 ページの「用紙を排紙/カットする」](#)を参照してください。
5. **フロントパネルの表示**。プリンタの使用に関するエラー、警告、および情報が表示されます。
6. **戻る** ボタン。手順実行中または操作中に前の手順に戻ります。上位レベルに移動する、メニューのオプションから外れる、またはオプションがある場合に使用します。
7. **メニュー** ボタン。このボタンを押し続けると、フロントパネルの表示がメインメニューに戻ります。すでにメインメニューが表示されている場合は、ステータス画面が表示されます。

8. **下矢印** ボタン。メニューまたはオプション内を下に移動したり、数値を減らしたりします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。
9. **電源** ボタン - プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。また、電源ボタンのランプでプリンタのステータスを示します。電源ボタンのランプが消灯している場合、プリンタの電源はオフになっています。電源ボタンのランプが緑色に点滅している場合、プリンタは起動中です。電源ボタンのランプが緑色に点灯している場合、プリンタの電源はオンになっています。電源ボタンのランプが黄色に点灯している場合、プリンタは待機中です。電源ボタンのランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。
10. **キャンセル** ボタン。手順または操作を中止します。
11. **上矢印** ボタン。メニューまたはオプション内を上移動したり、数値を増やしたりします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。
12. **OK** ボタン。手順の実行中または操作中に操作を確定します。メニューでサブメニューを表示します。オプションがある場合に値を選択します。ステータス画面が表示されている場合は、メインメニューが表示されます。
13. **ステータス** ランプ。プリンタのステータスを示します。**ステータス** ランプが緑色に点灯している場合、プリンタは印刷可能です。ステータス ランプが緑色に点滅している場合、プリンタが使用中です。ステータス ランプが黄色に点灯している場合、プリンタはシステム エラーです。ステータス ランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。

フロントパネルの表示上の項目をハイライトさせるには、その項目がハイライトされるまで **上矢印** または **下矢印** ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルの表示上の項目を**選択**するには、まずその項目をハイライトして、**OK** ボタンを押します。

このガイドで、フロントパネル表示の一連の項目が、**[項目 1] - [項目 2] - [項目 3]** のように記述されている場合は、**[項目 1]**、**[項目 2]**、**[項目 3]** の順に選択してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

## プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- HP-GL/2 および HP RTL ドライバ (Windows 用)
- Mac OS 用 PCL3 ラスタ ドライバ (T770 および T1200)
- Windows および Mac OS 用 PostScript ドライバ (T770 PS および T1200 PS)
- HP Utility ([27 ページの「HP Utility にアクセスする」](#)を参照) を使用すると、以下を実行できます。
  - HP Color Center を使用してカラーに関するプリンタ管理
  - インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
  - HP Knowledge Center へのアクセス ([185 ページの「Knowledge Center」](#)を参照)
  - プリンタのファームウェアのアップデート ([126 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照)
  - キャリブレーションおよびトラブルシューティングの実行
  - ジョブ キューの管理 ([103 ページの「ジョブ キューの管理」](#)を参照)

- アカウンティング情報の表示 ([109 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)を参照)
  - 様々なプリンタ設定の変更 ([設定] タブ内) (T1200 シリーズのみ)
- 内蔵 Web サーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでも Web ブラウザを使用してインク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます ([27 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)。

## プリンタの印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、プリンタと用紙の印刷準備ができていることを確認してください。

- - 印刷は、有効なロール紙に行われます。有効なロール紙を変更するには、[用紙] アイコン  を選択し、**[有効なロールの選択]** を選択します。
  - 幅が A3 横置き (420 mm) 以上の用紙を使用してください。それより小さい用紙では、イメージの一部が印刷されないことがあります。
  - フロントパネルには、「**印刷可能です**」というメッセージが表示されている必要があります。

印刷メニューを印刷するには、[印刷メニュー] アイコンを選択します。  を選択し、必要な印刷メニューを選択します。次の印刷メニューを使用できます。

- [デモ印刷]: プリンタの機能の一部を表示します。
  - 描画デモ印刷
  - レンダリング デモ印刷
  - GIS マップ印刷
- [メニュー マップの印刷]: すべてのフロントパネルの表示メニューの詳細を表示します。
- [現在の設定の印刷]: 現在のフロントパネル表示の設定をすべて表示します。
- [使用状況レポートの印刷]: 印刷の合計数、用紙の種類別の印刷部数、印刷品質オプション別の印刷部数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します (これらの推定値の正確性につきましては保証されていません) (T770 HD および T1200 シリーズのみ)。
- [HP-GL/2 パレットの印刷]: 現在選択されているカラー パレットのカラー定義またはグレースケール定義を表示します。
- [サービス情報の印刷]: サービス エンジニアが必要とする情報を表示します。
- [PS フォント一覧の印刷]: 使用可能な PostScript フォントを表示します (PostScript プリンタのみ)。

---

## 2 ソフトウェアインストール

- [使用する接続方法を選択する](#)
- [ネットワークに接続する \(Windows\)](#)
- [直接コンピュータに接続する \(Windows\)](#)
- [プリンタ ソフトウェアをアンインストールする \(Windows\)](#)
- [ネットワークに接続する \(Mac OS\)](#)
- [直接コンピュータに接続する \(Mac OS\)](#)
- [プリンタ ソフトウェアをアンインストールする \(Mac OS\)](#)

## 使用する接続方法を選択する

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。

接続の種類	速度	ケーブルの長さ	その他
イーサネット	きわめて高速。ネットワークトラフィックによって速度は異なります。	長: 100 m	追加機材 (スイッチ) 要
Jetdirect プリントサーバ (別売オプション)	普通。ネットワークトラフィックによって速度は異なります。	長: 100 m	追加機材 (スイッチ) 要 追加機能を提供します。  詳細については、 <a href="http://www.hp.com/go/jetdirect/">http://www.hp.com/go/jetdirect/</a> を参照してください。
USB 2.0	きわめて高速	短: 5 m	接続の安定性を高くするには、認定済み USB 2.0 ケーブルが必要です。

 **注記:** ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。これには、ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

## ネットワークに接続する (Windows)

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

上記を確認したら、プリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

1. フロントパネルに表示されるプリンタの IP アドレスをメモしておいてください ([27 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)。
2. コンピュータに HP スタートアップ キット CD を挿入します。CD が自動的に起動しない場合は、CD のルート フォルダ内の autorun.exe を実行します。
3. **[エクスプレス ネットワーク インストール]** ボタンを押し、表示されたネットワーク プリンタの一覧からプリンタを選択します (必要に応じて IP アドレスで識別します)。プリンタ ドライバと HP Utility がインストールされます。

コンピュータがネットワーク上でプリンタを検出できない場合は、**[プリンタが検出されませんでした]** ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、プリンタの検出を再試行できます。操作内にファイアウォールが存在する場合、プリンタを検出するためにファイアウォールを一時的に無効にする必要があります。プリンタの URL、IP アドレス、または MAC アドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

## 直接コンピュータに接続する (Windows)

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵 USB 2.0 ポートを使用します。

☞ **ヒント：** USB 接続はネットワーク接続より高速ですが、ケーブルの長さに制限があり、プリンタの共有も困難になります。

☞ **注記：** 認定されていない USB ケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB 開発者のためのフォーラム (<http://www.usb.org/>) によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

1. この時点ではまだコンピュータをプリンタに接続しないでください。最初に、以下の手順に従いプリンタ ドライバソフトウェアをインストールする必要があります。
2. CD ドライブに HP スタートアップ キット CD を挿入します。CD が自動的に起動しない場合は、CD のルート フォルダ内の autorun.exe を実行します。
3. [カスタム インストール] ボタンを押します。
4. 場合によっては、ネットワークでプリンタを検索するためにインストーラがファイアウォール経由で通信する必要があることを警告するメッセージが表示されることがあります。これを行う必要がないときは、[ネットワーク検索せずにインストールを続行する] ボックスをオンにできます。
5. ネットワーク プリンタの一覧が表示された場合、[プリンタ検索のヘルプ (ネットワーク、USB、パラレル接続のプリンタを含む)] を選択します。
6. [USB ケーブル] を選択します。

☞ **注記：** ただし、後でプリンタを接続してインストールを完了することもできます。その場合、[セットアップ ウィザードの完了後にプリンタを接続します] チェック ボックスをオンにしてください。

7. コンピュータをプリンタに接続するように指示するメッセージが表示されたら、認定された USB ケーブルを接続します。プリンタの電源が入っていることを確認してください。
8. プリンタ ドライバと HP Utility がインストールされます。

☞ **ヒント：** ネットワークに接続している他の人とプリンタを共有する場合は、[インストール準備完了] ウィンドウにある [プリンタのプロパティ] ボタンをクリックして、[プリンタ名] にプリンタを共有する名前を入力します。次に、[共有] を [はい] に設定します。

## プリンタの共有に関する注意事項

- HP Utility は、いずれかのコンピュータにまずインストールする必要があります。インストールした後にそのコンピュータから使用できるようになります。
- 別のコンピュータに接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、印刷ジョブを送信することはできませんが、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙の管理、プリンタの管理、およびトラブルシューティングに影響するプリンタからの情報を受信することはできません。
- 別のコンピュータに接続されたプリンタを共有する他のすべてのユーザは、プリンタ固有の印刷プレビュー機能を使用することはできません。ただし、アプリケーションの印刷プレビュー機能を利用することはできます。[56 ページの「印刷をプレビューする」](#)を参照してください。

☞ **ヒント：** ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをコンピュータではなくネットワークに接続することが最適な方法です。[12 ページの「ネットワークに接続する \(Windows\)」](#)を参照してください。

## プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Windows)

1. CD ドライブに HP スタートアップ キット CD を挿入します。CD が自動的に起動しない場合は、CD のルート フォルダ内の autorun.exe を実行します。
2. **[インストールの変更]** ボタンを押し、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

## ネットワークに接続する (Mac OS)

Mac OS X 環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- Bonjour/Rendezvous
- TCP/IP

**注記：** このプリンタは AppleTalk をサポートしていません。

手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

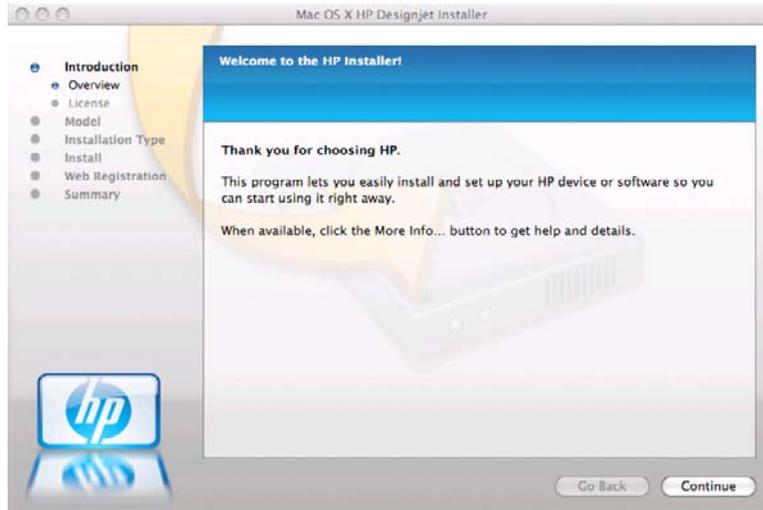
ここでプリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

### Bonjour/Rendezvous 接続

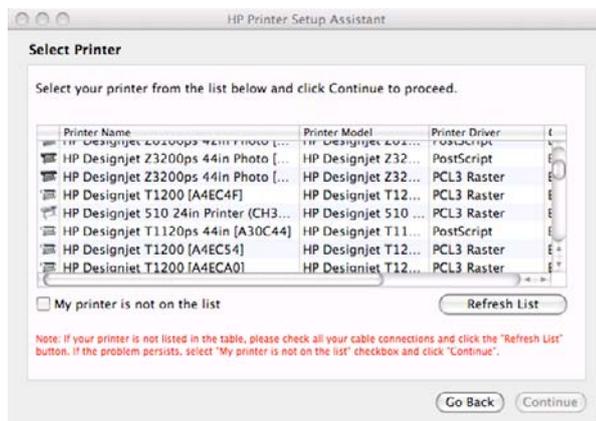
1. プリンタのフロントパネルで **[接続]** アイコン を選択し、**[ファストイーサネット]** または **[ギガビットイーサネット]** - **[設定の表示]** を選択します。プリンタの mDNS サービス名をメモします。
2. CD ドライブに HP スタートアップ キット CD を挿入します。
3. デスクトップの CD アイコンを開きます。



4. [Mac OS X HP Designjet インストーラ] を開きます。



5. 画面の指示に従います。
6. プリンタ ドライバや HP Utility など、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。
8. [プリンタの選択] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタの mDNS サービス名 (手順 1 でメモした名前) を検索します。



- 正しいプリンタ名を検出した場合、必要に応じて横方向にスクロールして [接続方法] 列を表示し、それが **Bonjour/Rendezvous** を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方への検索を続けます。
- 接続方法として **Bonjour/Rendezvous** を持つプリンタ名を検出できない場合は、[リストにないプリンタを使用] ボックスをオンにします。

[次へ] ボタンをクリックします。

9. 画面の指示に従って続行します。[プリンタ キューが作成されました] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[新しいキューの作成] をクリックします。
10. HP プリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、CD-ROM ドライブから CD を取り出します。

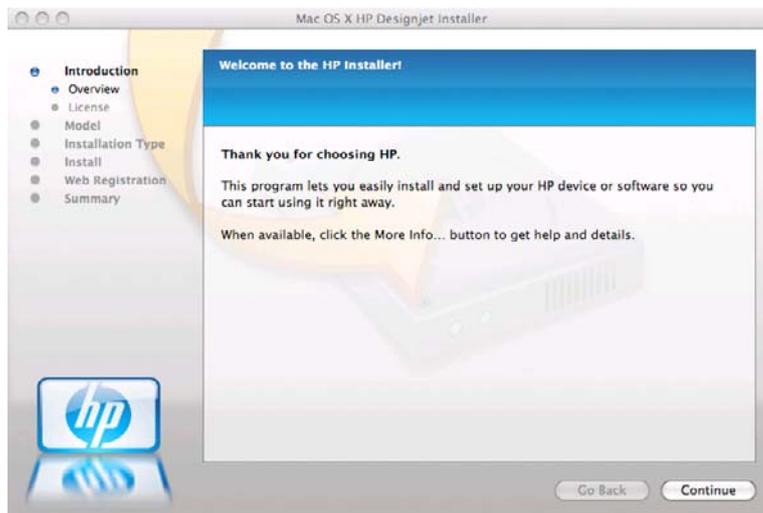
プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを CD からいつでも起動することができます。

## TCP/IP 接続

1. プリンタのフロントパネルを見てプリンタの URL をメモします (27 ページの「[内蔵 Web サーバにアクセスする](#)」を参照)。
2. CD ドライブにHP スタートアップ キット CD を挿入します。
3. デスクトップの CD アイコンを開きます。



4. [Mac OS X HP Designjet インストーラ] を開きます。



5. 画面の指示に従います。
6. プリンタ ドライバや HP Utility など、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタ ドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。
8. [プリンタの選択] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタの URL (手順 1 でメモした) を検索します。
  - 正しいプリンタ名を検出した場合、必要に応じて横方向にスクロールして [接続方法] 列を表示し、それが **IP プリント** を示していることを確認します。次に、そのラインをハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方方向への検索を続けます。
  - 接続方法として **IP プリント** を持つプリンタ名を検出できない場合は、[リストにないプリンタを使用] ボックスをオンにします。

[次へ] ボタンをクリックします。

9. 画面の指示に従って続行します。[プリンタ キューが作成されました] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[新しいキューの作成] をクリックします。
10. HP プリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、CD-ROM ドライブから CD を取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを CD からいつでも起動することができます。

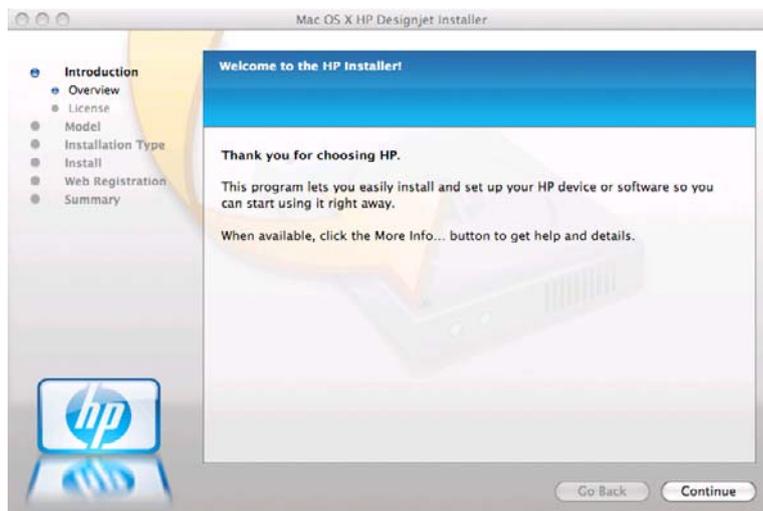
## 直接コンピュータに接続する (Mac OS)

ネットワークを介さずにプリンタを直接コンピュータに接続するには、プリンタの内蔵 USB 2.0 ポートを使用します。

1. プリンタの電源がオフになっているか、コンピュータに接続されていないことを確認します。
2. CD ドライブにHP スタートアップ キット CD を挿入します。
3. デスクトップの CD アイコンを開きます。



4. [Mac OS X HP Designjet インストーラ] を開きます。



5. 画面の指示に従います。
6. プリンタ ドライバや HP Utility など、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。
7. プリンタの電源がオンになっており、認定された USB ケーブルを使用してコンピュータに接続されていることを確認します。

 **注記:** 認定されていないUSB ケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB 開発者のためのフォーラム (<http://www.usb.org/>) によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

8. 間もなく、プリンタに印刷キューが自動的に作成されます。

## プリンタの共有

コンピュータがネットワークに接続されている場合に、コンピュータに直接接続されたプリンタを同じネットワーク上にある別のコンピュータで使用できます。

1. デスクトップ上の Dock メニュー バーの [システム環境設定] アイコンをダブルクリックします。
2. Mac OS X 10.4 でプリンタの共有を有効にするには、[共有] - [サービス] - [プリンタ共有] を選択します。

Mac OS X の以降のバージョンでは、[共有] を開き、[プリンタ共有] を選択し、共有するプリンタのチェックをオンにします。

3. Mac OS を実行しているその他のコンピュータによって表示され、ローカル ネットワークに接続された共有プリンタのリストに、お使いのプリンタが自動的に表示されます。

以下の注意事項を考慮に入れてください。

- プリンタの共有を必要とする他のすべてのユーザは、各自のコンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールする必要があります。
- 別のコンピュータに接続されたプリンタを共有するすべてのユーザは、印刷ジョブを送信することはできませんが、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙の管理、プリンタの管理、およびトラブルシューティングに影響するプリンタからの情報を受信することはできません。
- PCL3 (ラスタ) ドライバでは、異なる Mac OS バージョン間のプリンタを共有することができませんが、PostScript ドライバでは、Mac OS X 10.4 と Mac OS X 10.5 または 10.6 間のプリンタ共有はサポートされません。Mac OS X 10.5 と 10.6 間のプリンタ共有はサポートされます。
- 別のユーザに直接接続するプリンタを共有すると、コンピュータの速度が許容できない速度まで遅くなる場合があります。

 **ヒント:** ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをコンピュータではなくネットワークに接続することが最適な方法です。14 ページの「[ネットワークに接続する \(Mac OS\)](#)」を参照してください。

## プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Mac OS)

1. CD ドライブにHP スタートアップ キット CD を挿入します。

2. デスクトップの CD アイコンを開きます。



3. **[Mac OS X HP Designjet アンインストーラ]** を開き、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

印刷キューを削除する

- Mac OS X 10.4 では、印刷キューを削除する選択可能な方法は 2 つあります。
  - システム環境設定から、**[プリンタとファクス]** ダイアログ ボックスの **[印刷]** パネルを選択します。プリンタ名を選択して、**[-]** ボタンをクリックします。
  - **[プリンタ設定ユーティリティ]** からプリンタ名を選択し、**[削除]** アイコンをクリックします。
- Mac OS X 10.5 または 10.6 の場合: システム環境設定から、**[プリンタとファクス]** ダイアログ ボックスを選択します。プリンタ名を選択して、**[-]** ボタンをクリックします。

---

## 3 プリンタを設定する

- [はじめに](#)
- [用紙の適合性のオプション \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [ネスティングをオン/オフにする \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [使用状況に関する情報をオン/オフにする](#)
- [アラートをオン/オフにする](#)
- [プリンタへのアクセスのコントロール](#)
- [アカウント ID の要求 \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [Windows ドライバの環境設定を設定する](#)

## はじめに

この章では、プリンタの組み立てが完了し、使用可能になり次第、プリンタの管理者が制御できるさまざまなプリンタ設定について説明します。

## 用紙の適合性のオプション (T1200 シリーズのみ)

### 用紙が一致しない場合の動作

現在取り付けられている用紙が特定のジョブに不適切である場合には、適切な用紙が取り付けられるまでジョブを一時停止状態にするか、そのまま印刷するかを選択できます。取り付けられている用紙が不適切だと認識されるのは、次の場合です。

- ジョブに対して用紙の種類が指定されていない。
- ジョブに対して給紙方法 (ロール紙 1、ロール紙 2、カット紙) が指定されていない。
- 用紙サイズが、ジョブに対して指定したものより小さい。

このような場合のプリンタの動作はフロントパネルから設定できます。

- このようなジョブを取り付けられている用紙の種類に関係なく印刷するようにする場合は、[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [ジョブ管理オプション] - [用紙が一致しない場合の動作] - [そのまま印刷をする] を選択します。これは、デフォルト オプションです。
- このようなジョブを保留にする場合は、[セットアップ] アイコン  を選択し、[[ジョブ管理オプション]] - [[用紙が一致しない場合の動作]] - [[ジョブを保留にする]] を選択します。ジョブが保留中になると、プリンタからアラートが送信されます。

ジョブが保留中になると、適切な用紙が取り付けられるまで印刷キューに保持されます (用紙を取り付けると、保留中のジョブが印刷できるようになります)。一方、異なる要件を持つ他のジョブの印刷は続行できます。

### ロール紙切替オプション

2本のロール紙が取り付けられていて、どちらもジョブに適している場合、環境設定に従ってロール紙が選択されます。これらは、フロントパネルから設定できます。[セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [用紙オプション] - [ロール紙切替オプション] を選択します。次の3つのオプションを選択できます。

- **[ロール紙の消費を最小化]**: このオプションを選択すると、すべての基準に合致する最も幅の狭いロール紙がプリンタによって選択されるため、描画の途切れを避けることができ、用紙を節約できます。これは、デフォルト オプションです。
- **[ロール紙の変更を最小化]**: このオプションを選択すると、現在有効なロール紙がプリンタによって選択されるため、ロール紙を変更する場合に必要な時間を節約できます。有効なロール紙を変更するには、[用紙] アイコン  を選択し、[有効なロールの選択] を選択します。
- **[用紙の少ないロール紙を使用]**: このオプションを選択した場合、未使用の用紙が最も少ないロール紙がプリンタにより選択されます。

 **注記:** このオプションは、[用紙情報の印刷] をオンにしている場合にのみ有効です (43 ページの「[用紙情報を印刷する](#)」を参照)。それ以外の場合の効果は、[ロール紙の消費を最小化] と同じです。

## ネスティングをオン/オフにする (T1200 シリーズのみ)

ネスティングとは、イメージやドキュメントのページを1つずつ連続してではなく、可能であれば、自動的に1枚の用紙に並べて印刷することです。これは、用紙の無駄使いを防ぐために使用します。[61 ページの「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照してください。

ネスティングをオン/オフするには、まずジョブ キューが有効であること ([105 ページの「ジョブ キューをオフにする \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照) と、印刷の開始が [処理後] に設定されていること ([105 ページの「キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照) を確認します。そして次のようにします。

- HP Utility (Windows) の場合: [設定] - [ジョブ管理] - [ネスティング] を選択します。
- HP Utility (Mac OS) の場合: [設定] - [プリンタ設定] - [プリンタ設定の構成] - [ジョブ管理] - [ネスティング] を選択します。
- 内蔵 Web サーバの場合: [セットアップ] - [プリンタ設定] - [ジョブ管理] - [ネスティング] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [ジョブ管理] - [ネスティングの設定] - [ネスティングの有効化] を選択します。

いずれの場合でも、以下のオプションを選択できます。

- **[通常の順序]:** プリンタに送信された順にページがネスティングされます。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。
  - 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
  - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
  - 次のページと、既にネスティングされたページとの互換性がない場合 ([61 ページの「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照)。
- **[最適な順序]:** 必ずしもプリンタに送信された順にページがネスティングされるわけではありません。互換性がないページが送信された場合は保留状態となり、互換性があるページが送信されるまで待つてネスティングを完了します。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。
  - 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
  - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
  - 互換性がないページのキューが満杯の場合。プリンタは互換性のあるページをネスティング中に、互換性のないページを最大6ページまでキューイングできます。プリンタは、互換性がないページを7ページ受信すると、ネスティングされたページをそのまま印刷します。
- **[オフ]:** ネスティングは無効です。これは、デフォルト オプションです。

ネスティング待ち時間は、フロントパネルで設定できます。これを行うには、[セットアップ] アイコン  を選択し、[ジョブ管理] - [ネスティングの設定] - [待ち時間の選択] を選択します。

ⓘ **ヒント:** **[最適な順序]** は、最小量の用紙を使用する設定です。ただし、プリンタが互換性のあるページの受信を待機するため、通常よりも印刷に時間がかかる場合があります。

## 使用状況に関する情報をオン/オフにする

プリンタは、使用状況に関する情報を電子メールで定期的送信することができます。以下がその手順です。

- HP Utility (Windows) の場合: [設定] - [アカウントिंग] を選択します。
- HP Utility (Mac OS) の場合: [設定] - [プリンタ設定] - [プリンタ設定の構成] - [アカウントिंग] を選択します。
- 内蔵 Web サーバの場合: [セットアップ] - [プリンタ設定] - [アカウントिंग] を選択します。

いずれの場合も、以下のオプションを設定してください。

- [アカウントिंग ファイルの送信]: [オン] (デフォルトは [オフ])
- [アカウントिंग ファイルの送信先]: 有効な電子メール アドレス
- [アカウントिंग ファイルの送信頻度]: 日数 (1 ~ 60) または印刷回数 (1 ~ 500) を選択

電子メール サーバが設定されていることも確認してください。内蔵 Web サーバを使用して電子メール サーバを設定するには、[セットアップ] - [電子メール サーバ] を選択し、以下のフィールドに入力します。

- [SMTP サーバ]: プリンタから送信されるすべての電子メール メッセージを処理する送信メール サーバ (SMTP) の IP アドレス。メール サーバが認証を必要とする場合、電子メール通知は機能しません。
- [プリンタのメール アドレス]: プリンタから送信される各電子メール メッセージには、返信用アドレスを含める必要があり、このアドレスは実際には機能しなくても、固有のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。

## アラートをオン/オフにする

プリンタのアラートは、操作を実行することで解決できるプリンタの問題が存在したり、いずれかの印刷ジョブのステータスが変更されたときに警告します。アラートは、プリンタのフロントパネル、HP Utility、プリンタ ドライバ、および内蔵 Web サーバによって表示されます。

表示したいアラートの種類がある場合は、プリンタにそれを指定できます。アラートの設定にアクセスするには、以下の手順に従います。

- HP Utility の [デバイスイ覧] ページで、[アラート設定] を選択します。
- HP Utility (Windows) により表示されるアラート ページで、[アラート設定] を選択します。
- HP Utility (Windows) のシステム トレイ アイコンを右クリックし、[アラート設定] を選択します。

設定は、以下の方法で変更できます。

- すべてのアラートをオンまたはオフにする
- ジョブ ステータスのアラートをオンまたはオフにします (T1200 シリーズのみ)。
- プリンタの印刷を停止させる問題に関連したアラートをオンまたはオフにする
- プリンタの印刷を停止させない問題に関連したアラートをオンまたはオフにする
- すべての状況、または、特定の問題が起こっているプリンタで印刷しようとするときにのみ、プリンタのアラートをオンにする

## プリンタへのアクセスのコントロール

内蔵 Web サーバから、[セットアップ]-[セキュリティ]を選択すると、さまざまな方法でプリンタへのアクセスをコントロールできます。

- 管理者とゲストに別個のパスワードを指定して、内蔵 Web サーバへのアクセスをコントロールする
- プリンタへのイーサネット USB 接続を有効または無効にする
- フロントパネル操作のさまざまなグループを有効または無効にする

 **注記：** 詳細については、内蔵 Web サーバのオンライン ヘルプを参照してください。

管理者パスワードを忘れた場合、フロントパネルから現在のパスワードを削除できます。[接続] アイ

コン  を選択し、[詳細設定] > - [内蔵 Web サーバ] - [内蔵 Web サーバのパスワードをリセット] を選択します。

[ネットワーク] ページへのアクセスは、他のパスワード (管理者のパスワード) によって保護されます。管理者のパスワードをリセットするには、入出力の設定をすべてリセットする必要があります。

フロントパネルで、[接続] アイコン  を選択し、接続方法 (例: [ギガビットイーサネット]) - [工場出荷時の設定に戻す] の順に選択します。

 **注記：** 入出力の設定がすべてリセットされ、アドレスの取得方式が DHCP 設定にリセットされ、さらに IP アドレスが変更されます。

## アカウント ID の要求 (T1200 シリーズのみ)

異なるユーザアカウントによるプリンタの使用状況を記録したい場合、ジョブごとにプリンタがアカウント ID を要求する設定にすることができます。

- HP Utility (Windows) の場合: [設定] - [アカウントティング] - [アカウント ID の要求] を選択します。
- HP Utility (Mac OS) の場合: [設定] - [プリンタ設定] - [プリンタ設定の構成] - [アカウントティング] - [アカウント ID の要求] を選択します。

この設定をオンにした場合、アカウント ID フィールドの入力が必須になります。アカウント ID のないジョブは、アカウントティング保留状態になります。

ジョブの送信時にアカウント ID をプリンタ ドライバに設定することができます。プリンタ側でジョブがアカウントティング保留状態に設定されている場合、HP Utility の [ジョブセンター] - [ジョブキュー] を選択し、保留状態のジョブをクリックして、アカウント ID を通知することができます。ウィンドウに表示されるテキスト ボックスに、アカウント ID を入力することができます。

## Windows ドライバの環境設定を設定する

必要に応じてプリンタ ドライバでデフォルトの設定を変更できます。たとえば、カラー エミュレーションや用紙の節約に関するオプションなどです。これを行うには、コンピュータの画面の [スタート] ボタンを押し、[プリンタと FAX] を選択します。[プリンタと FAX] ウィンドウで、お使いのプリンタのアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選択します。[印刷設定] ウィンドウで変更した設定は、デフォルト値として保存されます。

---

## 4 プリンタのカスタマイズ

- [プリンタをオン/オフにする](#)
- [フロントパネルの表示の言語を変更する](#)
- [HP Utility にアクセスする](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスする](#)
- [HP Utility の表示の言語を変更する](#)
- [内蔵 Web サーバの言語を変更する](#)
- [スリープモード設定を変更する](#)
- [ブザーをオン/オフする](#)
- [フロントパネルの表示のコントラストを変更する](#)
- [測定単位を変更する](#)
- [ネットワーク設定を構成する](#)
- [グラフィック言語の設定を変更する](#)

## プリンタをオン/オフにする

**💡 ヒント：** 電源を入れたままでも消費電力を抑えることができます。電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。一定時間(デフォルトの時間は Energy Star によって指定される)使用しない場合、プリンタはスリープモードに移行して電力を節約します。ただし、プリンタのフロントパネルの表示で何らかの操作を行ったり、新しい印刷ジョブを送信したりすると直ちにアクティブモードに戻り、印刷を再開することができます。スリープモード時間を変更するには、[28 ページの「スリープモード設定を変更する」](#)を参照してください。

**📖 注記：** スリープモードでは、プリンタは随時プリントヘッドの保守サービスを実行します。これにより、長時間のアイドル後に印刷の準備を長時間実行する必要がなくなります。このため、インクと時間を節約するために、プリンタの電源をオンにするかスリープモードにしておくことを強くお勧めします。

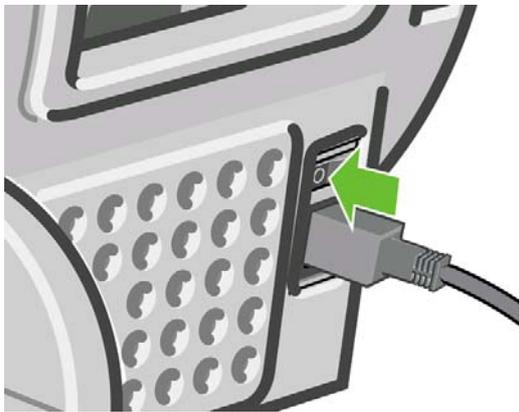
このプリンタには、3つの消費電力レベルがあります。

- プラグ接続: 電源コードがプリンタ背面に接続されている状態。
- スイッチ オン: プリンタ背面のスイッチがオンになっている状態。
- 電源オン: フロントパネルの **電源** ボタンのランプが緑色に点灯している状態。

プリンタの電源をオン/オフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの **電源** ボタンを使用することをお勧めします。



ただし、プリンタを無期限で保管する場合、または **電源** ボタンが動作しない場合は、**電源** ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分間かかります。プリントヘッドの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。

## フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更する方法は2つあります。

- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できる場合は、[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [フロントパネル オプション] - [言語の選択] を選択します。
- 現在表示されているフロントパネルの言語が分からない場合は、まずプリンタの電源を切ります。フロントパネルで、OK ボタンを押します。OK ボタンを押したままの状態では、電源 ボタンを押します。フロントパネルの表示の右側にある緑色のランプが点滅し始めるまで両方のボタンを押し続け、両方のボタンを放します。これには約1秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。

どちらの方法でも、フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。上矢印 と 下矢印 ボタンで希望する言語をハイライトさせて、次に OK ボタンを押します。

希望する言語を選択したら 電源 ボタンで電源を切り、その後もう一度起動させます。フロントパネルが選択した言語で表示されます。

## HP Utility にアクセスする

HP Utility を使用すると、USB、TCP/IP、または Jetdirect 接続を使用してコンピュータからプリンタを管理できます。

- **Windows** では、デスクトップのショートカットから、または [スタート] - [すべてのプログラム] - [Hewlett-Packard] - [HP Utility] - [HP Utility] から、HP Utility を起動します。これにより、HP Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。
- **Mac OS** では、Dock のショートカットから、または [ハードディスク] - [ライブラリ] - [Printers] - [HP] - [Utilities] - [HP Utility] の順に選択して HP Utility を起動します。これにより、HP Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。

左側ウィンドウでプリンタを選択すると、右側ウィンドウに表示される内容がすべてそのプリンタ固有のものになります。

この手順に従っても HP Utility にアクセスできない場合は、[177 ページの「HP Utility にアクセスできない」](#)を参照してください。

## 内蔵 Web サーバにアクセスする

内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

内蔵 Web サーバを直接使用するためには、プリンタの接続方法が TCP/IP である必要があります。ただし、プリンタを USB で接続した場合、HP Utility を介して間接的に接続することもできます。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 6 以降 (Windows)
- Safari 2 以降 (Mac OS X 10.4)
- Firefox 1.5 以降

コンピュータ上で内蔵 Web サーバにアクセスするには、Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレス (この例では 192.168.1.1) は、フロントパネルのステータス画面で参照できます。

Ready

 Out of paper

 HP Coated Paper

http://XXXXX11  
http://192.168.1.1

この手順に従っても内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、[177 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスできない」](#)を参照してください。

## HP Utility の表示の言語を変更する

HP Utility は次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語 (Windows のみ)、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語。

- **Windows** では、[ツール] - [言語設定] を選択し、リストから言語を選択します。
- **Mac OS** では、別のアプリケーションに関しても、言語が変更されます。[システム環境設定] で [言語環境] を選択し、アプリケーションを再起動します。

## 内蔵 Web サーバの言語を変更する

内蔵 Web サーバは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語。Web ブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorer のバージョン 6 を使用している場合は、[ツール] メニューに移動し、[インターネットオプション] を選択して、次に [言語] を選択します。[言語の優先順位] ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

## スリープモード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープモードへ移行します。プリンタがスリープモードに移行するまでの待機時間を変更するには、

[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [フロントパネル オプション] - [スリープモード待ち時間] を選択します。必要な待ち時間をハイライトさせて OK ボタンを押します。1 ~ 240 分に設定できます。デフォルトの時間は 30 分です。

## ブザーをオン/オフする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択して、[フロントパネル オプション] - [ブザーの有効化] を選択し、オンまたはオフをハイライトして OK ボタンを押します。デフォルトでは、ブザーはオンに設定されています。

## フロントパネルの表示のコントラストを変更する

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、[セットアップ] アイコン  を選択し、次に [フロントパネル オプション] - [画面コントラストの選択] を選択して、**上矢印** または **下矢印** ボタンを使用して値を入力します。OK ボタンを押して、その値を設定します。デフォルトのコントラストは 50 に設定されています。

## 測定単位を変更する

フロントパネル表示の測定単位を変更するには、[セットアップ] アイコン  を選択して、[フロントパネル オプション] - [単位の選択] を選択し、[インチ] または [メートル] を選択します。デフォルトでは、単位はメートルに設定されています。

## ネットワーク設定を構成する

HP Utility からネットワーク設定を表示および設定できます (T1200 シリーズのみ)。Windows では、[設定] タブを選択し、[ネットワーク設定] を選択します。Mac OS では、[設定] - [ネットワーク設定] を選択します。以下の設定から選択できます。

- **IP 設定方法:** IP アドレスを設定する方法を指定します。[BOOTP]、[DHCP]、[自動 IP]、または [手動] を選択します。
- **ホスト名:** ネットワーク デバイスの IP 名を指定します。名前には、最大 32 文字の ASCII 文字を使用できます。
- **IP アドレス:** プリント サーバの IP アドレスを指定します。TCP/IP ネットワークで重複する IP アドレスを指定することはできません。

 **注記:** 現在の IP アドレスを変更して [適用] をクリックする場合、ブラウザでは古いアドレスを示しているため、ブラウザのプリント サーバへの現在の接続が失われます。接続するには、新しい IP アドレスを参照します。

- **サブネット マスク:** サブネット マスクを指定します。サブネット マスクは、IP アドレスに適用される 32 ビットの番号で、ネットワークとサブネットを指定するビットと、ノードを一意に指定するビットを決定します。
- **デフォルトのゲートウェイ:** 他のネットワークまたはサブネットワークへの接続に使用されるルータまたはコンピュータの IP アドレスを指定します。存在しない場合は、コンピュータの IP アドレスまたはプリント サーバの IP アドレスを使用します。
- **ドメイン名:** プリント サーバが存在する DNS ドメイン名を指定します (たとえば、support.hp.com)。

 **注記:** ドメイン名にはホスト名は含まれず、printer1.support.hp.com などの FQDN ではありません。

- **アイドル タイムアウト:** アイドル状態の接続が継続される秒数を指定する。270 がデフォルト値です。ゼロに設定された場合、タイムアウトは無効になり、ネットワーク上の別のノード (ワークステーションなど) によって切断されるまで、TCP/IP 接続が継続されます。
- **デフォルト IP:** 電源がオンになったとき、または BOOTP または DHCP を使用するように再構成されたときに、プリント サーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合に使用する IP アドレスを指定します。
- **DHCP 要求の送信:** 既存のデフォルト IP アドレスまたはデフォルト自動 IP が割り当てられた場合に、DHCP 要求が転送されるかどうかを指定します。

フロントパネルから同じネットワーク設定を指定するには、[接続] アイコン  を選択し、[ファーストイーサネット] または [ギガビットイーサネット] - [設定の変更] を選択します。

[接続] アイコンからは、他のさまざまなオプションを使用できます。

- [USB]: USB 接続に関する情報を表示する
- [Jetdirect EIO]: Jetdirect 接続に関する情報を表示、構成、およびリセットする
- [詳細設定] - [I/O タイムアウトの選択]: アイドル状態の接続が継続される秒数を指定する。270 がデフォルト値です。0 に設定すると、タイムアウトは無効になります。
- [詳細設定] - [SNMP を使用]: SNMP を許可するかどうかを指定する
- [詳細設定] - [内蔵 Web サーバ] - [内蔵 Web サーバを使用]: 内蔵 Web サーバを有効にするかどうか指定する
- [詳細設定] - [Web サービス] - [HP Utility ソフトウェア]: HP Utility ソフトウェアの設定を表示する
- [詳細設定] - [Web サービス] - [色と用紙の管理]: 色と用紙の管理の設定を表示する

## グラフィック言語の設定を変更する

次の手順に従って、HP Utility からグラフィック言語の設定を変更できます (T1200 シリーズのみ)。

1. Windows では、[設定] タブを選択し、次に [プリンタ設定] - [印刷設定] を選択します。  
Mac OS では、[設定] を選択し、次に [プリンタ設定] - [プリンタ設定の構成] - [印刷設定] を選択します。
2. 以下のオプションの1つを選択します。
  - [自動] を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。これはデフォルトの設定で、大半のソフトウェアアプリケーションに適用されます。通常、変更する必要はありません。
  - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[HP-GL/2] を選択します。
  - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[PDF] を選択します (PostScript プリンタのみ)。
  - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[PostScript] を選択します (PostScript プリンタのみ)。
  - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[TIFF] を選択します (T1200 PS のみ)。
  - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、[JPEG] を選択します (T1200 PS のみ)。

フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更できます。[セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [グラフィック言語の選択] を選択します。希望するオプションを選択して OK ボタンを押し、値を設定します。

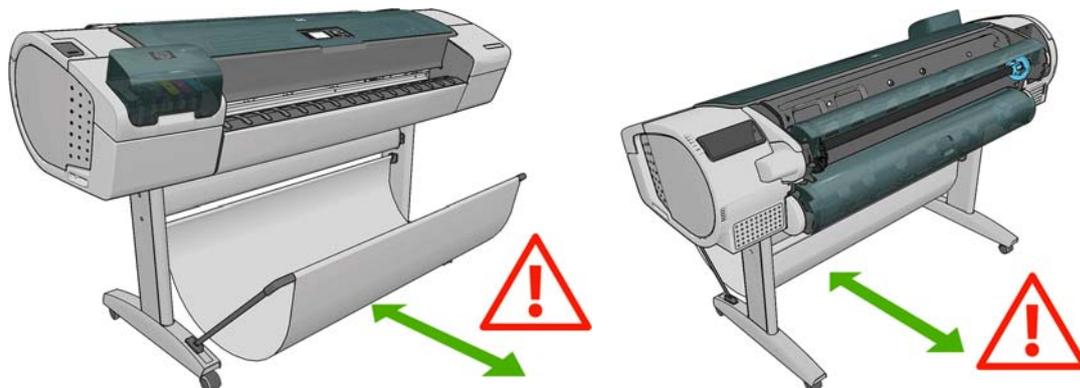
 **注記:** グラフィック言語を HP Utility から設定した場合、フロントパネルの設定より優先されます。

## 5 用紙の取り扱い

- [一般的なヒント](#)
- [ロール紙をスピンドルに取り付ける](#)
- [プリンタにロール紙を取り付ける](#)
- [ロール紙を取り外す](#)
- [カット紙を取り付ける](#)
- [カット紙を取り外す](#)
- [用紙に関する情報を表示する](#)
- [用紙プリセット](#)
- [用紙情報を印刷する](#)
- [用紙を移動する](#)
- [用紙を保守する](#)
- [乾燥時間を変更する](#)
- [自動カッターのオン/オフを切り替える](#)
- [用紙を排紙/カットする](#)

## 一般的なヒント

- △ **注意：** 用紙の取り付けを開始する前に、プリンタの周辺（プリンタの前後の両方）に十分な空間があることを確認してください。

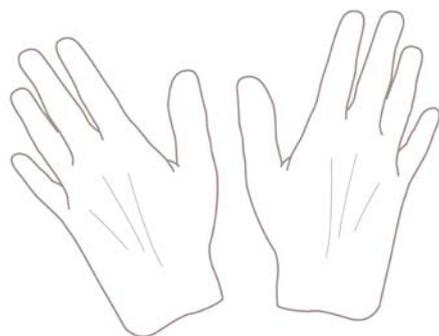


- △ **注意：** プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキレバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



- △ **注意：** すべての用紙は、280 mm 以上である必要があります。A4 およびレター用紙は、横置きに取り付けられません。

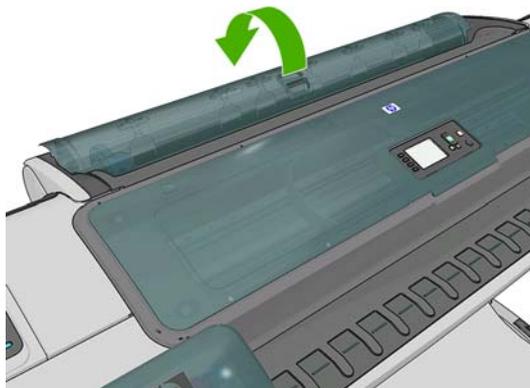
- ☀ **ヒント：** フォト用紙では、用紙に油が付着しないように、綿製の手袋を着用します。



- △ **注意：** 用紙取り付け作業中は、バスケットを閉めてください。

## ロール紙をスピンドルに取り付ける

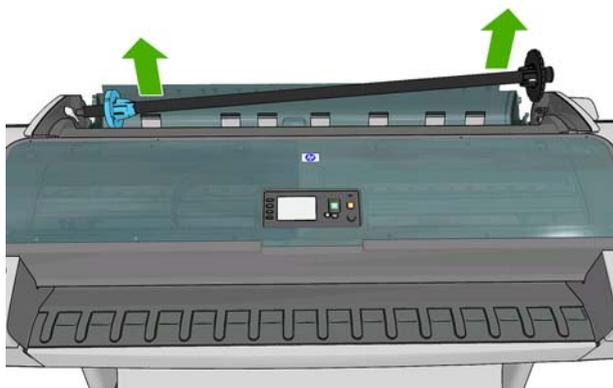
1. ロール カバーを開きます。



2. プリンタからスピンドルを、黒色側、青色側の順で取り外します。

△ **注意：** 必ず黒色側から取り外してください。青色側から取り外すと、黒色側が破損する場合があります。

△ **警告！** 取り外し作業の最中に、スピンドル サポートに指を入れないでください。



3. スピンドルの両端には、ロール紙を正しい位置に固定するストッパが付いています。青いストッパは、新しいロール紙を取り付けるために取り外すことができます。また、どのような幅のロール紙でも固定できるように、スピンドルに沿ってスライドさせることができます。スピンドルの端から青い用紙ストッパを取り外します。

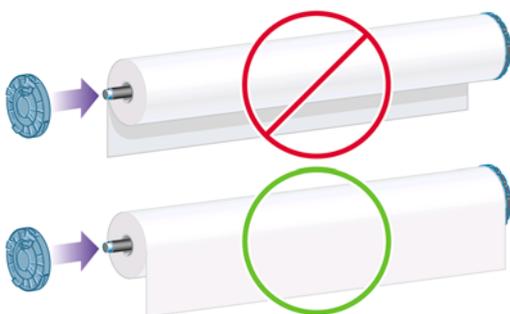


4. ロール紙が長い場合は、スピンドルを台の上に水平に置いて、取り付けるようにしてください。

※ **ヒント：** 大きなロール紙の作業には、2人必要な場合があります。

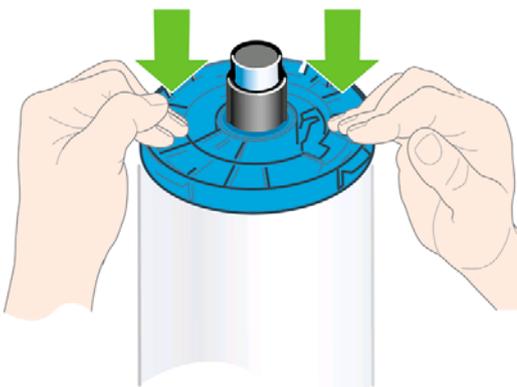
5. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して 180 度回転し、取り付け直します。スピンドルには、正しい向きを示すラベルが付貼されています。

📖 **注記：** プリンタの背面から、青いストッパを右端のホルダーに差し込みます。



ロール紙の両端とスピンドルのストッパの間には、できるだけ隙間がないようにしてください。

6. スピンドルの開口部に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



7. ロール紙の端に押し込めるところまで適度な力で押し込みます。無理やり押し込まないようにしてください。

さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けられたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます ([129 ページの「アクセサリ」](#)を参照)。

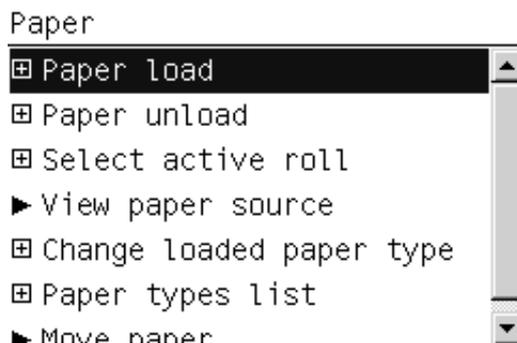
## プリンタにロール紙を取り付ける

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。[33 ページの「ロール紙をスピンドルに取り付ける」](#)を参照してください。

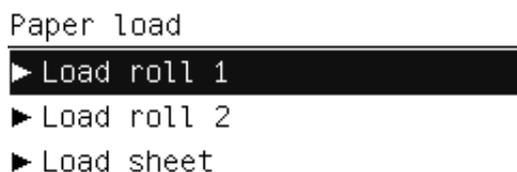
- 📖 **ヒント：** T1200 シリーズ プリンタの場合は、両方のロール カバーを同時に開かないでください。問題が発生する場合があります。常に、一方のカバーを閉じてから、他方のカバーを開いてください。
- 📖 **注記：** 以下の最初の 3 つの手順はオプションです。手順 4 から開始できます。ただし、この場合はプリンタによりロール紙の長さが記録されず、次回取り外すときにロール紙の上にバーコードが印刷されません。このため、**[用紙情報の印刷]** オプションをオフにした場合を除き、手順 1 からすべての手順に従うことをお勧めします。[43 ページの「用紙情報を印刷する」](#)を参照してください。

1. フロントパネルで [用紙] アイコン  を選択します。

2. [用紙の取り付け] を選択します。



3. 取り付けるロール紙を選択します。



選択したロール紙が既に取り付けられている場合、自動的に取り外されるまで待つ必要があります。

4. (T1200 シリーズのみ) ロール紙 2 が既に取り付けられているときにロール紙 1 の取り付けを開始した場合、ロール紙 2 はスタンバイ位置に引き出され、必要な場合は取り付け直さなくても再度印刷できるようになります。

**注記：** ロール紙がスタンバイ位置にあるときにそのロール カバーを開いた場合は、ロール紙が自動的に取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります。

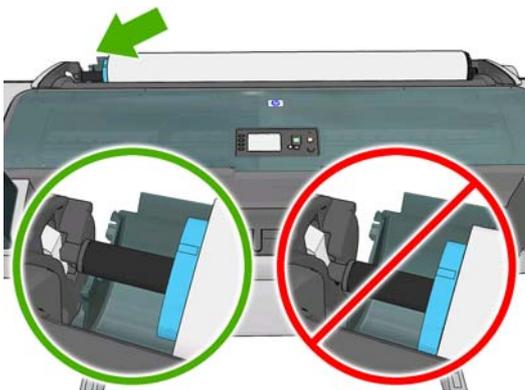
5. まだ開いていない場合は、ロール カバーを開きます。
6. T1200 の下部のロール紙 (ロール紙 2) を取り付ける場合は、プリンタの背面に立ってください。上部のロール紙 (ロール紙 1) を取り付ける場合、または、T770 にロール紙を取り付ける場合は、プリンタの背面と前面のどちらに立ってもかまいません。

**注意：** 身長が 160cm 未満の場合、プリンタの前面に立ってロール紙を取り付けると、背中が痛くなるなど、その他の身体的な問題が生じることがあります。

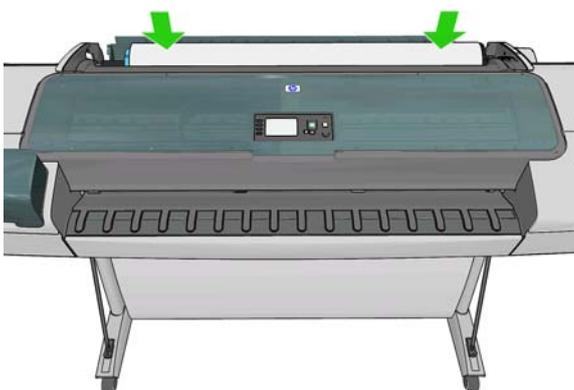
7. 左側のロール紙ホルダーにスピンドルの黒い端を載せます。ロール紙ホルダーに、スピンドルの端を完全に入れしないでください。



8. 右側のロール紙ホルダーにスピンドルの青い端を載せます。



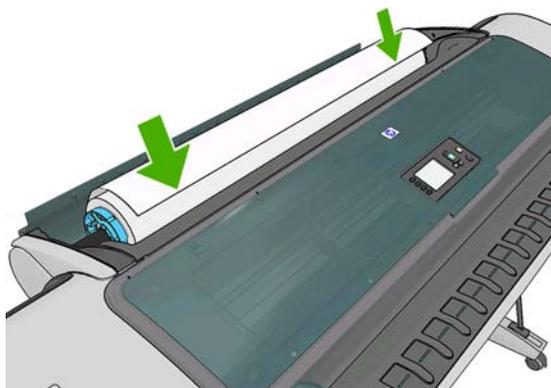
9. 両手を使って、両端のロール紙ホルダーに同時に押し込みます。



10. ロール紙の端が水平にならない場合 (ロール紙の端を固定するためのテープが原因で起こる場合があります)、用紙を少しだけ送り、端を水平にカットします。

11. 用紙の端をプリンタに差し込みます。

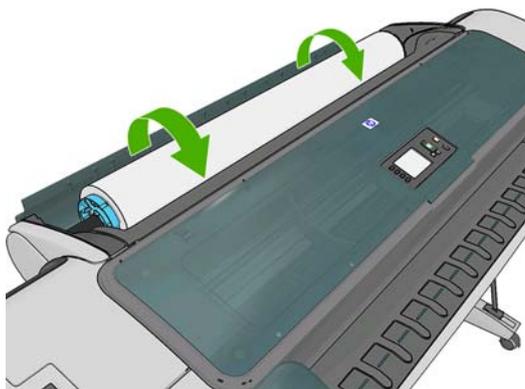
⚠ **警告!** プリンタの用紙経路に指を入れないでください。



☞ **ヒント:** 上部のロール紙を取り付けるときは、ロール紙をカット紙のスロットに挿入しないでください。挿入した場合、プリンタのブザーが鳴り、フロントパネルに用紙を取り除くことを求める指示が表示されます。



12. 用紙がそれ以上入らなくなってわずかに曲がるようになるまで、用紙をプリンタに巻きつけます。プリンタが用紙を検出すると、用紙が自動的に給紙されます。



13. 用紙の先端にバーコードがあり、プリンタが読み取ってバーコードを切り取った場合、用紙のカットされた帯を取り除いて破棄する必要があります。

14. 用紙の先端にバーコードがない場合、フロントパネルに用紙のカテゴリと種類を選択するように要求するメッセージが表示されます。

Select paper category

▶ Bond and Coated Paper

▶ Photo Paper

▶ Film

▶ Technical Paper

▶ Backlit material

▶ Self-Adhesive material

☞ **ヒント：** 用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[139 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない」](#)を参照してください。

15. **[用紙情報の印刷]** オプションが有効な場合、フロントパネルにロール紙の長さを指定するように要求するメッセージが表示されます。[43 ページの「用紙情報を印刷する」](#)を参照してください。

16. プリンタは位置調整を行い、幅を測定します。次に、フロントパネルにロール カバーを閉じるように要求するメッセージが表示されます。

ロール紙が正しく取り付けられていない場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。

📖 **注記：** 用紙の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生したときは、[137 ページの「用紙が正しく取り付けられない」](#)を参照してください。

## ロール紙を取り外す

ロール紙を取り外す前に、ロールに用紙があるかどうか、またはロールの用紙がなくなったかどうかを確認し、以下に説明する適切な手順に従ってください。

### ロールに用紙がある場合の簡単な手順 (T770 シリーズのみ)

ロール紙を取り外すには、フロントパネルの **用紙の取り外し** ボタンを押します。

### ロールに用紙がある場合の簡単な手順 (T1200 シリーズのみ)

ロールに用紙がある場合、ロール カバーを開くだけでロール紙が自動的に取り外されます。

📖 **注記：** この方法でロール紙を取り外すと、ロール紙の上にバーコードが印刷されないため、次回取り付けたときにプリンタがロール紙の長さを認識しません。[43 ページの「用紙情報を印刷する」](#)を参照してください。

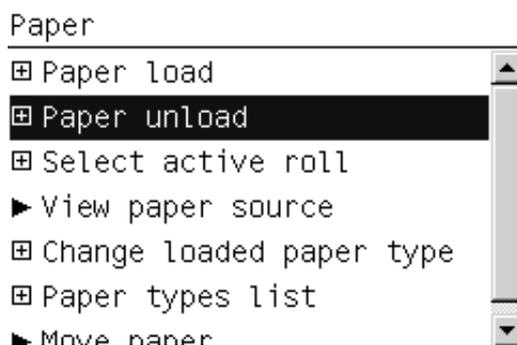
**注記：** カット紙が取り付けられているときにロール紙 1 のカバーを開いた場合、カット紙も取り外されます。

### ロールに用紙がある場合の用紙のメニューの手順

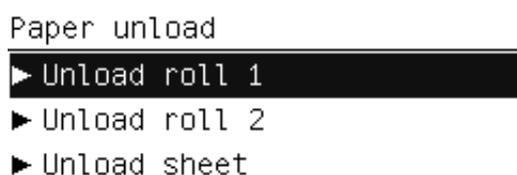
ロールに用紙があるときは、フロントパネルから用紙を取り外すことができます。

1. [用紙] アイコン  を選択します。

2. [用紙の取り外し] を選択します。



3. 取り外すロール紙を選択します。



4. 場合によっては、ロール カバーを開く必要があります。

## ロールに用紙がない場合の手順

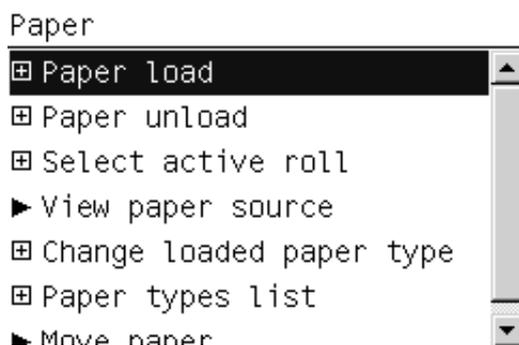
用紙の最後が芯からすでに外れている場合は、以下の手順に従ってください。

1. すでに用紙の取り外しを開始している場合は、フロントパネルの **キャンセル** ボタンを押して、その手順をキャンセルします。
2. 左側の青いレバーを上げます。フロントパネルにレバーに関する警告が表示された場合は、無視してください。
3. プリンタから用紙を引き出します。用紙に触れることができる場所から引き出します。プリンタの背面から引き出すことをお勧めします。場合によっては、ロール カバーを開く必要があります。
4. 青いレバーを下げます。
5. フロントパネルに警告メッセージが表示された場合は、**OK** ボタンを押してメッセージを消します。

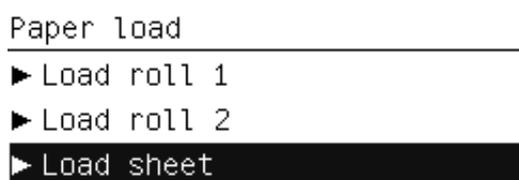
## カット紙を取り付ける

1. T1200 シリーズ プリンタを使用している場合、ロール紙 1 のカバーが閉じていることを確認します。カット紙が取り付けられているときに開いている場合、カット紙はすぐに取り外されず。
2. フロントパネルで [用紙] アイコン  を選択します。

3. [用紙の取り付け] を選択します。



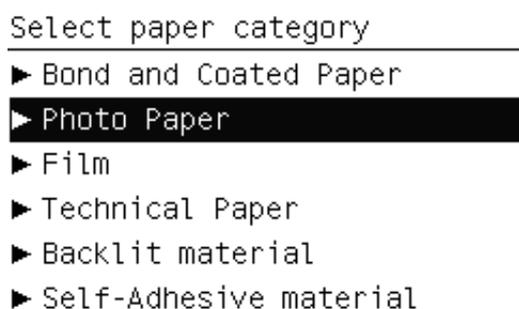
4. [カット紙の取り付け] を選択します。



5. ロール紙が既に取り付けられている場合、自動的に取り外されるまで待つ必要があります。T1200 シリーズでのみ、ロール紙が取り外されずにスタンバイ位置に引き出されるため、カット紙が取り外された後すぐに取り付け直さなくても再度印刷できます。

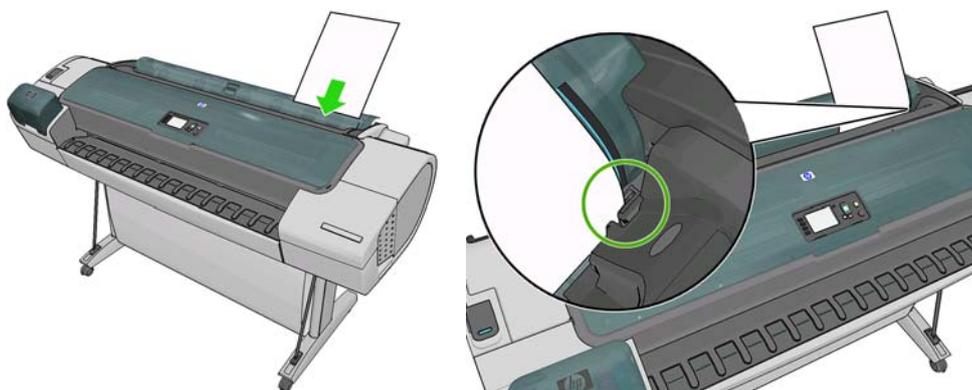
 **注記：** ロール紙がスタンバイ位置にあるときにそのロール カバーを開いた場合は、ロール紙が自動的に取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります (T1200 シリーズのみ)。

6. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。

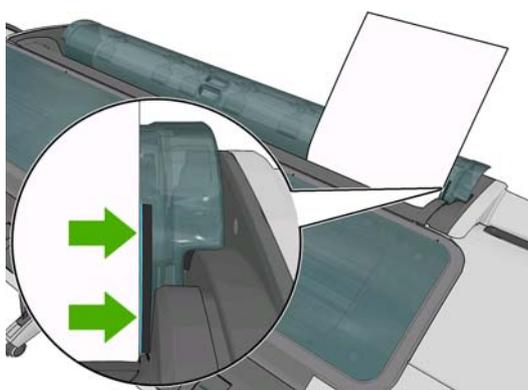


 **ヒント：** 用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[139 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない」](#)を参照してください。

7. フロントパネルに指示が表示されたら、プリンタの右側にあるカット紙スロットにカット紙を挿入します。



カット紙を取り付け線に合わせて取り付け、厚手のカット紙では、それ以上入らなくなるまで用紙を挿入します。



**△ 警告！** プリンタの用紙経路に指を入れないでください。

8. フロントパネルの **OK** ボタンを押すと用紙がプリンタに引き込まれます。カット紙がまっすぐ挿入されるように手を添えます。これは、特に厚手用紙で重要です。
9. プリンタは位置調整を行い、カット紙を測定します。

**📄 注記：** カット紙の長さによっては、プリンタ前面に排紙されます。

10. カット紙の長さが 600mm 未満の場合、フロントパネルに、カット紙の背面がロール カバーの上に逆方向に（プリンタのウィンドウの上に前方向ではなく）取り付けられていることを確認するように要求するメッセージが表示されます。
11. カット紙が正しく軸合わせされていない場合、正しく軸合わせするように求められることがあります。フロントパネルに表示される指示に従ってください。

**📄 注記：** 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、[137 ページの「用紙が正しく取り付けられない」](#)を参照してください。

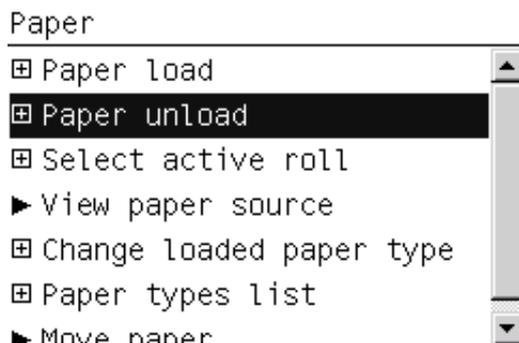
## カット紙を取り外す

印刷後にカット紙を取り外すには、プリンタの前面から用紙を引き出します。

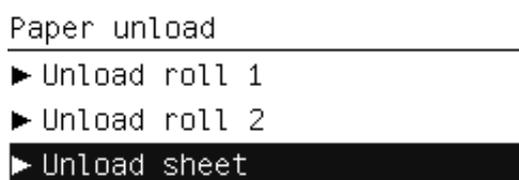
印刷せずに用紙を取り外すには、**用紙の取り外し** ボタン (T770 シリーズのみ) または次の用紙のメニューの手順を使用します。

1. フロントパネルで [用紙] アイコン  を選択します。

2. **[用紙の取り外し]** を選択します。



3. **[カット紙の取り外し]** を選択します。



カット紙がプリンタの前面に排紙されます。手動で取り出すか、バスケットに落としておくことができます。

## 用紙に関する情報を表示する

取り付けられた用紙の情報を表示するには、フロントパネルにある **情報の表示** ボタン  または  を押します。このボタンを繰り返し押すと、取り付けられたすべての用紙の情報を参照できます。T770 シリーズの場合はロール紙とカット紙、T1200 シリーズの場合はロール紙 1、ロール紙 2、カット紙。

また、[用紙] アイコン  を選択し、次に **用紙情報** を選択することもできます。 **上矢印** または **下矢印** ボタンを押すと、取り付けられたすべての用紙の情報を参照できます。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙またはカット紙のステータス
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅 (mm) (推定値)
- 用紙の長さ (mm) (推定値)
- カラーキャリブレーションステータス
- 拡張精度キャリブレーションステータス

用紙が取り付けられていない場合は、「**用紙がありません**」というメッセージが表示されます。

同じ情報は、Windows 用 HP Utility ([概要] タブ - [サプライ品ステータス] タブ)、Mac OS 用 HP Utility ([情報] グループ - [プリンタステータス] - [サプライ品の詳細情報])、および内蔵 Web サーバ (右上隅) に表示されます。

 **注記：** フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([157 ページの「印刷が擦り切れる、または傷がつく」](#)を参照)。

## 用紙プリセット

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、最適な印刷品質を実現するために、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを“用紙”プリセットといいます。用紙プリセットには、用紙の色の特徴を記述する ICC プロファイルや、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プリセットは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙を表示するとスクロールしにくいいため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類のみが用意されています。プリンタにないプリセットの用紙の種類を使用するときは、フロントパネルの表示からその用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプリセットを割り当てるには2つの方法があります。

- フロントパネルまたは HP Utility で、使用する用紙になるべく近いカテゴリと種類を選択して、HP の工場出荷時の用紙プリセットを使用します ([139 ページの「用紙の種類がドライバに含まれていない」](#)を参照)。

 **注記：** カラーが正確ではない場合があります。この方法は、高品質の印刷には向いていません。

- 正しい用紙プリセットをダウンロードするには、以下の URL にアクセスします。  
<http://www.hp.com/go/T770/paperpresets/> または <http://www.hp.com/go/T1200/paperpresets/>。

 **注記：** HP では、HP 用紙の種類に対するプリセットのみを提供しています。必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリース ノートを参照して、情報を確認してください ([126 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照)。

## 用紙情報を印刷する

プリンタの未使用分のロール紙の推定の長さ、用紙の幅と種類を表示するには、**[用紙情報の印刷]** を有効にします。情報はバーコードとテキストの組み合わせから構成され、用紙をプリンタから取り外すとロールの上端に印刷されています。



 **注記：** 未使用分の長さに関する情報は、ロール紙を取り付けるときの用紙の長さをプリンタに指定した場合のみ使用できます。この情報をプリンタに提供するには、用紙を取り付ける際にロール紙の長さをフロントパネルで指定するか、用紙データ バーコードが印刷されているロール紙を取り付けます。

**注記：** バーコードとテキストは、取り付けと取り外しをフロントパネルの [用紙] メニューから行った場合のみロール紙に印刷されます。

**注記：** このオプションは、完全に不透明な用紙を使用する場合のみ有効です。透明または半透明な用紙を使用する場合は失敗する可能性があります。

**[用紙情報の印刷]** オプションを有効にするには、フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、印刷設定 - [用紙オプション] - [用紙情報の印刷の有効化] を選択します。

 **注記：** このオプションを有効にすると、用紙の取り付けと取り外しの手順がわずかに変化します。

## 用紙を移動する

プリンタがアイドル状態 (印刷可能) のときに、フロントパネルから用紙を前または後ろに移動できます。最後に印刷したものと次に印刷するものとの間に余白をとりたいときに行います。

用紙を移動するには、[用紙] アイコン  を選択し、**用紙を移動** を選択します。

Move paper

Press ▲ to rewind paper.

Press ▼ to advance paper.

Press OK to continue.

用紙を前方に移動するには、フロントパネルの **上矢印** ボタンを押します。後方に移動するには、**下矢印** ボタンを押します。用紙が必要な位置に定まったら、**OK** ボタンを押します。

## 用紙を保守する

用紙の品質を保守するには、以下の推奨事項に従ってください。

- ロール紙を別の紙または布で覆って保管する
- カット紙をカバーで覆って保管し、プリンタに取り付ける前にクリーニングまたはブラッシングする
- 入出力プラテンをクリーニングする
- プリンタのウィンドウを常に閉じておく

 **注記：** フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です (157 ページの「印刷が擦り切れる、または傷がつく」を参照)。

## 乾燥時間を変更する

複数印刷で時間がより重要な場合、取り扱う前にインクが乾燥している必要がある場合など、印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

[セットアップ] アイコン  を選択し、**[用紙の取り扱い] - [乾燥時間の選択]** を選択します。次のオプションを選択できます。

- 長い: インクが完全に乾燥するように、推奨時間より長く設定します。
- 最適: 選択した用紙のデフォルト時間 (推奨) に設定します (デフォルト設定)。
- 短い: 品質の重要性が低い場合は、推奨時間より短く設定します。
- なし: 乾燥時間を無効にして、印刷が終了するとすぐに印刷された用紙を取り出します。

△ **注意：** 印刷された用紙が取り出される際にインクが乾燥していない場合は、出力トレイにインクを付れたり、印刷された用紙にインクを残したりすることがあります。

 **注記：** 印刷中に乾燥時間をキャンセルすると、同時に実行されているプリントヘッド保守が原因で、プリンタが用紙を正しく排紙/カットできなくなります。乾燥時間がゼロの場合は、プリンタは用紙をカットして、次にプリントヘッド保守を実行します。ただし、乾燥時間がゼロより大きい場合、プリントヘッド保守が終了するまでは、**排紙/カット** ボタン  が押されたとしても、プリンタは用紙をカットしません。

## 自動カッターのオン/オフを切り替える

プリンタの用紙カッターのオン/オフを切り替えるには、以下の手順に従ってください。

- HP Utility (Windows) で、[設定] タブを選択し、[プリンタ設定] - [詳細設定] を選択して [カッター] オプションを変更します。
- HP Utility (Mac OS) で、[設定] - [プリンタ設定] - [詳細設定] を選択して [カッター] オプションを変更します。
- 内臓 Web サーバで、[セットアップ] タブを選択し、[プリンタ設定] - [詳細設定] を選択して [カッター] オプションを変更します。
- フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、[用紙の取り扱い] - [カッターの有効化] を選択してカッター オプションを変更します。

デフォルト設定は、**[オン]** です。

 **注記：** カッターがオフの場合、ジョブ間で用紙がカットされなくなりますが、取り付け、取り外し、およびロール紙の交換時には用紙がカットされ続けます。

 **ヒント：** 自動カッターが無効になっているときにロール紙をカットするには、[45 ページの「用紙を排紙/カットする」](#)を参照してください。

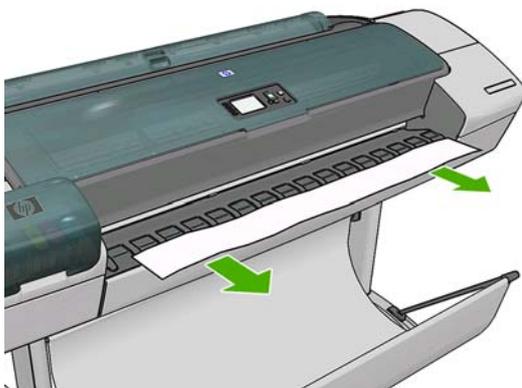
## 用紙を排紙/カットする

フロントパネルで **排紙/カット** ボタン  を押した場合、プリンタから用紙が排出されて、先端が水平にカットされます。この操作を行う理由として、次の場合が考えられます。

- 用紙が破れていたりまっすぐでない場合に、用紙の先端をカットするため
- 自動カッターが無効な場合に、用紙を排紙/カットするため
- プリンタが他のページのネスティングを待機中である場合に、待機時間をキャンセルして印刷可能なページを直ちに印刷するため

 **注記：** 印刷されるたびにプリントヘッドで保守サービスが行われ、この処理が終了するまで用紙がカットできなくなるため、遅くなることがあります。

 **注意：** 出カトレイからカットされた用紙を取り除きます。出カトレイに用紙の切れ端や短い印刷用紙が残っている場合は、プリンタで紙詰まりが発生することがあります。



 **注記：** フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([157 ページの「印刷が擦り切れる、または傷がつく」](#)を参照)。

 **ヒント：** カットせずに用紙を移動するには、[44 ページの「用紙を移動する」](#)を参照してください。

## 6 2本のロール紙の取り扱い (T1200 シリーズのみ)

- [マルチロール プリンタの使用](#)
- [プリンタがロール紙にジョブを割り当てる手順](#)

## マルチロール プリンタの使用

マルチロール プリンタは、さまざまな点で便利です。

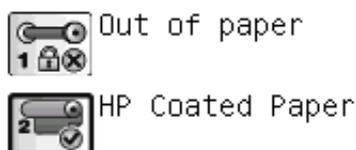
- 必要に応じて異なる種類の用紙を自動的に切り替えることができます。
- 必要に応じて異なる幅の用紙を自動的に交換できます。これにより、小さいイメージは幅の狭い用紙に印刷できるため、用紙を節約できます。
- 同じ種類のロール紙をプリンタに取り付けると、最初のロール紙を使い切ると自動的に次のロール紙に切り替わるため、長時間の無人での印刷が可能になります。[63 ページの「無人印刷/夜間印刷 \(T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照してください。

複数のロールを取り扱う際に役立つ2つの基本事項があります。

- 有効なロールとは、現在取り付けられていて、ロール紙を交換する理由がプリンタにない場合はデフォルトで印刷されるロール紙のことです。有効なロールを変更するには、[用紙] アイコン  を選択し、[有効なロールの選択] を選択します。
- 保護されたロールは、ロール紙番号またはその用紙の種類が具体的に要求されなければ使用されないように保護されます。[63 ページの「ロール紙保護 \(T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照してください。

両方のロール紙の現在のステータスは、フロントパネルのステータス画面に表示されます。

Ready



http://XXXXX11  
http://192.168.1.1

## プリンタがロール紙にジョブを割り当てる手順

内蔵 Web サーバーまたはプリンタ ドライバから印刷ジョブを送信するときに、特定の用紙の種類への印刷を指定できます ([用紙の種類] オプションを使用)。特定のロール紙 (1 または 2) への印刷も指定できます ([給紙]、[給紙方法]、または [給紙トレイ] オプションを使用)。指定に応じたロール紙が割り当てられますが、イメージの一部が切れることなく印刷できるよう、大き目のロール紙を割り当てることもあります。

- どちらのロール紙もジョブに適している場合は、ロール紙切替ポリシーに従ってロール紙が選択されます。[21 ページの「ロール紙切替オプション」](#)を参照してください。
- ロール紙の一方だけがジョブに適している場合は、そのロール紙に印刷されます。
- どちらのロール紙もジョブに適していない場合は、用紙が一致しない場合の動作に応じて、ステータスが「一時停止しています」と表示されると同時にジョブ キューに置かれるか、適切でないロール紙に印刷されます。[21 ページの「用紙が一致しない場合の動作」](#)を参照してください。

Windows 用のプリンタ ドライバの場合、現在プリンタに取り付けられている用紙の種類と幅、および用紙が取り付けられているロールが表示されます。

通常の場合で使用される可能性がある設定を以下に示します。

- 種類が異なる用紙が取り付けられている場合:
  - **[用紙の種類]:** 必要な用紙の種類を選択
  - **[給紙方法]:** 自動選択/選択された方法
  - **[ロール紙切替ポリシー]:** 無効
- 幅が異なる用紙が取り付けられている場合:
  - **[用紙の種類]:** 任意
  - **[給紙方法]:** 自動選択/選択された方法
  - **[ロール紙切替ポリシー]:** ロール紙の消費を最小化

※ **ヒント:** 場合によっては、イメージを回転またはネスティングすることによって用紙を節約することもできます。60ページの「[用紙を節約する](#)」を参照してください。

- 同じロール紙が取り付けられている場合:
  - **[用紙の種類]:** 任意
  - **[給紙方法]:** 自動選択/選択された方法
  - **[ロール紙切替ポリシー]:** ロール紙の変更を最小化

# 7 印刷

- [印刷ジョブを作成する](#)
- [印刷品質を選択する](#)
- [用紙サイズを選択する](#)
- [マージン オプションを選択する](#)
- [ショートカットを使用して印刷する](#)
- [取り付けられている用紙への印刷](#)
- [印刷を拡大縮小する](#)
- [重なった線の処理方法を変更する](#)
- [印刷をプレビューする](#)
- [試し印刷をする](#)
- [高品質の印刷](#)
- [グレースケールで印刷する](#)
- [マージンなしで印刷する \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [切り取り線付きで印刷する \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [前回のジョブを再印刷する](#)
- [用紙を節約する](#)
- [ジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [インクを節約する](#)
- [ロール紙保護 \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [無人印刷/夜間印刷 \(T1200 シリーズのみ\)](#)

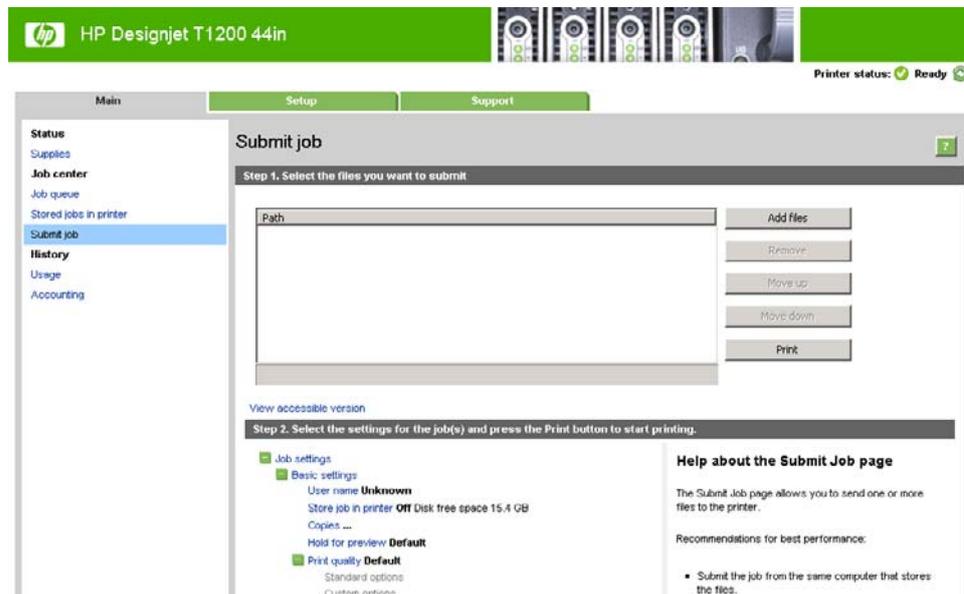
## 印刷ジョブを作成する

印刷するにはデータをプリンタに送信する必要があります。データは印刷ジョブを構成し、プリンタの印刷キューに入れられます。印刷ジョブをプリンタに送信するには、主に次の2つの方法があります。

- プログラムから直接印刷するには、通常どおりプログラムの印刷コマンドを使用します。プリンタを選択すると、ジョブをプリンタに送信するプリンタ ドライバが呼び出されます。
- サポートされているグラフィック形式にすでになっているファイルがある場合は、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタ ドライバを経由せずに直接プリンタに送信できます (以下を参照)。

### 内蔵 Web サーバを使用したファイルの印刷 (T1200 シリーズのみ)

HP Utility で、[ジョブセンター] - [ジョブの送信] を選択します。内蔵 Web サーバで、[メイン] タブを選択して [ジョブの送信] を選択します。次のウィンドウが表示されます。



[ファイルの追加] ボタンを押すと、印刷するファイルをコンピュータから選択できます。ファイルは、次のいずれかの形式である必要があります。

- PDF (T1200 PS のみ)
- PostScript (T1200 PS のみ)
- TIFF (T1200 PS のみ)
- JPEG (T1200 PS のみ)
- HP-GL/2
- RTL

**注記：** ファイルに出力するとき、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、その名前には **.plt**、**.prn** などの拡張子が付く場合があります。

ファイルが上記の形式に該当しない場合は、正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (用紙サイズ、向き、サイズ変更、印刷数など) で生成された場合、[印刷] ボタンを押すだけでジョブがプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する場合は、[ジョブの設定] セクションで必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明が表示されるため、各設定の動作を知ることができます。設定を [デフォルト] の

ままにすると、ジョブに保存されている設定が使用されることに注意してください。何も設定されていないジョブでは、プリンタの設定が使用されます。

## 印刷品質を選択する

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。

したがって、標準の印刷品質セレクタはスライダになっており、これを使用して品質と速度間の選択が可能です。用紙の種類によって適切な調整ができます。

その他の方法としては、ユーザー定義オプションの **[高品質]**、**[標準]**、および **[高速]** の中から選択します。**[高速]** を選択した場合、**[エコノモード]** を選択することもできます。エコノモードでは、より低いレンダリング解像度が使用され、消費するインクが少なくなります。したがって、印刷速度はさらに向上しますが、印刷品質は下がります。**[エコノモード]** はユーザー定義オプションからのみ選択できます(スライダから選択することはできません)。

印刷品質に影響する追加のユーザー定義オプションである **[高精細]** も提供されています。[57 ページの「高品質の印刷」](#)を参照してください。

 **注記：** Windows ドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリング解像度が [ユーザー定義オプション] に表示されます ([ユーザー定義オプション]、**[設定]** の順に選択してください)。Mac OS の **[プリント]** ダイアログでは、**[一覧]** パネルに表示されます。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** **[用紙/品質]** タブに移動して **[印刷品質]** セクションを確認します。**[標準オプション]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。**[ユーザー定義オプション]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** **[用紙/品質]** パネルに移動して **[品質オプション]** セクションを確認します。品質オプションで **[標準]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで **[カスタム設定]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** **[用紙/品質]** パネルに移動して **[品質オプション]** セクションを確認します。品質オプションで **[標準]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで **[カスタム設定]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** **[イメージ品質]** パネルを開きます。品質オプションで **[標準]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで **[カスタム設定]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ):** **[基本設定] - [印刷品質]** を選択します。次に **[標準オプション]** を選択すると、**[速度]** および **[品質]** 間の選択が可能です。**[ユーザー定義オプション]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されません。
- **フロントパネルを使用する場合:** **[セットアップ]** アイコン  を選択し、**[印刷品質] - [印刷品質]** を選択します。

 **注記：** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

 **注記：** プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

## 用紙サイズを選択する

用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

- ☞ **注記：** ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。55 ページの「印刷を拡大縮小する」を参照してください。
- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [用紙/品質] タブを選択し、[文書サイズ] リストで用紙サイズを選択します。
  - **Mac OS の [ページ設定] ダイアログの場合:** [対象プリンタ] リストから使用するプリンタを選択し、[用紙サイズ] リストで用紙サイズを選択します。
- ☞ **注記：** アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ):** [詳細設定] - [用紙] - [ページサイズ] - [標準] を選択します。
  - **フロントパネルを使用する場合:** [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [用紙オプション] - [用紙サイズの選択] を選択します。
- ☞ **注記：** コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

## カスタム用紙サイズ

用紙サイズのリストに表示されない標準以外の用紙サイズを選択するには、以下の手順を実行します。

- **Windows** では、次の 2 つの方法があります。
    - 印刷設定ダイアログで、[用紙/品質] タブの [ユーザー定義用紙サイズ] ボタンをクリックします。新しい用紙サイズの名前と寸法を指定し、[保存] をクリックして新しい用紙サイズを保存します。[文書サイズ] のリストで新しいユーザ設定を表示するには、プリンタのプロパティを終了し、次に再度プリンタのプロパティを表示します (必要に応じて次に [詳細] を使用します)。
- ☞ **注記：** ドライバでは、幅が長さを超える用紙サイズを作成することはできません。
- [スタート] メニューで [プリンタと FAX] を選択し、[ファイル] メニューで [サーバーのプロパティ] を選択します。[用紙] タブで [新しい用紙を作成する] ボックスをオンにして、新しい用紙の名前と寸法を指定し、[用紙の保存] をクリックします。
- **Mac OS の場合:** [ページ設定] ダイアログで [用紙サイズ] - [カスタムサイズを管理] を選択します。
- ☞ **注記：** アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ):** [詳細設定] - [用紙] - [ページサイズ] - [カスタム] を選択します。

## マージン オプションを選択する

デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には 5mm マージンがあります(カット紙の下端では 17mm まで広がります)。ただし、いくつかの方法でこの動作を変更できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [用紙/品質] タブを選択し、[マージン/レイアウト] ボタンをクリックします。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** [マージン/レイアウト] パネルを選択します。
- **Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [マージン/レイアウト] パネルを選択します。
- **Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [仕上げ] パネルを選択して、次に [レイアウト] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ):** [詳細設定] - [用紙] - [レイアウト/マージン] を選択します。

以下のオプションのいくつかが表示されます。

 **注記:** Mac OS では、使用できるマージン オプションは選択した用紙サイズによって異なります。たとえば、フチ無し印刷では、「マージンなし」が含まれている用紙サイズ名を選択する必要があります。

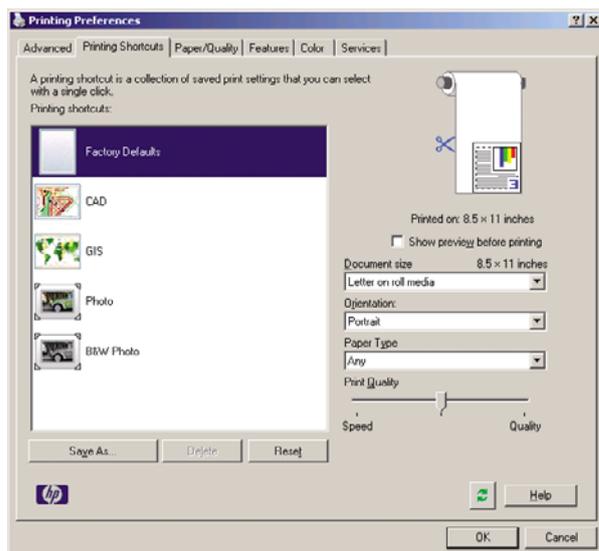
- **[標準]:** イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- **[オーバーサイズ]:** イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- **[内容をマージンでクリップ]:** イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。このオプションでは、イメージがページと同じサイズの場合、プリンタでイメージの両端が白または重要でないと判断され、印刷の必要がないと見なされます。これは、イメージにフチがある場合に役に立ちます。
- **[フチ無し]:** イメージは、選択したサイズのページにマージンなしで印刷されます。イメージは、イメージの端と用紙の端の間にマージンが残らないように、若干拡大されます。**[プリンタで自動]** を選択した場合、この拡大は自動的に行われます。**[アプリケーションで手動]** を選択した場合、印刷するページより若干大きいカスタム ページ サイズを選択する必要があります。[59 ページの「マージンなしで印刷する \(T1200 シリーズのみ\)」](#)も参照してください。

## ショートカットを使用して印刷する

プリンタ ドライバには、特定のジョブを印刷する場合にさまざまな値を設定できるオプションが多数用意されています。印刷機能のショートカットには、特定のジョブの種類に適用するこれらすべてのオプションの値が格納されており、シングルクリックでこれらの値をすべて設定できます。一部の設定(文書サイズ、給紙方法、印刷の向きなど)は、アプリケーションで設定された値が優先される場合があります。

ショートカットを使用するには、Windows ドライバのダイアログで **[印刷機能のショートカット]** タブを選択します。

 **注記:** ショートカットを使用できるのは、Windows のみです。



使用できるショートカットのリストが表示されます。印刷するジョブの種類に適合するショートカットを選択します。

これにより、ドライバのオプションが調整され、ジョブに適用します。すぐに印刷することも可能ですが、その設定で問題ないか確認することもできます。必要に応じてショートカットを選択し、その設定を手動で変更できます。

**ヒント：** 少なくとも、[印刷機能のショートカット] タブに表示される設定を確認します (文書サイズ、印刷の向きなど)。

[初期設定] ショートカットには、プリンタのデフォルト設定が保存されています。これをクリックすると、すべてのオプションがデフォルト値に設定されます。

[印刷機能のショートカット] では、特定のニーズに合わせてカスタマイズできます。ユーザ設定のショートカットを作成するには、以下の手順に従います。

1. 要件に最も近いショートカットを選択します。
2. [印刷機能のショートカット] タブまたはその他のタブで値を変更します。
3. 新しい印刷機能のショートカットを保存します。

後でそのショートカットが不要になった場合は、それを削除できます。

## 取り付けられている用紙への印刷

プリンタに取り付けられている任意の用紙にジョブを印刷するには、プリンタ ドライバの [用紙の種類] オプションで [任意] を選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [用紙/品質] タブを選択します。次に、[用紙の種類] プルダウンメニューから [任意] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** [用紙/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから [任意] を選択します。
- **Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [用紙/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから [任意] を選択します。
- **Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [イメージ品質] パネルを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから [任意] を選択します。

**注記：** [任意] は、用紙の種類を選択のデフォルト値です。

## 印刷を拡大縮小する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小 (大体は拡大) するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイルサイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。この場合は、ソフトウェアで用紙サイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合: [機能] タブに移動して [サイズ変更オプション] セクションを確認します。**
  - **[文書を印刷する用紙]** オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - **[% (元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200): [用紙処理] パネルを選択し、次に [出力用紙サイズ] でイメージを拡大縮小する用紙サイズを選択します。イメージのサイズを大きくする場合には、[縮小のみ] ボックスのチェックがオフになっていることを確認します。**
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [仕上げ] パネルで [文書を印刷する用紙] を選択し、イメージサイズを調整する用紙サイズを選択します。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。**
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ): [詳細設定] - [サイズ変更] を選択します。**
  - **[標準] および [カスタム]** オプションを使用すると、選択した標準またはカスタムの用紙サイズに合わせて、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A4 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A3 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A3 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - **[% (元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **フロントパネルを使用する場合: [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [用紙オプション] - [サイズ変更] の順に選択します。**

1 枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるかどうかを確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

## 重なった線の処理方法を変更する

 **注記:** このトピックは、HP-GL/2 ジョブを印刷する場合にのみ該当します。

マージ設定では、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。次の2種類の設定があります。

- オフ: 線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。これは、デフォルト設定です。
- オン: 線が交差している場合、2つの線の色がマージされます。

マージ設定を [オン] にするには、フロントパネルに移動して [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [HP-GL/2 の設定] - [マージの有効化] の順に選択します。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージオプションを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

## 印刷をプレビューする

画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

- Windows では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - [印刷プレビューの表示] オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの [印刷機能のショートカット] タブ、[用紙/品質] タブ、および [機能] タブにあります。プレビューは、プリンタおよびプリンタ ドライバに応じて、さまざまな方法で行うことができます。
- Mac OS では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - [プリント] ダイアログ ボックスの下部にある [プレビュー] ボタンをクリックします。これは、Mac OS で提供される基本的な印刷プレビューです。
  - T1200 PS プリンタで PostScript ドライバを使用している場合は、[印刷プレビューの表示] オプションをオンにします。このオプションは、ドライバの [印刷] ダイアログの [仕上げ] パネルにあります。このプレビューは内蔵 Web サーバより提供され、Web ブラウザのウィンドウに表示されます。
  - PCL ドライバを使用している場合は、[プリント] ダイアログ ボックスの下部にある [PDF] ボタンをクリックし、次に [HP 印刷プレビュー] をクリックします。ここでは、さらに機能が付加されたプレビューが提供されます。用紙サイズ、用紙の種類、印刷品質を変更したり、イメージを回転したりできます。

 **注記:** HP 印刷プレビューは、Adobe InDesign、Adobe Illustrator、Adobe Reader または Apple Aperture を使用する場合には利用できないことがあります。Adobe InDesign CS4 および Adobe Illustrator CS4 で利用可能です。

- 内蔵 Web サーバを使用して印刷をプレビューするには、[基本設定] - [プレビュー待ち] を選択します。このプレビューは、T770 HD プリンタおよび T1200 プリンタシリーズから利用できます。

## 試し印刷をする

高速の試し品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** [用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。

- Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [イメージ品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ([速度]) まで移動させます。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ): [基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [速度] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [印刷品質] - [品質レベルの選択] - [高速] を選択します。

以下の手順でエコノモードを使用して、さらに高速で試し品質の印刷を指定できます。これは、テキストや線画のみを含む文書を主に想定しています。

- Windows ドライバのダイアログの場合: [用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。[ユーザー定義オプション] を選択し、品質レベルを [高速] に選択して、[エコノモード] チェック ボックスをオンにします。
- Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200): [用紙/品質] パネルに移動して品質オプションを [ユーザ設定] に設定し、品質を [高速] に設定して [エコノモード] チェック ボックスをオンにします。
- Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [用紙/品質] パネルに移動して品質オプションを [ユーザ設定] に設定し、品質を [高速] に設定して [エコノモード] チェック ボックスをオンにします。
- Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [イメージ品質] パネルに移動して品質オプションを [ユーザ設定] に設定し、品質を [高速] に設定して [エコノモード] チェック ボックスをオンにします。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ): [基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高速] に設定し、[エコノモード] を [オン] に設定します。
- フロントパネルを使用する場合: [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [印刷品質] - [エコノモードの有効化] を選択します。

 **注記:** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

## 高品質の印刷

高品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- Windows ドライバのダイアログの場合: [用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200): [用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。
- Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [イメージ品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ([品質]) まで移動させます。

- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ): [基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [品質] を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [印刷品質] - [品質レベルの選択] - [高品質] を選択します。

 **注記:** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

## 高解像度のイメージがある場合

イメージがレンダリング解像度より大きい解像度である場合 (Windows では [ユーザー定義オプション] で確認可能)、[高精細] オプションを選択すると、印刷の鮮明度を増すことができます。このオプションは、光沢紙に [高品質] 印刷品質で印刷する場合にのみ使用できます。

- ドライバのダイアログ (Mac OS の [プリント] ダイアログ) の場合: [標準] 印刷品質ではなく [カスタム設定] を選択し、[高精細] ボックスをオンにします。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ): [基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高品質] に、[高精細] を [オン] に設定します。
- フロントパネルを使用する場合: [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [印刷設定] - [印刷品質] - [高精細の有効化] を選択します。

 **注記:** 高精細 オプションを選択すると、フォト用紙の場合に印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

## グレースケールで印刷する

イメージのすべてのカラーを、以下の方法でグレースケールに変換できます。

- アプリケーション プログラムでの場合: 多くのプログラムにこのオプションが用意されています。
- Windows ドライバのダイアログの場合: [カラー] タブで [カラー オプション] セクションを確認します。[グレースケール印刷] を選択します。グレースケールなしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。
- Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200): [カラー オプション] パネルに移動し、[Mode] (モード) プルダウンメニューから [グレースケール] を選択します。グレースケールなしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。
- Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [カラー オプション] パネルに移動し、[Mode] (モード) プルダウンメニューから [グレースケール] を選択します。グレースケールなしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。
- Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [カラー オプション] パネルに移動して、[グレースケールで印刷] を選択します。グレースケールなしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ): [カラー] を選択し、[カラー/グレースケール] を [グレースケールで印刷] に設定します。グレースケールなしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。

## マージンなしで印刷する (T1200 シリーズのみ)

マージンなしで (用紙の端まで) 印刷します。フチ無し印刷とも呼ばれます。光沢ロール紙を使用する場合のみ実行できます。

マージンを残さずに印刷するために、用紙の端より少し外側まで印刷されます。用紙の外に付着したインクは、プラテンに取り付けられたスポンジに吸収されます。

マージンなしで印刷する設定は、以下の方法で行います。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [用紙/品質] タブを選択し、[マージン/レイアウト] ボタンをクリックします。[フチ無し] を選択します。
- **Mac OS の [ページ設定] ダイアログの場合 (T1200):** 「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、[プリント] ダイアログで [マージン/レイアウト] - [フチ無し] を選択します。

☞ **注記:** アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。

- **Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [ページ設定] ダイアログの場合 (T1200 PS):** 「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、[プリント] ダイアログで [マージン/レイアウト] - [フチ無し] を選択します。

☞ **注記:** アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。

- **Mac OS X 10.4 PostScript の [ページ設定] ダイアログの場合 (T1200 PS):** 「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、[プリント] ダイアログで [仕上げ] - [レイアウト] - [フチ無し] を選択します。

☞ **注記:** アプリケーションに [ページ設定] ダイアログがない場合は、[印刷] ダイアログを使用してください。

- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合:** [詳細設定] - [用紙] - [レイアウト/マージン] - [フチ無し] を選択します。

[フチ無し] を選択した場合は、[イメージの拡大] で以下のオプションのうち 1 つを選択する必要があります。

- **[プリンタで自動]** を選択すると、イメージが自動的に少し拡大され (通常、各方向に数ミリメートル)、用紙の端より外側まで印刷されるようになります。
- **[アプリケーションで手動]** を選択したときは、アプリケーション上でイメージを拡大する必要があります。また、実際の用紙サイズより少し大きいカスタム用紙サイズを選択します。

☞ **注記:** 用紙をプリンタに取り付けた後、最初の印刷ジョブがフチ無し印刷ジョブの場合、印刷前に用紙の先端がカットされます。

フチ無し印刷の最後に、通常、印刷がフチ無しになるように、印刷された用紙が画像エリアの少し内側までカットされます。イメージの残りが次の印刷に含まれないようにするために、用紙が再度カットされます。ただし、ジョブがキャンセルされた場合、またはイメージの下部に余白がある場合、用紙は 1 度だけカットされます。

## 切り取り線付きで印刷する (T1200 シリーズのみ)

切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮小するにはどの位置で用紙をカットすべきかを示します。個々のジョブで自動的に切り取り線を印刷するには、以下の手順に従います。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [機能] タブを選択し、[切り取り線] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合:** [仕上げ] パネルを選択して、次に [切り取り線] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合:** [詳細設定] - [ロール紙オプション] - [切り取り線の有効化] - [はい] を選択します。

または、以下の手順に従って、デフォルトで切り取り線を印刷する設定にすることもできます。

- **内蔵 Web サーバの場合:** [セットアップ] - [プリンタ設定] - [ジョブ管理] - [印刷時に切り取り線を使用する] - [オン] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合:** [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [用紙] - [切り取り線の有効化] - [オン] を選択します。

ネスティングしたジョブ (61 ページの「[ジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1200 シリーズのみ\)](#)」を参照) で切り取り線を印刷するには、他のオプションを選択してください。

- **内蔵 Web サーバの場合:** [セットアップ] - [プリンタ設定] - [ジョブ管理] - [ネスティング有効時に切り取り線を使用する] - [オン] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合:** [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [ジョブ管理] - [ネスティングの設定] - [切り取り線の有効化] - [オン] を選択します。

## 前回のジョブを再印刷する

前回印刷したジョブをフロントパネルから再印刷できます。[ジョブ管理メニュー] アイコン  を選択し、[前回のジョブの再印刷] を選択します。

-  **注記:** この方法は、PCL3 ジョブでは使用できません。以前のジョブが PCL3 である場合、使用するオペレーティング システムのプリンタ スプーラで再印刷できます。ただし、以前のジョブを保存するようスプーラを設定しておく必要があります。この機能は、使用するオペレーティング システムによって異なります。

## 用紙を節約する

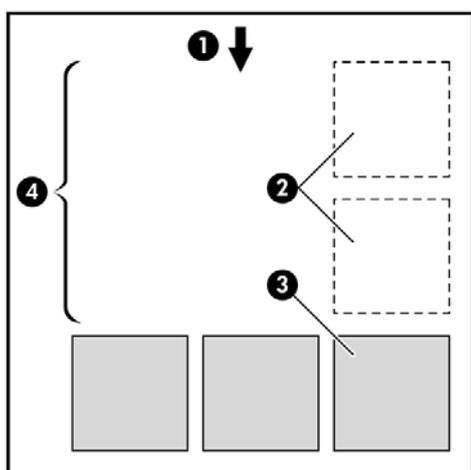
用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 比較的小さなイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用すると、1 つずつ連続してではなく、並べて印刷できます。[61 ページの「ジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照してください。
- 以下のオプションを選択すると、ロール紙を節約できます。
  - **Windows ドライバのダイアログの場合:** [機能] タブを選択し、[上下の余白を削除] を選択し、必要に応じて [90° 回転] を選択します。
  - **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** [仕上げ] パネルを選択し、[上下の余白を削除] を選択します。

- Mac OS PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [仕上げ] パネルを選択し、[上下の余白を削除] または [90° 回転] あるいはその両方を選択します。
- 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1200 シリーズ): [詳細設定] - [ロール紙オプション] - [上下の余白を削除] または [回転] あるいはその両方を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。[56 ページの「印刷をプレビューする」](#)を参照してください。

## ジョブをネスティングしてロール紙を節約する (T1200 シリーズのみ)

ネスティングとは、イメージやドキュメントのページを、1 つずつ連続してではなく、自動的に 1 枚の用紙に並べて印刷することです。これは、用紙の無駄使いを防ぐために使用します。



1. 用紙送りの方向
2. ネスティング オフ
3. ネスティング オン
4. ネスティングにより節約された用紙

### プリンタがページをネスティングしようとするタイミング

次の両方に当てはまる場合:

- プリンタに、カット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- プリンタの [ネスティング] オプションの設定がオフになっていない。[22 ページの「ネスティングをオン/オフにする \(T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照してください。

### ネスティングできるページ

ページが大きすぎて 2 枚のページをロール紙に並べられない場合や、ページ数が多すぎて残りのロール紙に収まりきらない場合を除き、すべてのページをネスティングできます。ネスティングされたページの単一のグループを、2 枚のロール紙の間で分割することはできません。

## ネスティングに適したページ

同じネスティングに収めるには、各ページは以下の点すべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページの印刷品質の設定が同じであること ([**エコノモード**]、[**高速**]、[**標準**]、または [**高品質**])。
- すべてのページで [**高精細**] 設定が同じであること。
- すべてのページで [**レイアウト/マージン**] 設定が同じであること。
- すべてのページで [**左右反転**] 設定が同じであること。
- すべてのページで [**レンダリング用途**] 設定が同じであること。
- すべてのページで [**カッター**] 設定が同じであること。
- すべてのページでカラー調整設定が同じであること。69 ページの「[カラー調整オプション](#)」を参照してください。
- ページはすべてカラーか、すべてグレースケールであること。つまり、一部がカラーで一部がグレースケールではないこと。
- すべてのページが次の 2 つのグループの一方であること (同じネスティングで 2 つのグループを混在させることはできません)。
  - HP-GL/2、RTL
  - PostScript、PDF、TIFF、JPEG
- 解像度が 300dpi を超える JPEG および TIFF ページは、他のページとネスティングできない場合がある。

## プリンタが別のファイルを待機する時間

プリンタは可能な限り最良のネスティングを実現できるように、ファイルが受信された後、待機します。これは、後続のページがそのファイルとネスティング可能かどうか、またはキューにすでにあるページとネスティング可能かどうかを確認するためです。この待機時間はネスティング待ち時間と呼ばれ、工場出荷時のデフォルト設定は 2 分です。これは、プリンタが最後のファイルを受け取ってから最後のネスティングを印刷するまで待機する最大時間が 2 分であることを意味します。You can

change this waiting time from the printer's front panel: [セットアップ] アイコン  を選択し、次に [ジョブ管理オプション] - [ネスティングの設定] - [待ち時間の選択] を選択します。使用可能な範囲は、1 ~ 99 分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトを待機する間、フロントパネルには残りの時間が表示されます。ネスティングを印刷する (ネスティングの待機をキャンセルする) には、**排紙/カット** ボタンを押します。

## インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端 ([**速度**]) まで移動させます。さらに経済的にするには、ユーザー定義オプションを選択し、[**高速**] および [**エコノモード**] を選択します。
- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、少量のインクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保

守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用されま  
す。

- 縦向きで印刷するより、横向きで印刷したほうがインクを節約できます。これは、プリントヘッ  
ドの保守の際にもインクが使用され、保守が行われる頻度がプリントヘッドの移動回数に連動し  
ているためです。このため、ジョブをネスティングさせると、用紙だけでなくインクも節約でき  
ます (61 ページの「[ジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1200 シリーズのみ\)](#)」を  
参照)。

## ロール紙保護 (T1200 シリーズのみ)

ロール紙の保護を選択した場合、ジョブがロールに取り付けられたロール紙番号または用紙の種類を  
明示的に指定した場合のみジョブが印刷されます。これは、たとえば次の場合に役立ちます。

- 重要ではないジョブを、高価な用紙に間違えて印刷することがないようにする
- HP プリンタ ドライバを操作しないで AutoCAD から印刷するとき、特定のロール紙に印刷し  
ないようにする

ロール紙を保護するには、フロントパネルで [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] -  
[用紙オプション] - [ロールの保護] を選択します。

 **注記：** ロール紙を保護している場合、後で現在のロール紙を取り外して新しいロール紙を取り付け  
ると、新しいロール紙も保護されたままになります。用紙の特定のロール紙ではなく、ロール紙種類  
を保護していることになります。そのロール紙番号は、保護をキャンセルするまで保護され続けま  
す。

 **ヒント：** ロール紙番号または用紙の種類を指定しないで印刷した場合、保護されたどのロール紙に  
も印刷できません。

## 無人印刷/夜間印刷 (T1200 シリーズのみ)

マルチロール機能、および信頼性の高い、一貫性のある印刷品質を提供する HP Designjet T1200 プ  
リンタ シリーズは、長時間の無人印刷ジョブに最適です。

長い印刷ジョブのキューの処理を行う場合は、次の推奨事項を参考にしてください。

- 可能であれば、新品の長いロール紙を使用します。
- 一部使用済みのロール紙に印刷する場合は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで用紙の種  
類と残りの長さを調べ、すべてのジョブの印刷に十分な用紙があることを確認することができま  
す。

 **注記：** 未使用分の長さに関する情報は、用紙を取り付けるときにロール紙の長さをプリンタに  
指定した場合、またはプリンタが用紙に印刷されたバーコードからロール紙の長さを読み取った  
場合のみ使用できます。

- ジョブに適した 2 本のロール紙を取り付けてください。プリンタでは、1 つのロール紙を使い終  
えると、もう 1 つのロール紙に自動的に交換されます。
- すべてのジョブを印刷可能な用紙の幅があることを確認してください。幅が広すぎるジョブは、  
用紙が一致しない場合の動作が “ジョブを保留にする” に設定されている場合、「[一時停止す  
る]」ことがあります (21 ページの「[用紙が一致しない場合の動作](#)」を参照)。
- インクカートリッジのインク残量を確認します。
- 印刷ジョブの送信後は、内蔵 Web サーバを使用して離れた場所からジョブのステータスを監視  
できます。

- [乾燥時間] を [最適] に設定する必要があります。
- [セットアップ] アイコン  を選択し、[印刷設定] - [用紙オプション] - [ロール紙切替オプション] - [ロール紙の変更を最小化] または [用紙の少ないロール紙を使用] を選択します。

用紙および印刷の種類に応じて、以下の設定を推奨しています。

表 7-1 無人での印刷の推奨設定

印刷の種類	印刷品質	高精細	最適化	乾燥時間	用紙の種類
線	標準	オフ	線	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、光沢紙
線と塗りつぶし	標準	オン	線	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、光沢紙
地図	高品質	オン	イメージ	最適	コート紙、厚手コート紙、光沢紙
レンダリング、写真	高品質	オン	イメージ	最適	コート紙、厚手コート紙、光沢紙

---

## 8 カラーマネジメント

- [はじめに](#)
- [色が表示される仕組み](#)
- [カラーマネジメント プロセスの概要](#)
- [カラー キャリブレーション](#)
- [プリンタ ドライバからのカラーマネジメント](#)
- [プリンタ ドライバからのカラーマネジメント \(PostScript プリンタ\)](#)
- [内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [フロントパネルからのカラーマネジメント](#)

## はじめに

本プリンタは、先進のハードウェアとソフトウェアによって期待通りの信頼できる結果を約束します。

- 一貫した色を再現するためにカラーキャリブレーションを行います。
- 1つのグレー インクと2つのブラック インクにより、すべての種類の用紙で中間のグレーを再現します。
- フォトペーパーに印刷するときは、フォトブラック インクが純粋な黒を再現します。
- 他のHP Designjet プリンタのカラー エミュレーションを行います。

## 色が表示される仕組み

カラーを表示するすべてのデバイスは、数値的な用語でカラーを再現するのにカラー モデルを使用します。ほとんどのモニタはRGB (Red-Green-Blue) カラー モデルを使用する一方、ほとんどのプリンタはCMYK (Cyan-Magenta-Yellow-black) カラー モデルを使用します。

イメージは、あるカラー モデルから別のカラー モデルに変換できます。ただし、一般に変換は完全ではありません。本プリンタは、RGB カラー モデルを使用しています。これは、モニタで使用されている同じカラー モデルです。

これにより、カラーのマッチングの問題は単純化されますが、完全に解決されるわけではありません。各デバイスは、たとえ同じカラー モデルを使用していても、他のデバイスとは少し異なるカラーを再現します。ただし、ソフトウェアから、特定のデバイスの特性に従ってイメージのカラーを調整できます。その際、正しい色を実現するためにデバイスのカラー プロファイルが使用されます。

## カラーマネジメント プロセスの概要

正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。

1. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションはときどき行う必要があります ([66 ページの「カラーキャリブレーション」](#)を参照)。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、キャリブレーションを実行します。
2. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラー プリセットを選択します。

## カラーキャリブレーション

カラーキャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することができます。カラーキャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのプリンタから同様の印刷物を出力することができます。

用紙の種類によってはキャリブレーションを行うことができない場合があります。それ以外の種類の用紙では、以下の状況の場合にキャリブレーションを行ってください。

- プrintヘッドを交換した場合
- 現在のPrintヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 環境条件 (温度や湿度など) が大きく変化した場合

現在取り付けられている用紙のカラー キャリブレーション ステータスは、フロントパネルの **情報の表示** ボタンを押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- ペンディング: この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

**注記:** プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーションステータスはペンディングにリセットされます。

- 失効: この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、プリントヘッドが交換されて現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- 完了: この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- 無効: この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

**注記:** カラーキャリブレーションは、普通紙やすべての種類の透明紙では実行できません。

カラー キャリブレーション ステータスは、HP Utility でも確認できます。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- HP Utility (Windows) から: **[Color Center] - [用紙のキャリブレーション]** を選択し、キャリブレーションを実行する用紙を選択します。
- HP Utility (Mac OS) から: [HP Color Center] グループから **[用紙プリセット管理]** を選択して、キャリブレーションを実行する用紙を選択し、 ボタンを押して **[用紙のキャリブレーション]** を選択します。
- フロントパネルで **[イメージ品質の保守]** アイコン  を選択し、**[カラー キャリブレーション]** を選択します。

キャリブレーション処理は完全に自動化されています。A4、その他のより大きなサイズなど、キャリブレーションを行う種類の用紙を取り付けた後、無人で実行されます。有効なロールの用紙にキャリブレーションが実行されます。キャリブレーションを実行するロールが有効であることを確認してく

ださい。有効なロール紙を変更するには、**[用紙]** アイコン  を選択し、**[有効なロールの選択]** を選択します。

この処理には3～5分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーション チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。
3. チャートがスキャンされ、計測されます。
4. 計測結果を基に、必要な修正要素が算出され、その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

# プリンタ ドライバからのカラーマネジメント

## カラーマネジメント オプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **[アプリケーションで管理]**: この場合、アプリケーション プログラムで、イメージに埋め込まれた ICC プロファイルやプリンタおよび用紙の種類の ICC プロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラー スペースに合わせてイメージの色が変換されます。
- **[プリンタで管理]**: この場合、アプリケーション プログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラー スペースに合わせて色に変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。

- **PostScript (PostScript プリンタ)**: プリンタ内部の PostScript インタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイルおよび PostScript ジョブと共に送信された追加のプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScript ドライバを使用してプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PostScript、PDF、TIFF、または JPEG ファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、デフォルトとして使用するプロファイル (ジョブで指定されない場合に備えて) および適用するレンダリング用途を選択する必要があります。
- **PostScript 以外 (PCL、RTL、HP-GL/2)**: カラーマネジメントは、保存されたカラー テーブルのセットを使用して実行されます。ICC プロファイルは使用されません。この方法は他の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的な HP の用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、PostScript 以外のドライバを使用してプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PCL、RTL、または HP-GL/2 ファイルを直接送信した場合に実行されます。

☞ **注記**: プリンタに格納されているカラー テーブルでプリンタのカラー スペースに変換できるカラー スペースは、2つだけです (Windows の場合は Adobe RGB と sRGB、Mac OS の場合は Adobe RGB と ColorSync)。

ColorSync は Mac OS に組み込まれたカラーマネジメント システムです。ColorSync を選択すると、指定した用紙の種類の ICC プロファイルに基づいて、Mac OS がカラーマネジメントを実行します。ColorSync は、PCL3 ドライバのみで使用できます。

Mac OS X 10.4 では、**[カラー オプション]** パネルで選択します。**[ソース プロファイル]** ドロップダウン リストから **[内蔵 (ICC/ColorSync) を使用]** を選択します。Mac OS X 10.5 および 10.6 では、**[カラー マッチング]** パネルで選択します。

使用するアプリケーションのカラーマネジメント オプションの使用方法については、Knowledge Center [\(185 ページの「Knowledge Center」を参照\)](#) を参照することをお勧めします。

以下の手順で、**[アプリケーションで管理]** または **[プリンタで管理]** を選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**: **[カラー]** タブを選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**: **[カラー オプション]** パネルを選択します。
- **一部のアプリケーションの場合**: アプリケーションで選択できます。

## プリンタ エミュレーション

特定のジョブが、HP Designjet プリンタでどのような色で印刷されるか、およその色を確認したい場合は、プリンタのエミュレーション モードを使用します。

 **注記：** このオプションは、HP-GL/2、PostScript、またはPDF ジョブを印刷する場合にのみ使用できます。これは、普通紙、コート紙、および厚手コート紙に印刷する場合にのみ正しく機能します。

- **Windows HP-GL/2 または PostScript ドライバのダイアログの場合:** [カラー] タブを選択し、[プリンタで管理] を選択し、[ソース プロファイル] リストの [プリンタのエミュレーション] を選択します。[エミュレートされるプリンタ] リストから選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** [カラー オプション] パネルを選択し、[カラーマネジメント]-[プリンタ] を選択し、[ソース プロファイル] リストの [プリンタのエミュレーション] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [カラー オプション] パネルを選択し、[プリンタのエミュレーション] リストから選択します。

## カラー調整オプション

カラー調整の目的は、正確な色を出力することにあります。カラーマネジメントを適切に実行すると、手動でカラー調整を行うことなく、正確な色を出力できます。

ただし、以下の状況では手動での調整が便利です。

- 何らかの原因で、カラーマネジメントが正しく機能しない場合
- 正確さより主観的に好ましい色が求められる場合

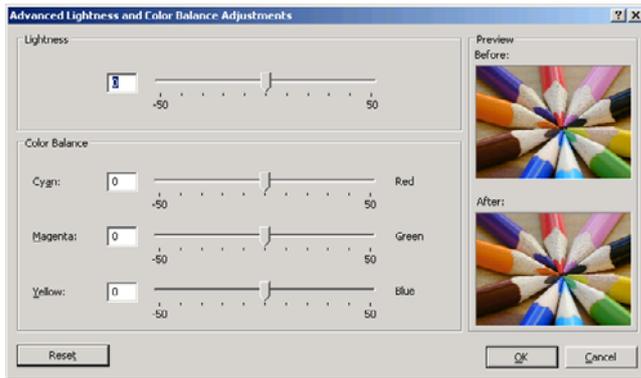
プリンタ ドライバには、カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかによって、異なる調整機能が用意されています。白黒で印刷する場合、カラー調整オプションはありません。

## カラーでの印刷

印刷の色は、Windows と Mac OS でほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [カラー] タブをクリックします。[カラー詳細調整] チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある [設定] ボタンをクリックします。
- **[Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** [カラー オプション] パネルを選択し、モードリストから [カラー] を選択して [調整] ボタンを押します。
- **[Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [カラー オプション] パネルを選択し、モードリストから [カラー] を選択して [調整] ボタンを押します。
- **Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [カラー オプション] パネルで [明度と色相] を選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、明度スライダと 3 つのカラー調整スライダを使用して調整できます。



- 明度スライダは、印刷全体を明るくしたり、暗くしたりします。
- カラー調整スライダは、印刷で各原色を弱めたり、強調したりするために使用できます。原色は、イメージで使用されているカラーモデルに応じて、レッド、グリーン、ブルー、またはシアン、マゼンタ、イエローのどちらかになります。

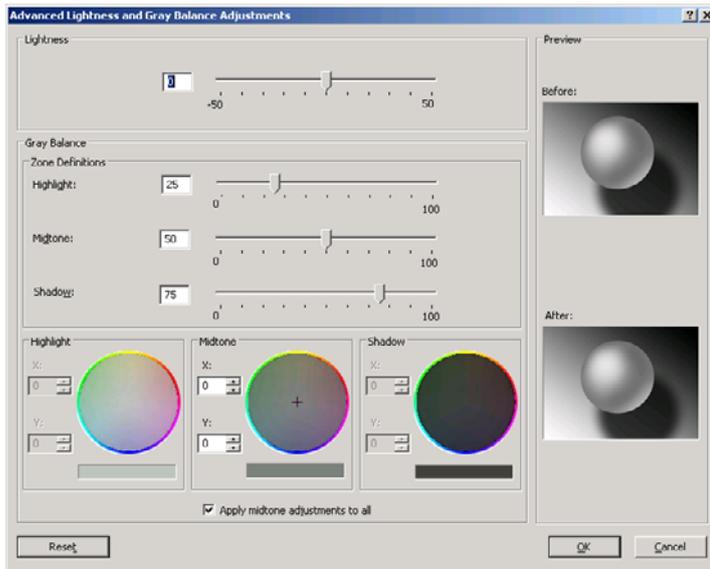
[リセット] ボタンをクリックすると、各スライダは既定の中央位置に戻ります。

## グレースケールでの印刷

印刷のグレイ バランスは、Windows と Mac OS でほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [カラー] タブをクリックします。[カラー詳細調整] チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある [設定] ボタンをクリックします。
- **[Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):]** [カラー オプション] パネルを選択し、モードリストから [グレースケール] を選択して [調整] ボタンを押します。
- **[Mac OS X 10.5 および 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):]** [カラー オプション] パネルを選択し、モードリストから [グレースケール] を選択して [調整] ボタンを押します。
- **Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [カラー オプション] パネルを選択し、[グレースケールで印刷]、[グレイ バランス] タブの順に選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、ハイライト、中間トーン、シャドウについてそれぞれ独立したコントロールを使用して調整できます。



- 明度スライダは、印刷全体を明るくしたり、暗くしたりします。このスライダは、他のグレースケール調整コントロールと同じウィンドウにあります。ただし、Mac OS の場合、このスライダは **[明度と色相]** を選択して表示されるウィンドウにあります。
- ゾーンの定義スライダは、ハイライト、中間トーン、シャドウの調整を定義するために使用できます。
- ハイライト、中間トーン、シャドウの他のコントロールは、それぞれハイライト、中間トーン、シャドウのグレースケールバランスを調整するために使用できます。

[リセット] ボタンをクリックすると、各コントロールは既定の設定に戻ります。

## プリンタ ドライバからのカラーマネジメント (PostScript プリンタ)

この機能は、PostScript ドライバを使用して印刷するときには使用できます。

### HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション

イメージで指定した PANTONE カラーを使用すると、通常、アプリケーションによってそのカラーに近い CMYK または RGB カラーがプリンタに送信されます。ところが、アプリケーションではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] では、プリンタや用紙の種類の特性を考慮に入れることによって、最も近いカラーを再現することができます。特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元の PANTONE カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルの方々が手作業で行ったエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用するには、この機能をオンにするだけです。この機能はデフォルトでオンになっています。

- **Windows PostScript ドライバのダイアログの場合:** [カラー] タブに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合:** [カラー オプション] パネルに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。

また、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタが再現する PANTONE カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE スポット カラーの間の色の差 ( $\Delta E$ ) の値も示されます。つまり、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用すると、お使いのプリンタで実現できる最も一致するカラーを再現できるだけでなく、そのエミュレーションが元のスポット カラーにどの程度近いかに関する明確な情報も得ることができます。[74 ページの「PANTONE 見本帳の印刷」](#)を参照してください。

## カラー エミュレーション

お使いのプリンタでは、他のデバイス (モニタなどの RGB デバイス、印刷機やプリンタなどの CMYK デバイス) の色の作用をエミュレートできます。

カラー エミュレーションは、以下の方法で設定できます。

- **Windows PostScript ドライバのダイアログの場合:** [カラー] タブの [プリンタで管理] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合:** [カラー オプション] パネルを選択し、カラーマネジメント リストから [プリンタ] を選択します。

適切なエミュレーションを実行するために、プリンタでは、これらのデバイスで再現できるカラーの仕様が必要があります。これらの情報をカプセル化するための標準的な方法は、ICC プロファイルです。この解決策の一部として、弊社では、さまざまなデバイスで最も共通性の高い標準規格を用意しました。

オプションは以下のとおりです。

## CMYK カラー エミュレーション

従来の処理では、CMYK スペースでカラーが定義されます。最高の印刷結果を得るには、カラーをプリンタに合わせて調整する必要があります。これは、プリンタが変わると同じ CMYK データから異なるカラーが生成されるためです。印刷中のイメージ ファイルがプリンタに合わせて作成されていない場合は、プリンタから再調整を要求するメッセージが表示されます。再調整を行うには、プリンタの以下のオプションからいずれかを選択します。

- なし (ネイティブ): エミュレーションを行いません。プリンタは、CMYK から RGB へのデフォルトの内部変換を使用します。このとき、どのカラー標準規格にも従いませんが、これにより、結果の質が悪くなることを意味するわけではありません。
- U.S. Web Coated (SWOP) 2 は、インクの総使用量 300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- U.S. Web Uncoated (SWOP) 2 は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- U.S. Sheetfed Coated 2 は、インクの総使用量 350%、ネガ版、インクジェット オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Sheetfed Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- Europe ISO Coated FOGRA27 は、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、ISO 12647 に準拠した印刷の高品質の色分解を行うように設計されています。
- Euroscale Uncoated 2 は、インクの総使用量 260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscale インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- Japan Web Coated (Ad) は、日本国内の雑誌/広告業界向けにイメージのデジタル プルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。

- Japan Color 2001 Coated は、Japan Color 2001 のタイプ 3 (コート紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- Japan Color 2001 Uncoated は、Japan Color 2001 のタイプ 4 (普通紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量 310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- Japan Color 2002 Newspaper は、Japan Color 2002 新聞用に準拠しています。これは、インクの総使用量 240%、ポジ版、標準新聞紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- JMPA: オフセット印刷機の日本標準です。
- Toyo は、高品質の色分解を行うための東洋インキ製造独自の仕様です。
- DIC: 高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。

☞ **注記:** これらのオプションは、アプリケーションが独自の CMYK スペースを定義している場合には影響しません。この独自の CMYK スペースは、「キャリブレーションされた CMYK」または PostScript の用語で「CIEBasedDEF G」と呼ばれます。

## RGB カラー エミュレーション

お使いのプリンタには、以下のカラー プロファイルが用意されています。

- なし (ネイティブ): エミュレーションを行いません。カラー変換がアプリケーションまたはオペレーティング システムによって行われ、データがすでにカラーマネジメントされた状態でプリンタに送られる場合に使用します。
- sRGB IEC61966-2.1: 一般的な PC モニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーでサポートされており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになっています。
- ColorMatch RGB: Radius Pressview モニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、Adobe RGB (1998) よりも色域が狭く、印刷物に製作作業に使用することもできません。
- Apple RGB: 一般的な Apple モニタの特性をエミュレートし、さまざまな DTP アプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Apple モニタでファイルを表示する場合、または古い DTP ファイルを処理する場合に使用します。
- Adobe RGB (1998) は、RGB カラーのかなり大きな色域を再現することができます。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

## 内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント (T1200 シリーズのみ)

### [ジョブの送信] のオプション

内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信]** ページを使用してプリンタにジョブを送信するとき、以下のカラーマネジメント オプションが使用できます。

オプションを **[デフォルト]** のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。何も設定されていないジョブでは、プリンタのフロントパネルの設定が使用されます。

## T1200 および T1200 PS のオプション

- **[カラー/グレースケール]:** カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するか、白黒で印刷するかを選択できます。
- **[デフォルト RGB ソース プロファイル]:** プリンタによって認識され、選択された RGB ソース プロファイルから選択できます。
- **[プリンタ エミュレーション]:** 他の HP Designjet プリンタをエミュレートすることができます。デフォルト: **[オフ]** (プリンタ エミュレーションなし)。

## T1200 PS オプション (PostScript または PDF ジョブの場合)

- **[デフォルト CMYK ソース プロファイル]:** プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト: **[Europe ISO Coated FOGRA27]**。
- **[レンダリング用途]:** レンダリング用途を選択できます。
- **[黒点補正]:** 黒点補正をオンまたはオフにすることができます。
- **[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]:** HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。

## レンダリング用途

レンダリング用途は、カラー変換を実行するとき使用される設定の 1 つです。印刷するカラーの一部がプリンタで再現できない場合があります。レンダリング用途を使用すると、これらのいわゆる色域外の色を処理する 4 つの方法のいずれかを選択できます。

- **[彩度 (グラフィック)]:** 明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- **[知覚的 (イメージ)]:** 中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。色の全体的な見え方は、可能な限り維持されます。
- **[相対カラーメトリック (ブルーフィング)]:** 特定の色と調和させる場合に最適です。この方法は、主にブルーフィングに使用されます。正確に色を印刷できる状態では、確実に正確な色で印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラー スペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- **[絶対カラーメトリック (ブルーフィング)]:** [相対カラーメトリック] と同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にブルーフィングに使用されますが、この場合のブルーフィングは、1 台のプリンタの出力のシミュレーション (白点を含む) を目的に行います。

## 黒点の補正を行う

黒点補正オプションでは、カラー スペース間でカラーを変換するとき、黒点の差異を調整するかどうかを設定します。このオプションを選択すると、完全なダイナミック レンジのソース スペースが、完全なダイナミック レンジのデスティネーション スペースにマップされます。この機能は、ソース スペースの黒点がデスティネーション スペースの黒点より濃い場合に、シャドウ部分を残すために非常に便利です。このオプションは、レンダリング用途として **[相対カラーメトリック]** が選択されている場合 (74 ページの「[レンダリング用途](#)」を参照) にのみ使用できます。

## PANTONE 見本帳の印刷

内蔵 Web サーバを使用して、プリンタが再現する PANTONE カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することができます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE スポット カラーの間の色の差 ( $\Delta E$ ) の値も示されます。

見本帳を印刷するには、内蔵 Web サーバの **[メイン]** タブを選択し、**[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]** を選択します。エミュレートする PANTONE 用紙を選択し、印刷する

PANTONE カラーのストリップを1つまたは複数選択します。複数の PANTONE 用紙からカラー ストリップを選択できます。必要なカラーをすべて選択したら、**[次へ]** ボタンを押します。次のウィンドウに選択内容が表示され、**[印刷]** を押してその選択内容を印刷するか、**[戻る]** を押して選択内容を変更できます。



## フロントパネルからのカラーマネジメント

フロントパネルから [イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[カラー キャリブレーション] を選択することによって、取り付けられた用紙の種類のカラー キャリブレーションを行うことができます。[66 ページの「カラー キャリブレーション」](#)を参照してください。

フロントパネルにある他のカラー オプションはすべて、[セットアップ] メニュー アイコン  を選択し、[印刷設定] - [カラー オプション] を選択すると表示できます。

 **注記** : フロントパネルの設定より、プリンタードライバー、または (T1200 シリーズでは) 内蔵 Web サーバのジョブ送信設定の方が優先されます。

## T770 シリーズと T1200 シリーズのオプション

- カラー/グレースケール: カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかを選択できます。デフォルト: **[カラーで印刷]**。
- RGB ソース プロファイルの選択: プリンタによって認識され、選択された RGB ソース プロファイルから選択できます。デフォルト: **[sRGB (HP)]**。
- プリンタのエミュレート: 他の HP Designjet プリンタをエミュレートすることができます。デフォルト: **[オフ]** (プリンタ エミュレーションなし)。

☼ **ヒント:** 他の HP Designjet プリンタ用に作成された古い HP-GL/2 ファイルまたは PostScript ファイルがある場合、プリンタにそれを送信し、フロントパネルを使用して適切なエミュレーション モードをオンにすることができます。

## T1200 PS オプション (PostScript または PDF ジョブの場合)

- CMYK ソース プロファイルの選択: プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト: **[Europe ISO Coated FOGRA27]**。
- レンダリング用途の選択: レンダリング用途を選択できます。デフォルト: **[知覚的]**。
- 黒点補正: 黒点補正をオンまたはオフにすることができます。デフォルト: **[オン]**。
- HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション: HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。デフォルト: **[オン]**。

---

## 9 実際の印刷の例

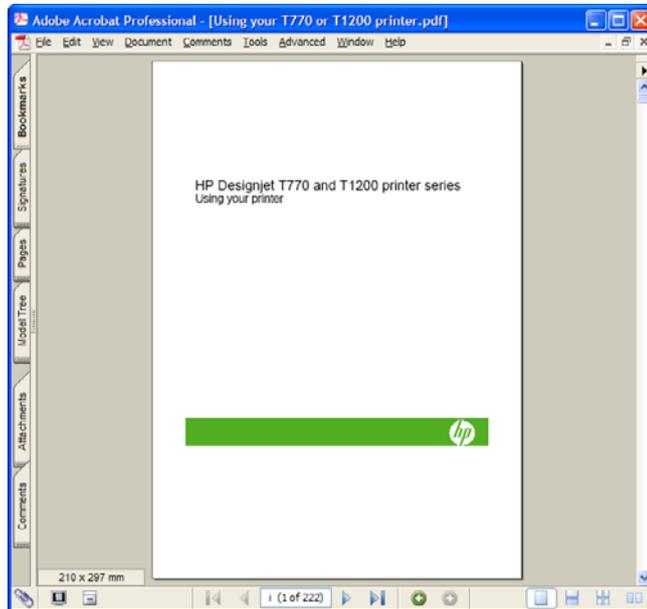
- [正しい倍率で試し印刷する](#)
- [プロジェクトの印刷](#)
- [プレゼンテーションの印刷](#)
- [Microsoft Office からの印刷および拡大縮小](#)

## 正しい倍率で試し印刷する

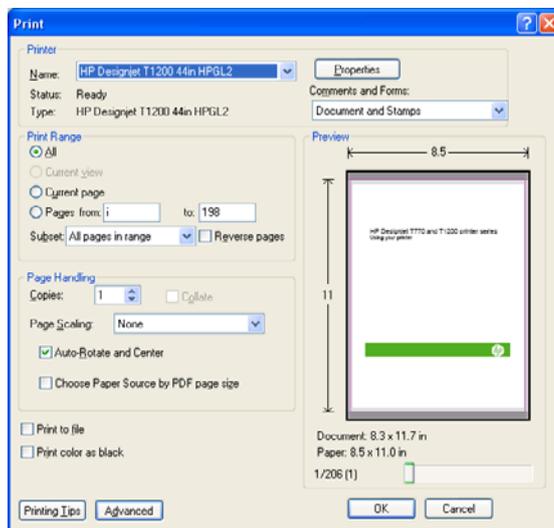
このセクションでは、Adobe Acrobat から正しい倍率で確認し試し印刷をする方法を示します。

### Adobe Acrobat を使用する

1. Acrobat のウィンドウで、マウスのカーソルをドキュメント ウィンドウの左下隅まで移動して図面のサイズを確認します。

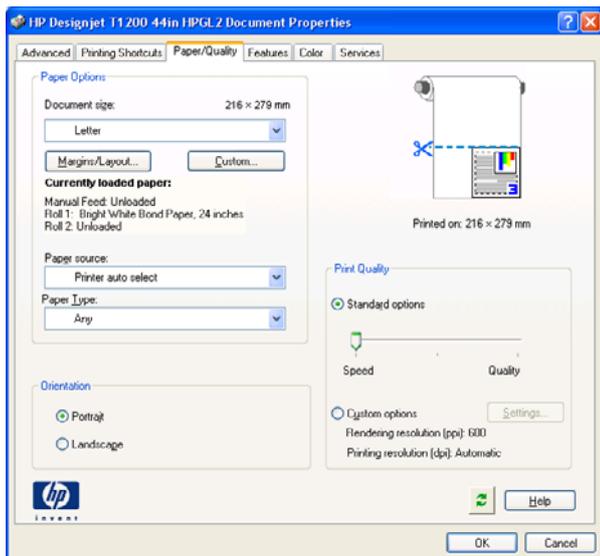


2. [ファイル] - [印刷] を選択し、[ページの拡大/縮小] が [なし] に設定されていることを確認します。

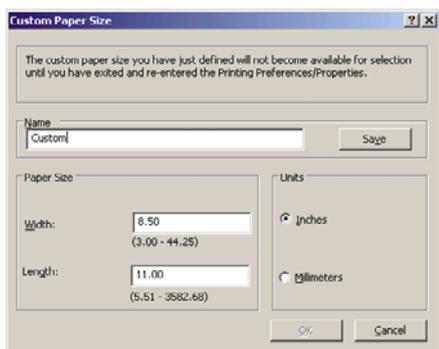


**注記：** ページサイズは、描画サイズにより自動的に選択されるわけではありません。

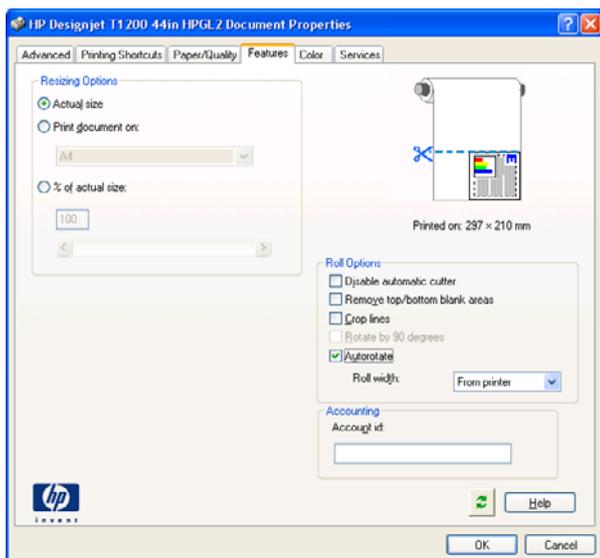
3. [プロパティ] ボタンをクリックし、[用紙/品質] タブを選択します。



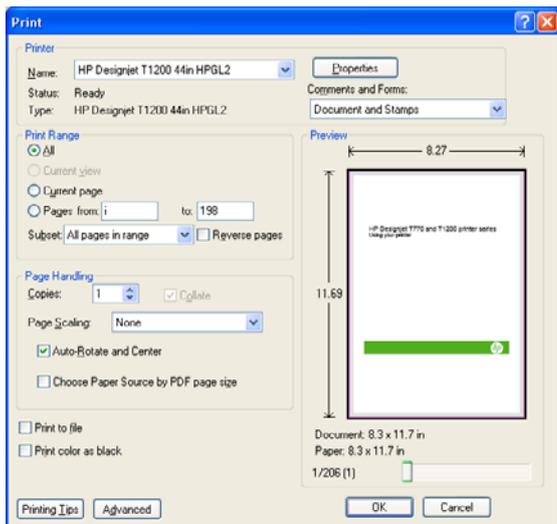
4. 使用する [文書サイズ] および [印刷品質] を選択します。新しいカスタム用紙サイズを定義する場合は、[ユーザー定義] ボタンをクリックします。



5. [機能] タブを選択し、[自動回転] を選択します。



6. [OK] をクリックし、[印刷] ダイアログ ボックスの印刷プレビューが正しいことを確認します。



## プロジェクトの印刷

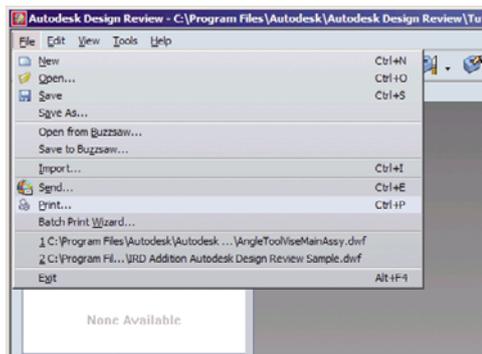
このセクションでは、Autodesk Design Review、AutoCAD およびプリンタの内蔵 Web サーバからプロジェクトを印刷する方法を示します。

### Autodesk Design Review を使用する

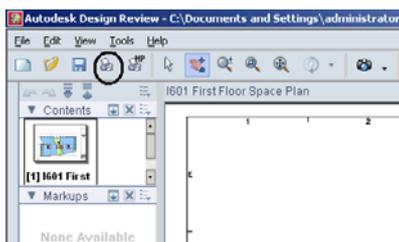
Autodesk Design Review では、**[HP Instant Printing (TM) を使用]** オプションが利用可能です。このオプションは 1 度有効化すると、無効化するまで印刷オプションのデフォルトとして設定されます。

### Autodesk Design Review で HP Instant Printing を有効化する

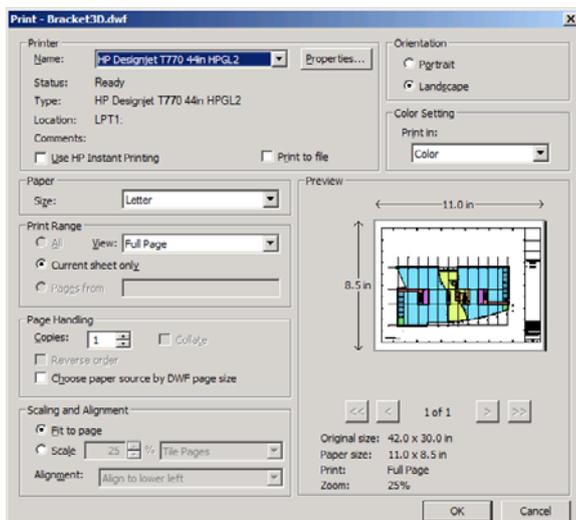
1. Autodesk Design Review を起動して、**[ファイル] - [印刷]** を選択します。



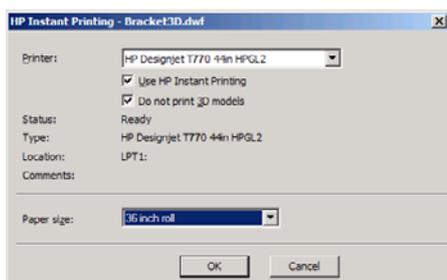
また、ツールバーの印刷アイコンをクリックしてダイアログ ボックスを開くこともできます。



2. **[印刷]** ダイアログボックスで、**[HP Instant Printing (TM) を使用]** ボックスをオンにします。ここでプリンタと用紙サイズを選択することもできますが、次の画面でも選択することができます。

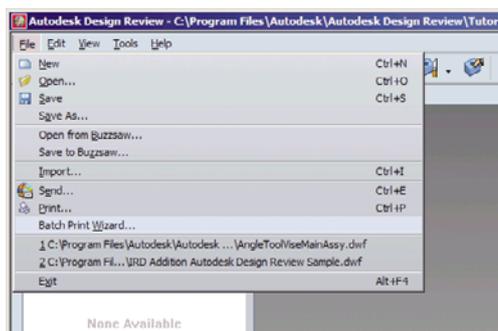


3. 正しいプリンタと用紙サイズが設定されているを確認してから、**[OK]** をクリックして印刷を開始します。

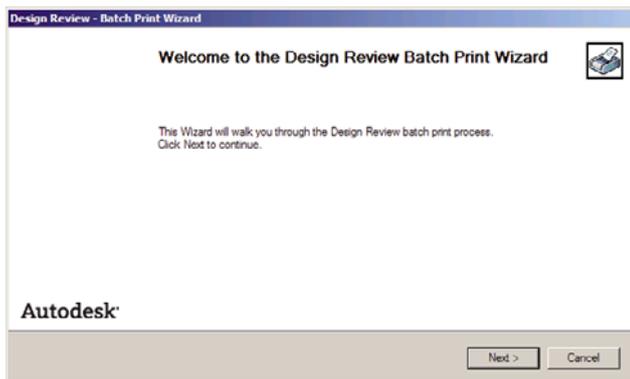


## バッチ印刷ウィザードで HP Instant Printing を有効化する

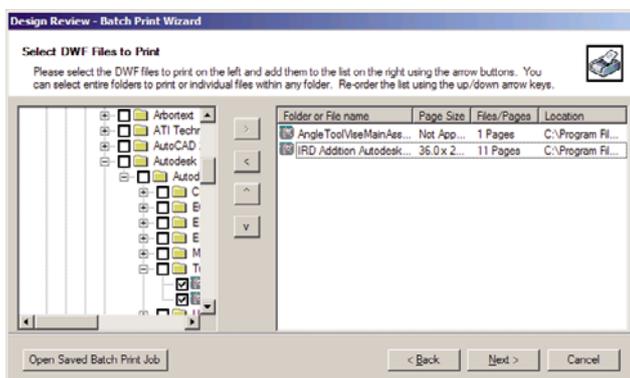
1. バッチ印刷ウィザードが事前にインストールされていることを必ず確認してください。Autodesk Design Review を起動して、**[ファイル] - [バッチ印刷ウィザード]** を選択します。



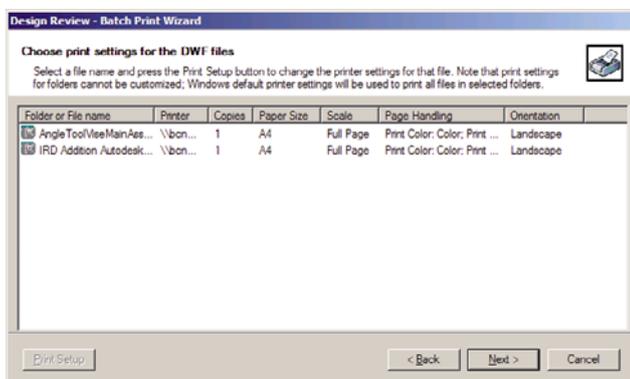
2. [よろこ] ダイアログ ボックスで、[次へ] をクリックします。



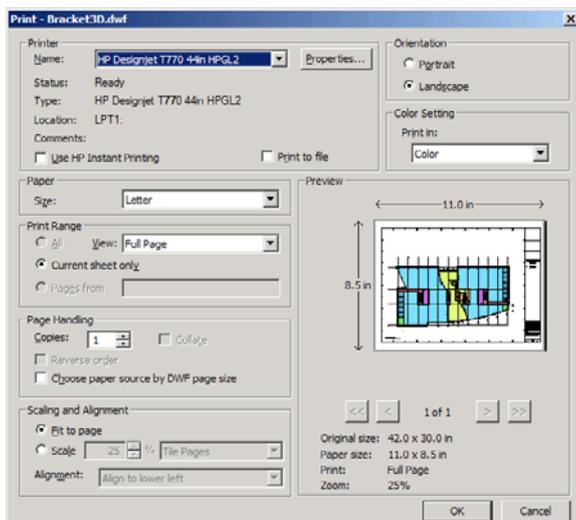
3. 印刷する DWF ファイルを選択して、[次へ] をクリックします。



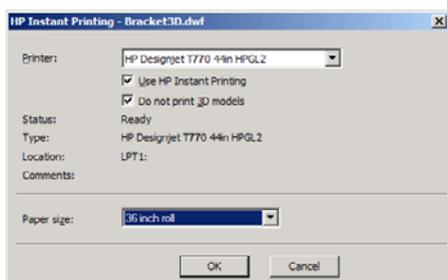
4. 設定するファイルが複数ある場合は、[Shift] キーを使用して選択します。次に、[印刷設定] をクリックすると選択したファイルすべてに設定が適用されます。



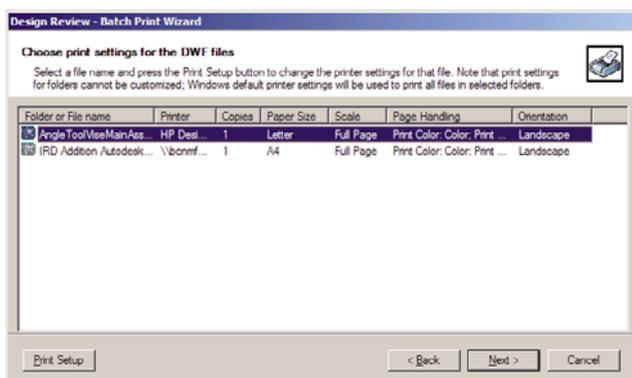
5. **[印刷]** ダイアログ ボックスで、**[HP Instant Printing (TM) を使用]** ボックスをオンにします。ここでプリンタと用紙サイズを選択することもできますが、次の画面でも選択することができます。



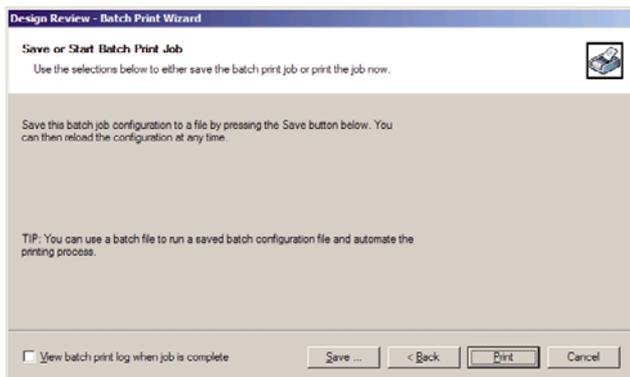
6. プリンタと用紙サイズが正しいことを確認してから、**[OK]** をクリックします。用紙サイズは自動的に事前に設定されています。



7. **[印刷設定を選択]** ダイアログ ボックスに戻り、**[次へ]** をクリックします。

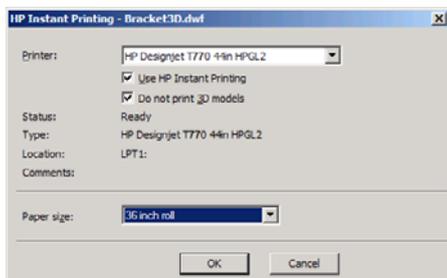


## 8. バッチ印刷ジョブを保存するか開始します。

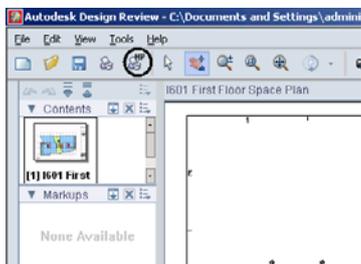


## HP Instant Printing の使用

- 必ず **[HP Instant Printing (TM) を使用]** が選択されていることを確認してください。印刷するには、ツールバーの **[印刷]** アイコンをクリックするか、**[ファイル] - [印刷]** を選択します。必要な設定を行い、**[OK]** をクリックします。

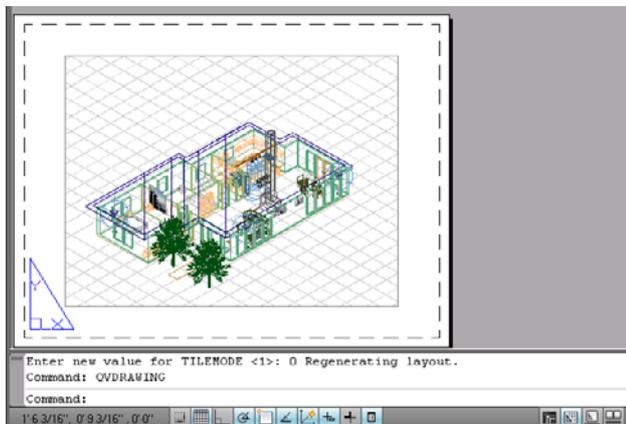


- また、HP Instant Printing のツールバー アイコンから起動することもできます。この場合、前回定義した設定ですぐに **[HP Instant Printing (TM) を使用]** が開始されます。

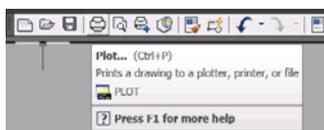


## AutoCAD を使用する

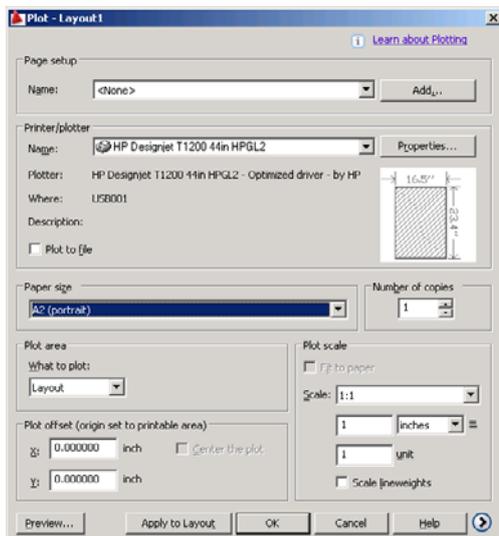
1. AutoCAD ウィンドウには、モデルやレイアウトを表示できます。通常は、モデルではなくレイアウトが印刷されます。



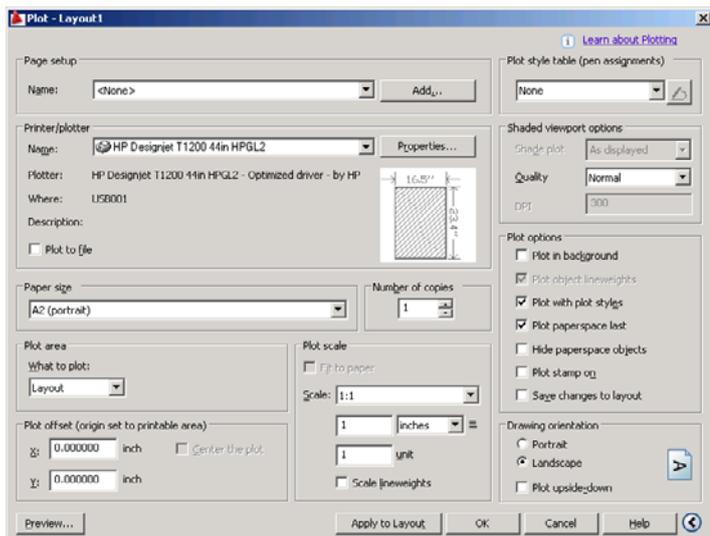
2. ウィンドウの上部の [プロット] アイコンをクリックします。



3. [プロット] ウィンドウが開きます。

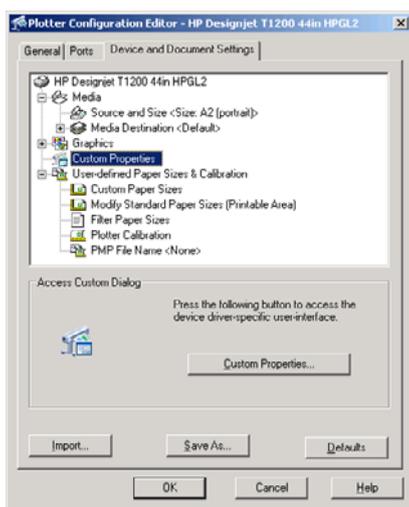


4. ウィンドウの右下隅の丸いボタンをクリックすることで、追加のオプションを表示できます。

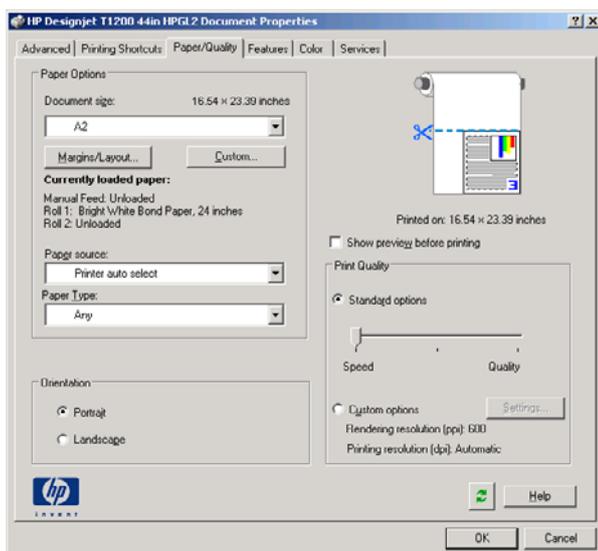


**注記：** ここでの [品質] オプションは、最終的な印刷品質ではなく、印刷用に送信される AutoCAD ビューポート オブジェクトの品質のことを指します。

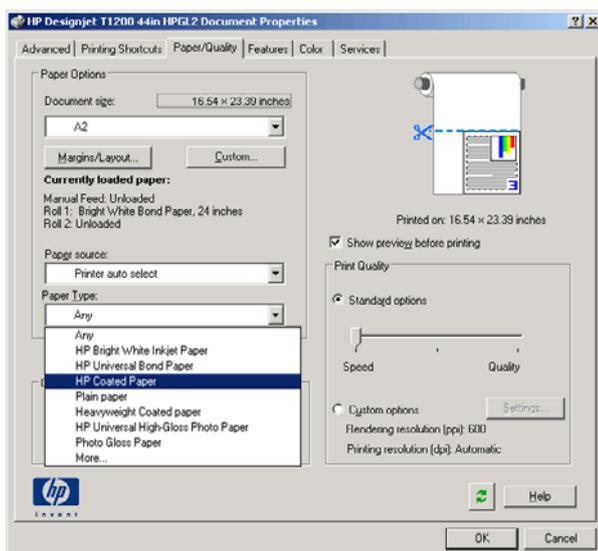
5. [プロパティ] ボタンをクリックします。



6. [デバイスとドキュメントの設定] タブを選択し、[カスタム プロパティ] ボタンをクリックします。



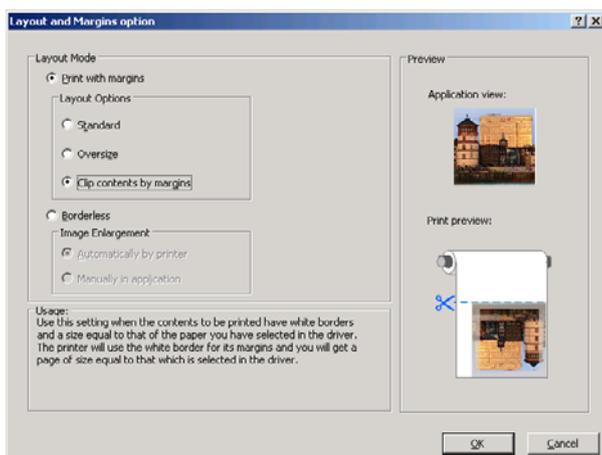
7. [用紙/品質] タブで、[印刷プレビューの表示] チェック ボックスをオンにし、使用する用紙の種類を選択します。



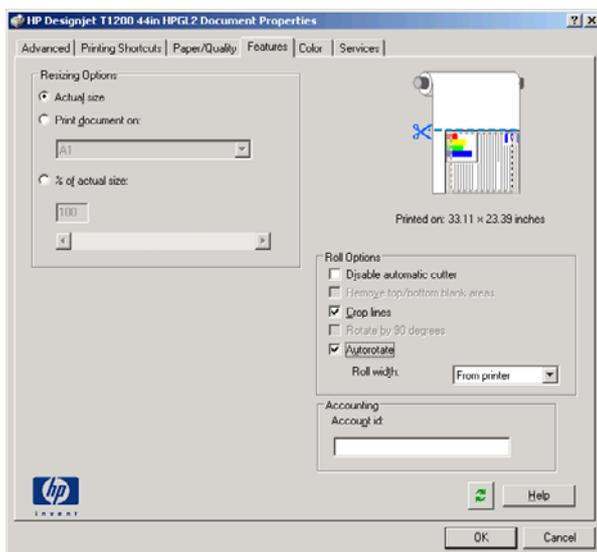
**注記：** 給紙方法と用紙の種類のどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません (63 ページの「ロール紙保護 (T1200 シリーズのみ)」を参照)。

8. 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。

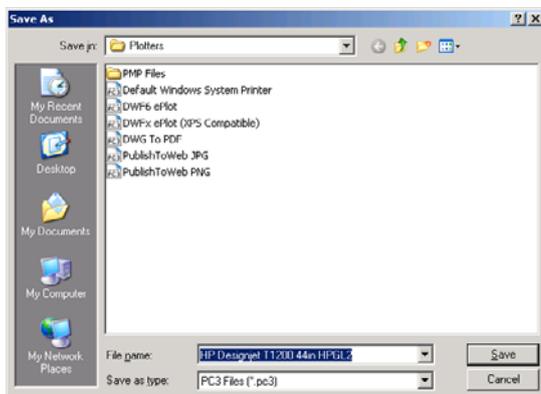
9. ロール紙に印刷する場合は、プリンタが用紙をカットする場所を決定してください。[マージンレイアウト] ボタンを押し、[内容をマージンでクリップ] を選択します。



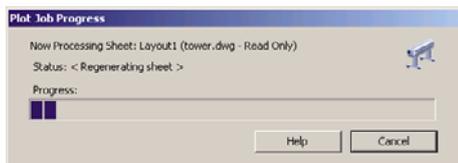
10. [機能] タブを選択し、[自動回転] オプションを選択します。T1200 シリーズ プリンタを使用している場合、[切り取り線] オプションも選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ち、切り取り線は印刷後に用紙をカットする場所を示します。



11. [OK] ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。

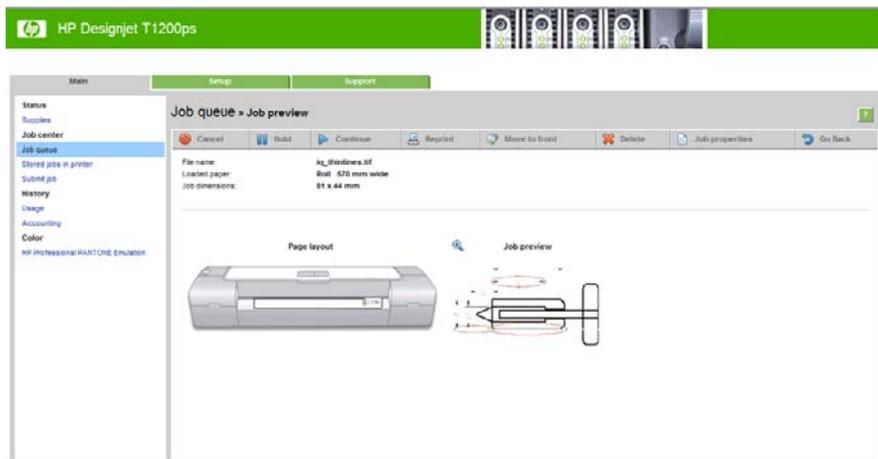


12. [プロット] ウィンドウで [OK] ボタンをクリックすると、プリンタによって印刷プレビュー画面が作成されます (T1200 シリーズのみ)。



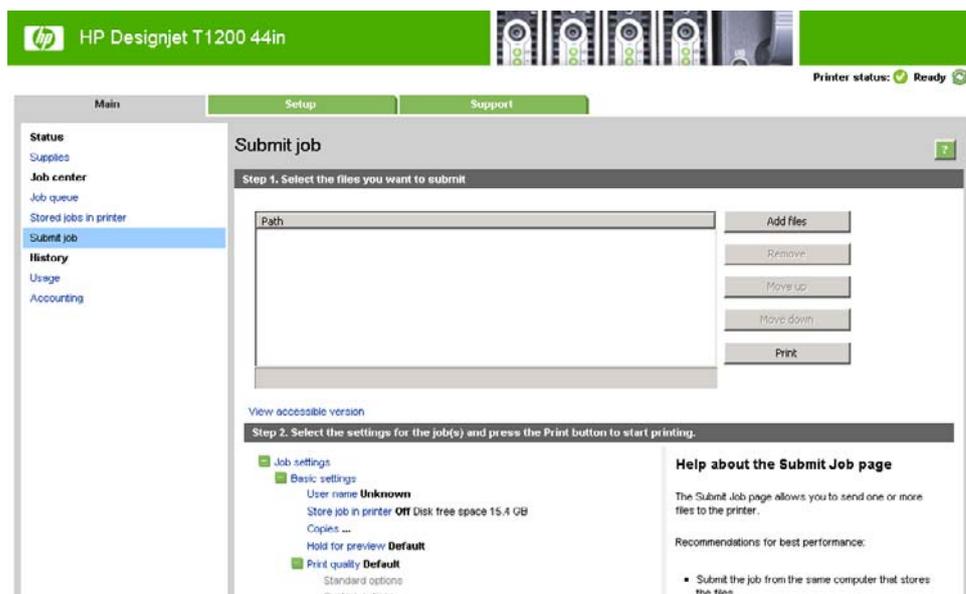
Preview in progress

Status: Waiting to receive the job...



## 内蔵 Web サーバを使用したファイルの送信 (T1200 シリーズのみ)

HP Utility または内蔵 Web サーバで、[ジョブセンター] - [ジョブの送信] を選択します。一部の Web ブラウザでは、次のようなウィンドウが表示されます。他の Web ブラウザでは、ファイルの追加方法が少し異なります。



[ファイルの追加] ボタン (または [ファイルの選択]、[ファイルを追加]) を押し、コンピュータから印刷するファイルを選択します。ファイルは、次のいずれかの形式である必要があります。

- PDF (T1200 PS のみ)
- PostScript (T1200 PS のみ)
- TIFF (T1200 PS のみ)
- JPEG (T1200 PS のみ)
- HP-GL/2
- RTL

 **注記:** ファイルに出力するとき、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、その名前には .plt、.prn などの拡張子が付く場合があります。

ファイルが上記の形式に該当しない場合は、正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (用紙サイズ、向き、サイズ変更、印刷部数など) で生成された場合、[印刷] ボタンを押すだけでプロジェクトがプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する場合は、[ジョブの設定] セクションで必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明が表示されるため、各設定の動作を知ることができます。設定を [デフォルト] のままにすると、ジョブに保存されている設定が使用されることに注意してください。何も設定されていないジョブでは、プリンタの設定が使用されます。

## プリンタ エミュレーションを使用する

プリンタ エミュレーションは [詳細設定] - [カラー] - [カラーマネージメント] - [プリンタのエミュレーション] を選択して呼び出すことができます。

[いいえ] (プリンタ エミュレーションを行わない) に設定したり、エミュレートするプリンタ モデル名を指定したりすることができます。

この設定では、ジョブに保存されるプリンタ エミュレーション設定を含まないジョブに適用されません。

## 内容をマージンでクリップする

このマージン オプションは、[詳細設定] - [用紙] - [レイアウト/マージン] - [マージンを含めて印刷] - [レイアウト] - [内容をマージンでクリップ] で選択できます。

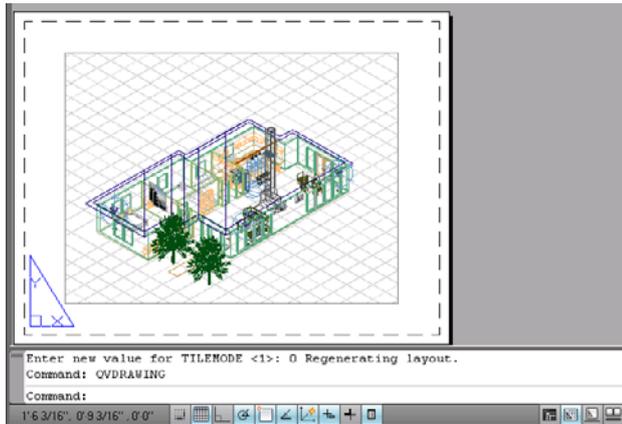
印刷する内容に白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。

## プレゼンテーションの印刷

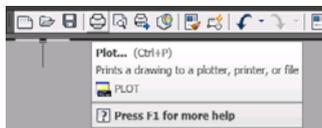
このセクションでは、AutoCAD および Photoshop からプレゼンテーションを印刷する方法を示します。

## AutoCAD を使用する

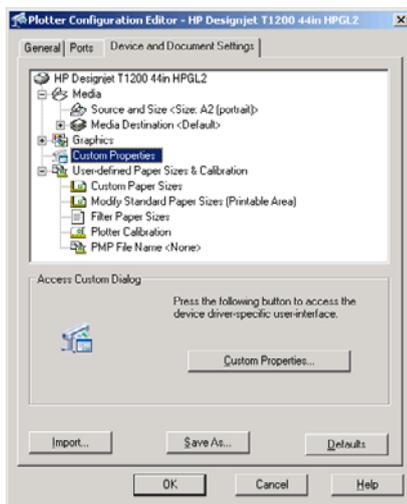
1. AutoCAD ファイルを開いて、レイアウトを選択します。



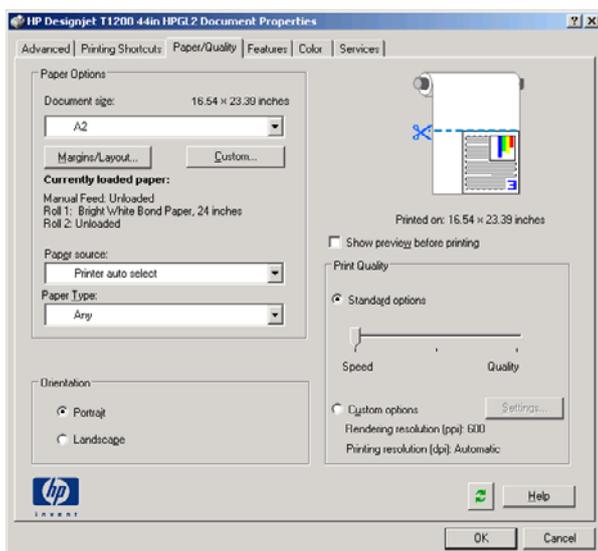
2. ウィンドウの上部の [プロット] アイコンをクリックします。



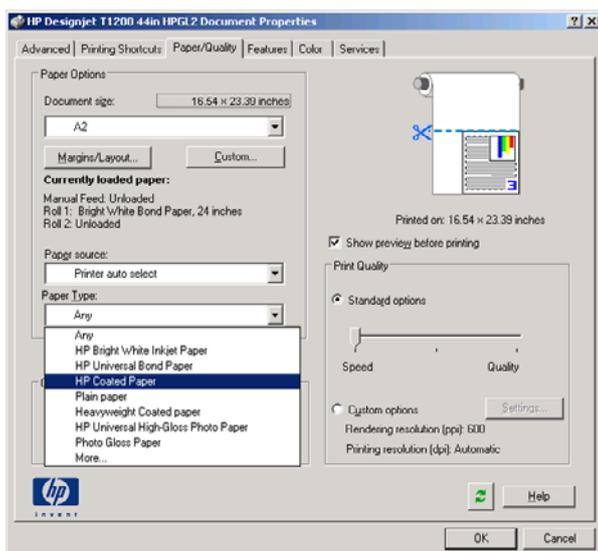
3. 正しいプリンタが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



4. [デバイスとドキュメントの設定] タブを選択し、[カスタム プロパティ] ボタンをクリックします。



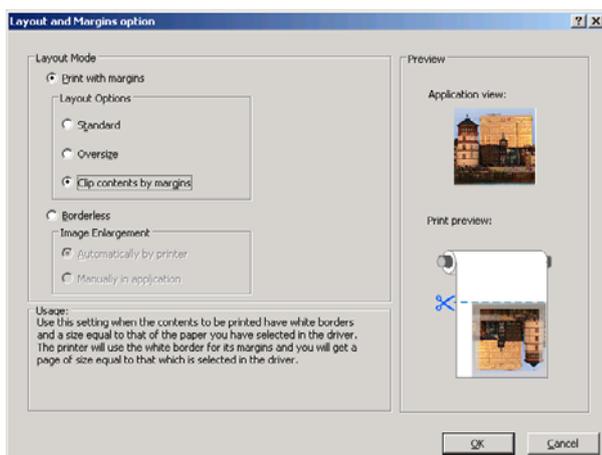
5. [用紙/品質] タブで、[印刷プレビューの表示] チェック ボックスをオンにし、使用する用紙の種類を選択します。



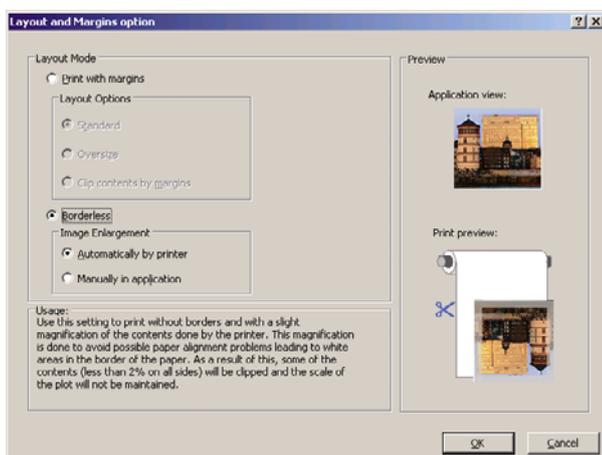
 **注記：** 給紙方法と用紙の種類のどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません (63 ページの「ロール紙保護 (T1200 シリーズのみ)」を参照)。

6. 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。

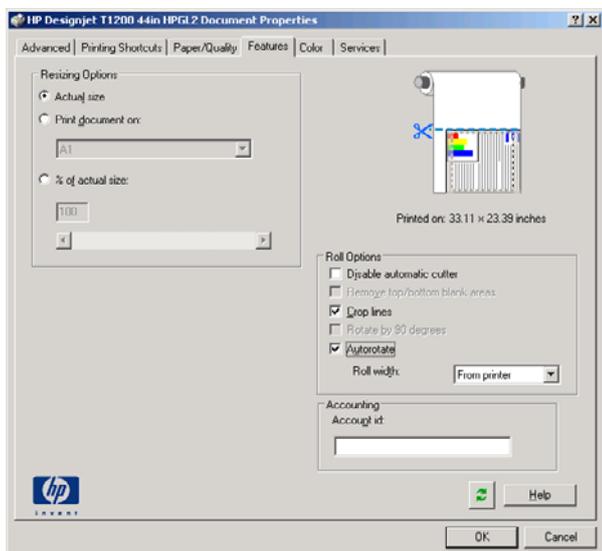
7. ロール紙に印刷する場合は、プリンタが用紙をカットする場所を決定してください。[マージンレイアウト] ボタンを押し、[内容をマージンでクリップ] を選択します。



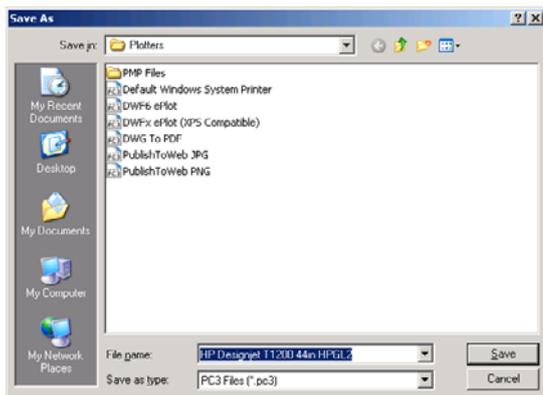
8. フォト用紙または光沢紙を使用する場合は、[フチ無し] 印刷を選択できます (T1200 シリーズのみ)。



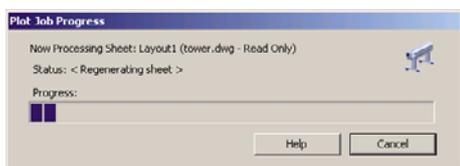
9. [機能] タブを選択し、[自動回転] オプションを選択します。T1200 シリーズ プリンタを使用している場合、[切り取り線] オプションも選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ち、切り取り線は印刷後に用紙をカットする場所を示します。



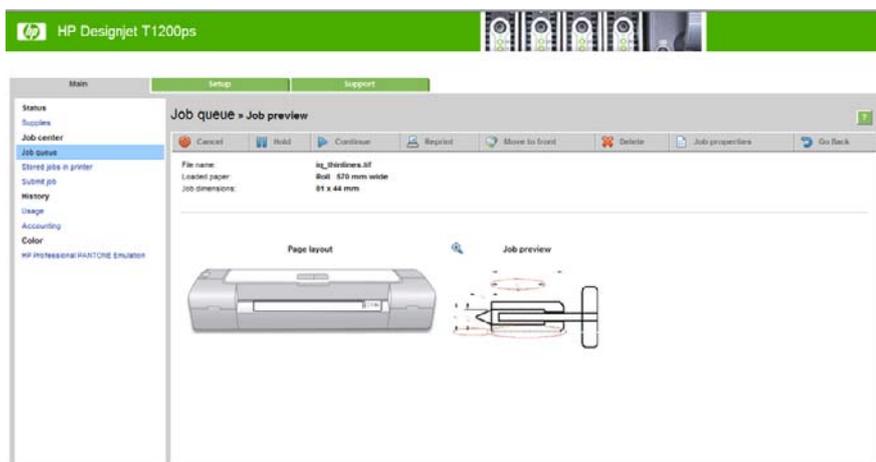
10. [OK] ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。



11. [プロット] ウィンドウで [OK] ボタンをクリックすると、プリンタによって印刷プレビュー画面が作成されます (T1200 シリーズのみ)。

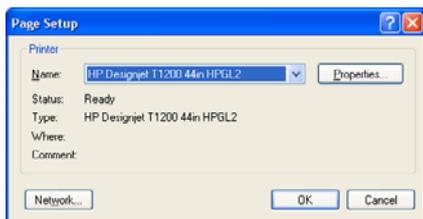


Preview in progress



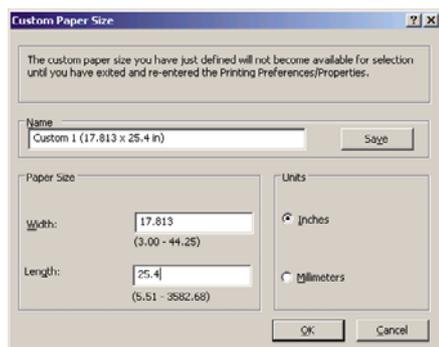
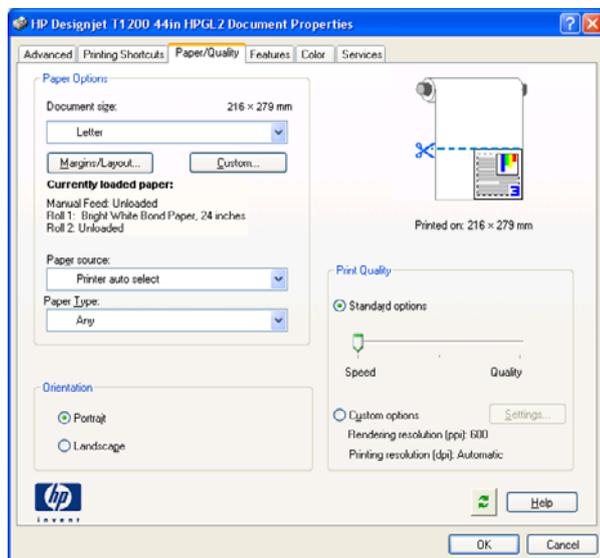
## Adobe Photoshop を使用する

1. [ファイル] - [用紙設定] - [プリンタの設定] を選択し、プリンタを選択して、[OK] をクリックします。



2. 使用できる用紙サイズから選択します。

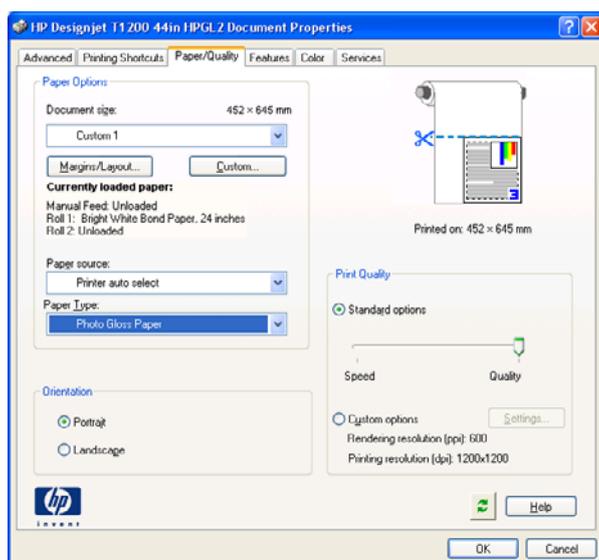
使用する用紙サイズが見つからない場合は、[プリント]-[プロパティ]-[用紙/品質]-[ユーザー定義]-[用紙サイズ]を選択します。カスタム用紙サイズの幅、長さ、および名前を入力します。[保存] ボタンおよび [OK] ボタンをクリックします。



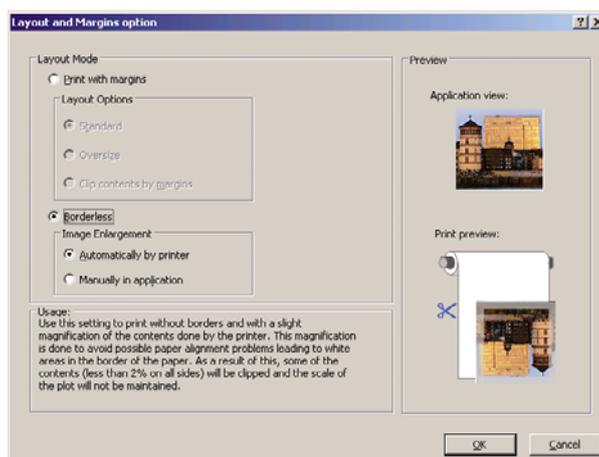
3. [ファイル]-[プリントプレビュー]を選択します。



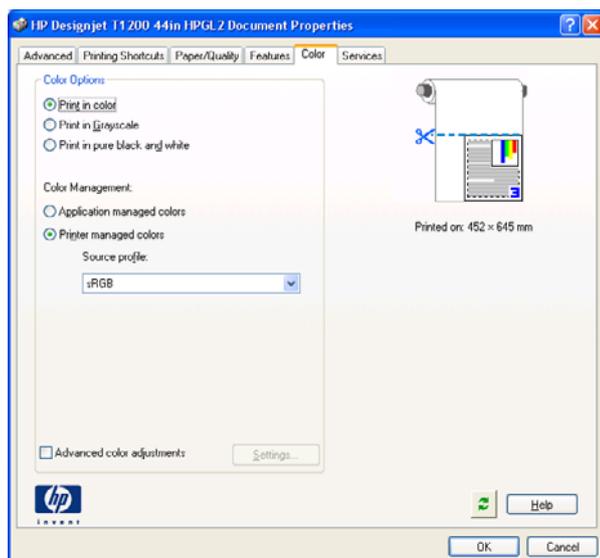
4. [プリント] - [プロパティ] を選択します。[印刷設定] ウィンドウで、[給紙方法]、[用紙の種類]、および [印刷品質] を設定します。



5. [マージン/レイアウト] ボタンをクリックします。この例では、すでにフォト用紙を選択しているため、[フチ無し] を選択できます (このオプションは、フォト用紙と光沢紙でのみ有効になります)。デフォルトのイメージの拡大方法は [プリンタで自動] です。[アプリケーションで手動] オプションは、拡大率を細かく制御する場合に使用できます。



6. Photoshop で [プリンタによるカラー処理] を選択しているため、[カラー] タブのカラー マネジメント オプションは、デフォルトの [プリンタで管理] が正しいオプションとなります。

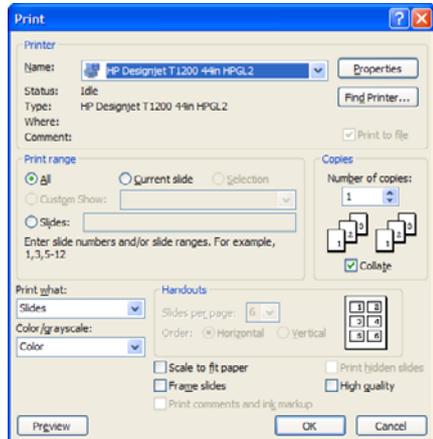


## Microsoft Office からの印刷および拡大縮小

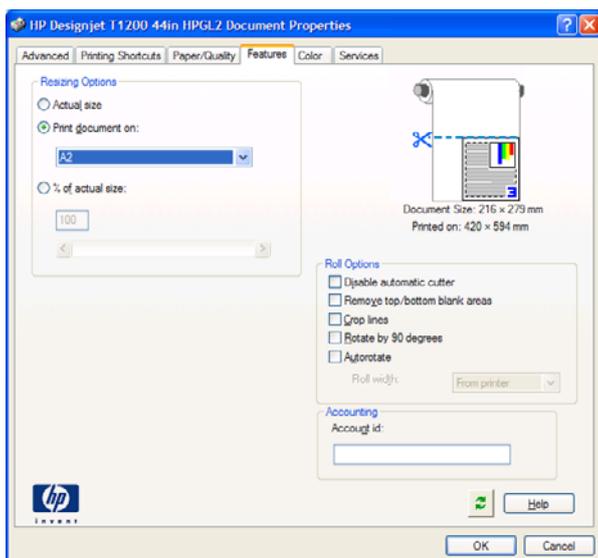
このセクションでは、Microsoft Office から印刷および拡大縮小する方法を示します。

### PowerPoint を使用する

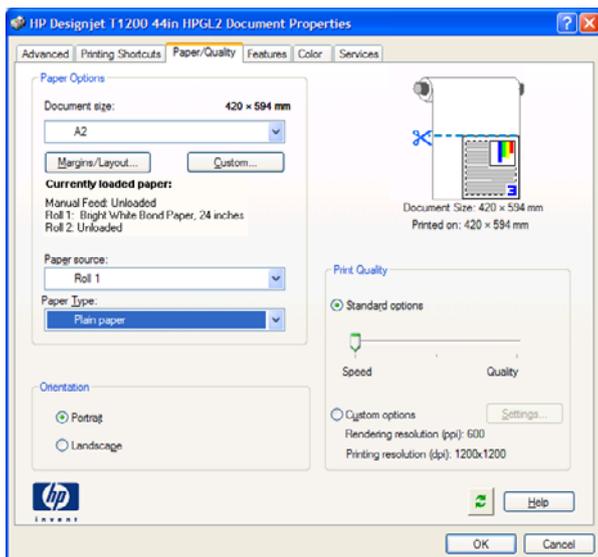
1. Office ボタンをクリックして [印刷] を選択し、プリンタを選択します。



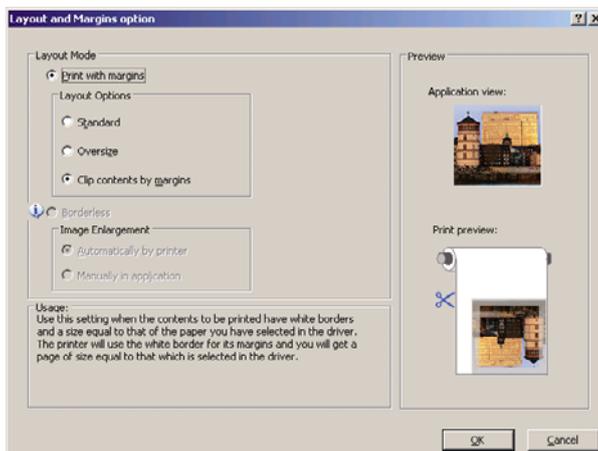
2. [プロパティ]-[機能]-[文書を印刷する用紙] を選択して、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。



3. [用紙/品質] タブを選択し、[給紙方法] および [用紙の種類] を選択します。

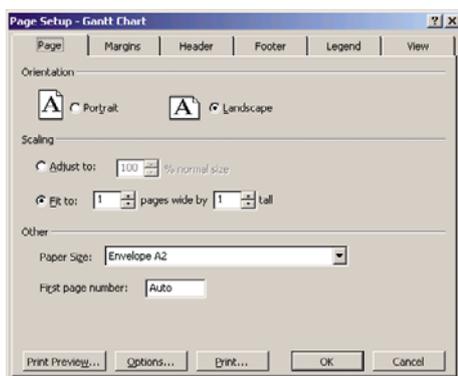


4. [マージン/レイアウト] ボタンをクリックし、[内容をマージンでクリップ] を選択して、サイズを維持します。

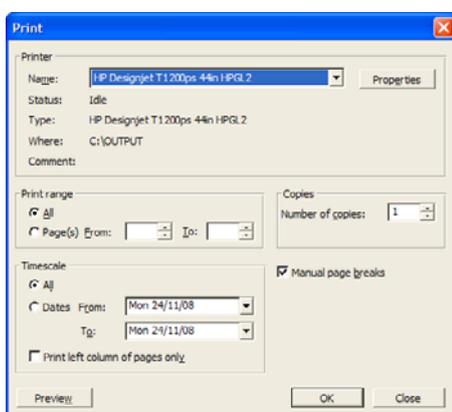


## Project を使用する

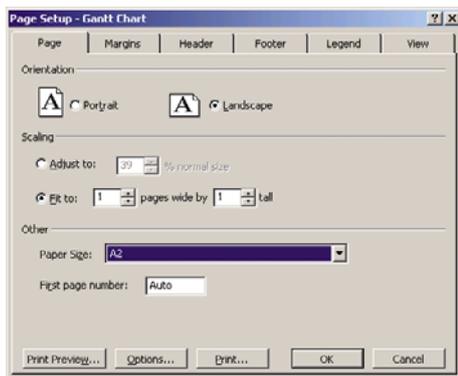
1. [ファイル] - [ページ設定] - [印刷] を選択します。



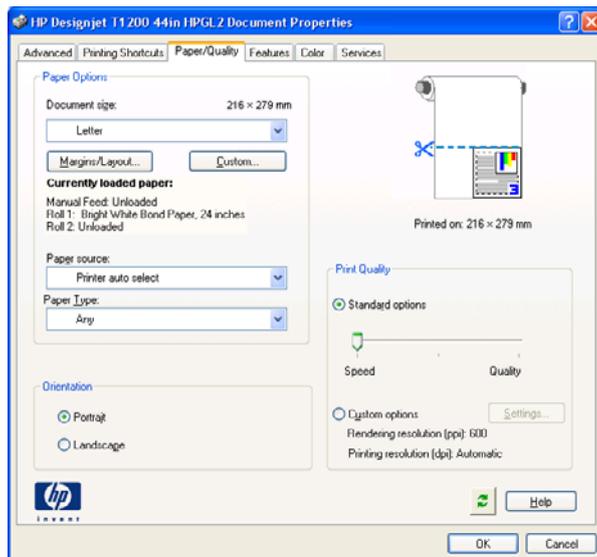
2. お使いのプリンタの名前を選択し、[閉じる] を選択します。



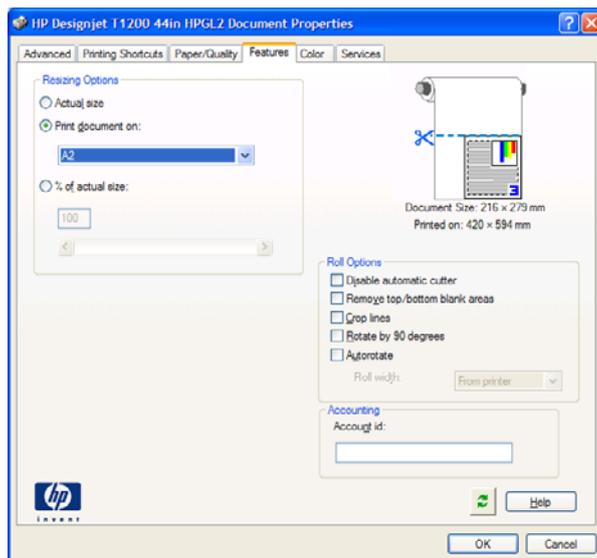
3. [ページ設定] を選択し、使用する [用紙サイズ] を選択します。



4. [オプション] を選択して、プリンタ ドライバに移動します。[用紙/品質] タブのデフォルトのオプション ([給紙方法]:[プリンタ自動選択]、[用紙の種類]:[任意]) が適しています。

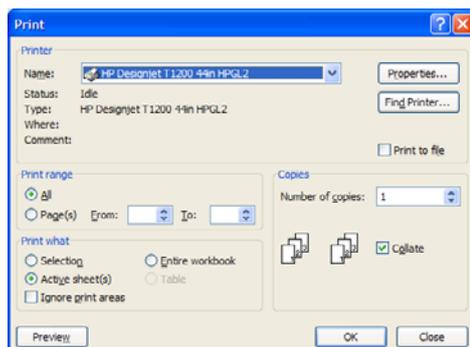


5. [機能] - [文書を印刷する用紙] を選択して、文書を特定のサイズに拡大縮小します。代わりに、Project で文書を拡大縮小することもできます。

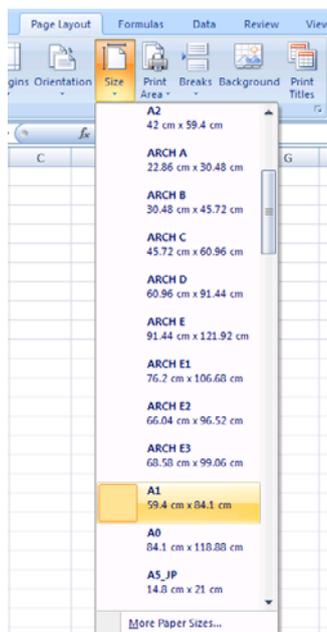


## Excel を使用する

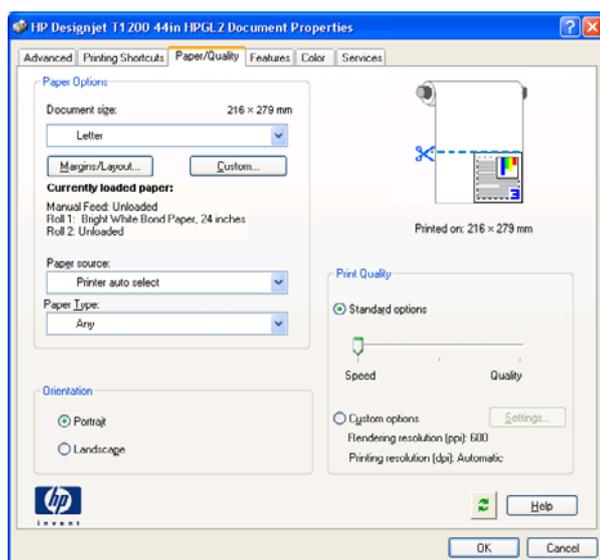
1. Office ボタンをクリックし、[印刷] を選択します。お使いのプリンタの名前を選択し、[閉じる] を選択します。



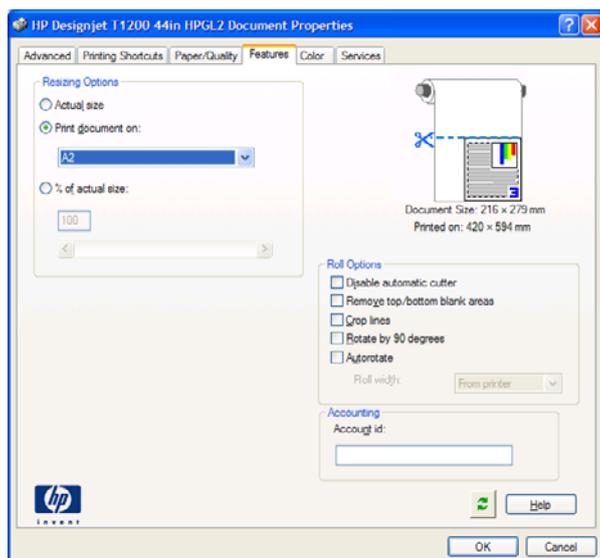
2. [ページレイアウト] タブを選択して [サイズ] を選択し、必要な用紙サイズを選択します。



3. Office ボタンをクリックし、[印刷] - [プロパティ] を選択してプリンタ ドライバに移動します。  
[用紙/品質] タブを選択し、[給紙方法]、[用紙の種類]、および [印刷品質] を選択します。



4. **[機能] - [文書を印刷する用紙]** を選択して、文書を特定のサイズに拡大縮小します。代わりに、Excel で文書を拡大縮小することもできます。



---

## 10 ジョブキューの管理

- [はじめに](#)
- [ジョブキューページ \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [ジョブのプレビュー \(T1200 シリーズのみ\)](#)
- [ジョブキューをオフにする \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)](#)
- [キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)](#)
- [キュー内のジョブを識別する \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)](#)
- [キュー内の特定ジョブを優先させる \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)](#)
- [キューからジョブを削除する \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)](#)
- [キュー内のジョブを再印刷またはコピーする \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)](#)
- [ジョブのステータスメッセージ \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)](#)

## はじめに

この章で説明するジョブ キューの管理オプションは、次のプリンタで使用できます。

- T1200 シリーズ: この章のすべてのオプション
- T770 HD: フロントパネル オプションのみ
- T770 and T770 PS: ジョブ キューの管理は対象外

## ジョブ キュー ページ (T1200 シリーズのみ)

プリンタのジョブ キューは、HP Utility (27 ページの「[HP Utility にアクセスする](#)」を参照)、またはプリンタの内蔵 Web サーバ (27 ページの「[内蔵 Web サーバにアクセスする](#)」を参照) から管理できます。

デフォルトでは、すべてのユーザがジョブ キューにアクセスできます。管理者がパスワードを設定することによって、ユーザが次の操作を行う際にパスワードを必要とすることができます。

- ジョブのプレビューの表示
- ジョブのキャンセルまたは削除

ジョブ キューのページには、プリンタのジョブ キューにあるすべてのジョブが表示されます。ここでは、受信中、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

ジョブごとに以下の情報が表示されます。

- **[プレビュー]**: ジョブのプレビューを表示するには、このアイコンをクリックします。ジョブのプレビューは、ジョブが処理されると表示可能になります。
- **[ファイル名]**: ジョブのプロパティを表示するには、ファイル名をクリックします。
- **[ステータス]**: 現在のジョブのステータスを表示します。
- **[ページ数]**: ジョブのページ数。
- **[部数]**: 印刷する部数。
- **[日付]**: プリンタがジョブを受信した日付と時刻。
- **[ユーザ]**: ユーザの名前。

キュー内のジョブは、任意の情報項目 (プレビューを除く) に対応する列のタイトルをクリックすることによって並べ替えることができます。次の操作は、キュー内のジョブのうちの 1 つでも全部でも実行できます。

- **[キャンセル]**: 選択したジョブをキャンセルします。ジョブをキャンセルする前に確認メッセージが表示されます。ジョブはプリンタに保存されたままですが、**[再印刷]** をクリックしない限り印刷は行われません。
- **[一時停止]**: **[続行]** をクリックして印刷を続行するまで、選択したジョブを保留します。
- **[続行]**: 選択した保留中のジョブすべての印刷を続行します。
- **[再印刷]**: ジョブをさらに特定の部数、印刷します。部数 (デフォルトは 1 で最大は 99) を入力し、**[印刷]** をクリックします。
- **[キューの先頭に移動する]**: 選択したすべてのジョブをジョブ キューの先頭へ送ります。

- **[削除]:** 選択したジョブをジョブ キューから削除します。ジョブを削除する前に確認メッセージが表示されます。
- **[更新]:** ページを更新して、情報を最新の状態にします。

 **注記:** ジョブ キューのページは、自動的に更新されません。

## ジョブのプレビュー (T1200 シリーズのみ)

プリンタでは送信されてくるすべてのジョブをサンプリングし、ジョブのプレビューとして表示可能な JPEG ファイルを生成します。このプレビューは、プリンタが対応するすべての言語 (T1200 PS は PDF、PostScript、HPGL/2、RTL、TIFF、および JPEG に対応) で使用可能です。

 **注記:** プレビューするページが 64 ページを超えるジョブを送信しないでください。ドライバソフトウェアがクラッシュする可能性があります。

ジョブのプレビューは、ジョブが処理されると表示可能になります。プレビュー ページにアクセスするには、虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはジョブ キュー ページの [プレビュー] 列に表示されます。プレビュー ページには、次のようなジョブの詳細と、ジョブのプレビューがサムネールで表示されます。

- **[ファイル名]:** ジョブのファイル名。
- **[取り付けられている用紙]:** プリンタに取り付けられている用紙の種類。
- **[ジョブの寸法]:** ジョブの寸法。

より大きなジョブのプレビューを見るには、ジョブのサムネールまたは虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはプリンタのイメージの右側に表示されます。

 **注記:** Macromedia プラグインが入っていないブラウザでは、ジョブのイメージが黄みがかって表示されます。Macromedia Flash プラグインのバージョン 7 以上が入っているブラウザでは、プリンタに取り付けられている用紙にジョブのイメージが印刷された状態の高機能プレビューが表示されます。

## ジョブ キューをオフにする (T770 HD および T1200 シリーズのみ)

ジョブ キューは、以下の方法でオフにすることができます。

- 内蔵 Web サーバを使用する場合 (T1200 シリーズのみ): **[セットアップ]** タブを選択し、**[プリンタ設定] - [ジョブ管理] - [キュー]** を選択して **[オフ]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: **[セットアップ]** アイコン  を選択し、次に **[ジョブ管理オプション] - [キューの有効化] - [オフ]** を選択します。

## キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する (T770 HD および T1200 シリーズのみ)

 **注記:** **[印刷の開始]** オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるジョブをどの段階で印刷するかを選択することが可能です。

- 内蔵 Web サーバを使用する場合 (T1200 シリーズのみ): **[セットアップ]** タブを選択し、**[プリンタ設定] - [印刷の開始]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: **[ジョブ管理メニュー]** アイコン  を選択し、**[ジョブキュー]** を選択します。

選択可能なオプションは次の3つです。

- **[処理後]** を選択すると、ページ全体が処理されるまで待ってから印刷を開始します。最も時間のかかる設定ですが、大きな印刷や複雑な印刷において最高の印刷品質が保証されます。
- **[すぐに]** を選択すると、ページを処理しながら印刷します。最も高速な設定ですが、印刷の途中にデータの処理を行うためプリンタが停止する場合があります。濃い色で複雑なイメージを印刷する場合には、この設定はおすすめしません。
- **[最適化]** を選択すると (デフォルト設定)、ページの印刷を開始する最適なタイミングをプリンタが計算します。これは通常、**[処理後]** と **[すぐに]** の設定の間になる最も適した設定です。

## キュー内のジョブを識別する (T770 HD および T1200 シリーズのみ)

キューを見る最善の方法は、内蔵 Web サーバ (**[メイン]** タブ - **[ジョブキュー]**) から見る方法です。ここでは、キューを管理したり、(ファイルの名前をクリックすることで) すべてのジョブに関する完全な情報を見ることが可能です。ただし、この方法は T1200 シリーズでのみ使用できます。

また、キューはフロントパネルから管理することもできます。これを行うには、**[ジョブ管理メニュー]** アイコン  を選択し、**[ジョブキュー]** を選択します。これにより、キュー内のジョブのリストが表示されます。

それぞれのジョブには、次のような構成の識別子が付いています。

<キュー内での位置>: <イメージ名>

現在、印刷中のジョブにはチェックマーク、キャンセルされたジョブにはバツ、処理中のジョブには時計、保留中のジョブには警告が表示されます。

## キュー内の特定ジョブを優先させる (T770 HD および T1200 シリーズのみ)

キュー内の任意のジョブを選択して、次に印刷するジョブにすることができます。

- 内蔵 Web サーバを使用する場合 (T1200 シリーズのみ): ジョブを選択したら、**[再印刷]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: ジョブを選択したら、**[キューの先頭に移動する]** を選択します。

ネスティングがオンになっている場合、優先されるジョブも他のジョブとネストされることがあります。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、そのジョブ自体がキューの途中にある場合は、まずネスティングをオフにして、前述の方法でキューの先頭にジョブを移動します。

## キューからジョブを削除する (T770 HD および T1200 シリーズのみ)

通常的环境下では、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューの末尾からジョブが消えていくためです。ただし、ファイルを間違えて送信し、それを印刷しないという場合は、そのファイルを削除することができます。

- 内蔵 Web サーバを使用する場合 (T1200 シリーズのみ): ジョブを選択して **[削除]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: ジョブを選択して **[削除]** を選択します。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

ジョブが現在印刷中 (Web サーバでのステータスが「印刷しています」) の場合は、ジョブをキャンセルして削除できます。

- 内蔵 Web サーバを使用する場合 (T1200 シリーズのみ): ジョブを選択したら、**[キャンセル]** を選択して **[削除]** を選択します。
- フロントパネルを使用する場合: ジョブを選択したら、**キャンセル** キーを押して **[削除]** を選択します。

## キュー内のジョブを再印刷またはコピーする (T770 HD および T1200 シリーズのみ)

キュー内のジョブを再印刷したり部数を追加したりする場合は、内蔵 Web サーバ (T1200 シリーズのみ) でそのジョブを選択して **[再印刷]** アイコンをクリックし、必要な部数を指定します。ジョブはキューの先頭に移動されます。フロントパネルからキュー内でまだ印刷されていないジョブの印刷物を複数部作成するには、ジョブを選択し、**[部数]** を選択して、必要な部数を指定し、**選択** キーを押します。この値は、ソフトウェアで設定された値よりも優先されます。

 **注記:** ファイル送信時に **[回転]** が **[オン]** になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。

すでに印刷したジョブをフロントパネルから再印刷できます。**[ジョブ管理メニュー]** アイコン  を選択し、キューからジョブを選択して、**[再印刷]** を選択します。

 **注記:** この方法は、PCL3 ジョブでは使用できません。以前のジョブが PCL3 である場合、使用するオペレーティングシステムのプリンタ スプーラで再印刷できます。ただし、以前のジョブを保存するようスプーラを設定しておく必要があります。この機能は、使用するオペレーティングシステムによって異なります。

## ジョブのステータス メッセージ (T770 HD および T1200 シリーズのみ)

以下は、表示されるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- **データを受信しています:** プリンタがコンピュータからジョブを受信しています。
- **処理を待っています:** ジョブがプリンタで受信され、レンダリングを待っています (内蔵 Web サーバ経由で送信されたジョブのみ)。
- **データを処理しています:** プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています。
- **印刷の準備を行っています:** プリンタがジョブの印刷前に出力システムの確認を実行中です。
- **印刷待ち:** 印刷エンジンが印刷に移行できるようになるのを待っています。

- **ネスティング待ち:** プリンタでネスティングがオンに設定されているため、ネスティングを完了して印刷に移行するために他のジョブを待っています。
- **一時停止しています:** ジョブは [プレビューを表示する] オプションを使用して送信され、一時停止中です。

 **注記:** プレビューするページが 64 ページを超えるジョブを送信しないでください。ドライバソフトウェアがクラッシュする可能性があります。

**注記:** ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに「一時停止しています」と表示されます。ジョブを再開すると、中断したページから印刷が開始されます。

- **一時停止しています:** プリンタに適切な用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け (31 ページの「用紙の取り扱い」を参照)、[続行] をクリックしてジョブを再開します。
- **アカウント情報をお待ちしています:** プリンタがすべてのジョブにアカウント ID を要求しているため、ジョブを印刷できません。ジョブを再開するには、アカウント ID を入力して [続行] をクリックします。

 **ヒント:** アカウント ID を設定するには、24 ページの「アカウント ID の要求 (T1200 シリーズのみ)」を参照してください。

- 印刷
- 乾燥中
- 用紙カット中
- 用紙を排出しています
- キャンセルしています: ジョブはキャンセルされましたが、プリンタのジョブ キューには残ります。
- 削除しています: プリンタからジョブを削除しています。
- 印刷しました
- キャンセルしました: プリンタによってジョブがキャンセルされました。
- ユーザの指示によりキャンセルしました
- ジョブがありません: ジョブに印刷するものが含まれていません。

## 保留中のジョブを再度有効にする (T1200 シリーズのみ)

プリンタでジョブが保留されてアラートが出た場合は、179 ページの「プリンタ アラート」を見ると、ジョブが保留された理由がわかります。保留を解除して印刷を続行するには、画面の指示に従います。

## 11 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

- プリンタのアカウント情報
- プリンタの使用状況に関する情報を確認する
- ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する

## プリンタのアカウントティング情報

プリンタからアカウントティング情報を取得するには、いくつかの方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示する ([110 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を確認する」](#)を参照)。
- HP Utility またはフロントパネルを使用して、最近実行した各ジョブのインクと用紙の使用状況を表示する ([110 ページの「ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する」](#)を参照)。HP Utility が使用できないときは、[27 ページの「HP Utility にアクセスする」](#)を参照してください。
- サードパーティ製アプリケーションを使用して、インターネット経由でプリンタのステータス、プリンタの使用状況、またはプリンタのジョブ アカウントティング データを取得する。プリンタは、要求されるとアプリケーションに XML 形式でデータを提供します。HP では、そのようなアプリケーションの開発を促進するために Software Development Kit を提供しています。

## プリンタの使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには、2つの方法があります。

 **注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

### HP Utility でのプリンタ情報

1. HP Utility にアクセスします。[27 ページの「HP Utility にアクセスする」](#)を参照してください。
2. Windows では、**[概要]** タブに移動し、**[プリンタ使用状況]** リンクをクリックします。  
Mac OS では、**[情報]** - **[プリンタ使用状況]** を選択し、**[検索]** ボタンをクリックします。

### 内蔵 Web サーバでのプリンタ情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([27 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照)。
2. **[メイン]** タブに移動します。
3. **[履歴]** - **[使用状況]** を選択します。

## ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには、2つの方法があります。

 **注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

### HP Utility でのインクと用紙の情報

1. HP Utility にアクセスします。[27 ページの「HP Utility にアクセスする」](#)を参照してください。
2. 最新のジョブに関する情報を確認するには、**[ジョブセンター]** を選択してください。
3. Windows では、**[アカウントティング]** のリンクをクリックします。  
Mac OS では、**[ジョブ アカウントティング]** を選択し、**[検索]** ボタンをクリックします。

## 内蔵 Web サーバでインクと用紙の使用状況を確認する

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします (27 ページの「[内蔵 Web サーバにアクセスする](#)」を参照)。
2. [メイン] タブに移動します。
3. [履歴] - [アカウンティング] を選択します。

## 12 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い

- [インクカートリッジについて](#)
- [インクカートリッジのステータスを確認する](#)
- [インクカートリッジを取り外す](#)
- [インクカートリッジを取り付ける](#)
- [プリントヘッドについて](#)
- [プリントヘッドのステータスを確認する](#)
- [プリントヘッドを取り外す](#)
- [プリントヘッドを取り付ける](#)

## インクカートリッジについて

インクカートリッジにはインクが収められており、用紙にインクを噴射するプリントヘッドに接続されています。追加のカートリッジの購入については、[129 ページの「アクセサリ」](#)を参照してください。

- △ **注意：** インクカートリッジは ESD センシティブ デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です ([192 ページの用語集](#)を参照)。ピン、リード、および内部回路に手を触れないようにしてください。

## インクカートリッジのステータスを確認する

インクカートリッジのインク量を表示するには、フロントパネルの **インク容量の表示** ボタンを押します。

インクカートリッジの詳細を表示するには、フロントパネルのインク メニューを使用するか、HP Utility を使用します。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細は、[167 ページの「インクカートリッジのステータス メッセージ」](#)を参照してください。

## インクのメニューの使用手順

1. フロントパネルで、[インク] アイコン  を選択し、次に **[インクカートリッジ情報]** を選択します。
2. 情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルには以下の情報が表示されます。
  - カラー
  - 製品名
  - 製品番号
  - シリアル番号
  - ステータス
  - インク残量 (該当する場合)
  - 容量
  - 使用期限日付
  - 保証期限
  - 製造元

## HP Utility での手順

- HP Utility (Windows) では、**[概要]** タブに移動すると、**[サプライ品ステータス] - [カートリッジ]** の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- HP Utility (Mac OS) では、**[情報]** グループの **[プリンタ ステータス]** を選択します。

## インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジの取り外しが必要になる状況は、2 とおり考えられます。

- カートリッジのインクが僅かで、無人印刷を実行するために満杯のカートリッジに交換する必要がある場合 (元のカートリッジは都合のよいときに使い切ることができます)
- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合

△ **注意：** 印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

**注意：** インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

**注意：** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキレバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

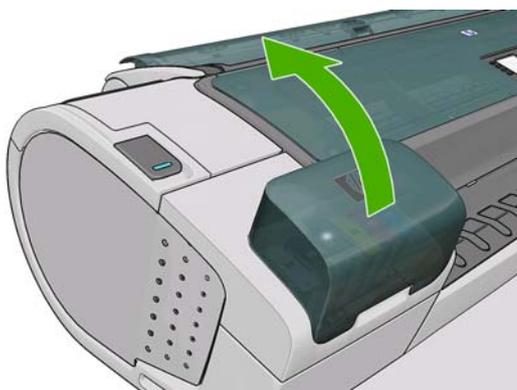
☞ **注記：** カートリッジがインク切れになると、現在のジョブは自動的にキャンセルされます。手動でキャンセルした場合を除いて、空のカートリッジを交換すると印刷が再開されます。カートリッジの交換が遅れると、印刷物にバンディングが入ることがあります。

1. フロントパネルで、[インク] アイコン  を選択し、次に **[インクカートリッジの交換]** を選択します。

Ink

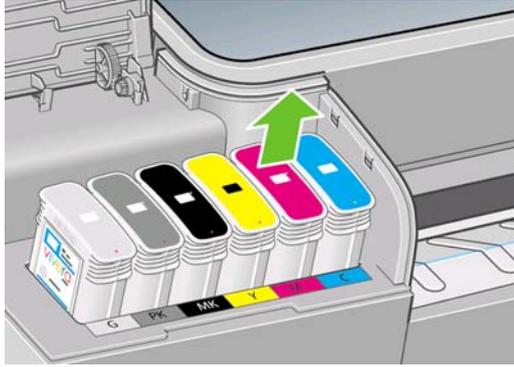
- ▶ View ink levels
- ▶ **Replace ink cartridges**
- ▶ Replace printheads
- ⊞ Ink cartridge information
- ⊞ Printhead information

2. プリンタの左側にあるインクカートリッジ カバーを開きます。



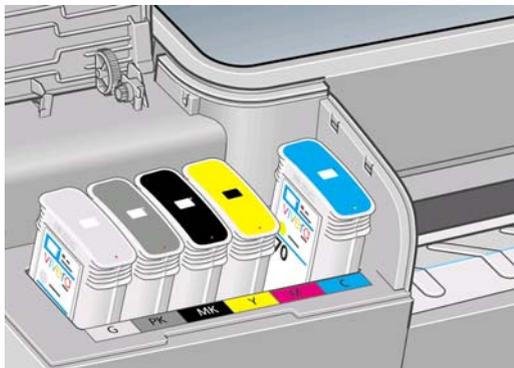
3. 取り外すカートリッジをつかみます。

4. カートリッジを真上に引き上げます。



**注記：** プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着している場合があります。

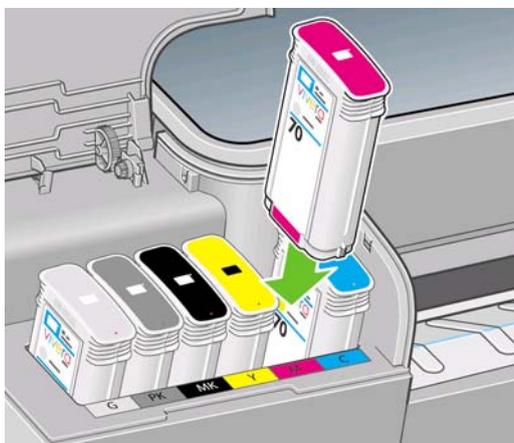
**注記：** 一部使用済みのインクカートリッジは保管しないようにしてください。



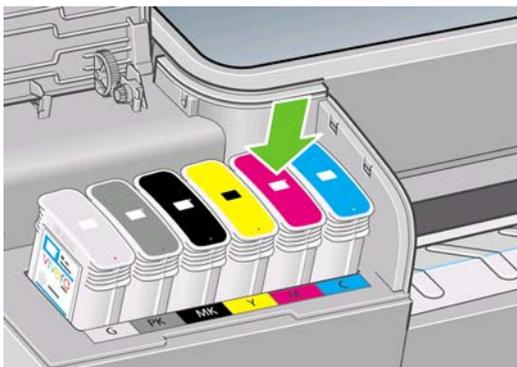
5. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。

## インクカートリッジを取り付ける

1. インクカートリッジは、袋から取り出す前によく振ります。
2. 新しいインクカートリッジを取り出し、ラベルを参照してインクの色を確認します。空いたスロットに印された文字(このイラストの場合、マゼンタを意味する M) と、カートリッジのラベルの文字が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジをスロットに取り付けます。

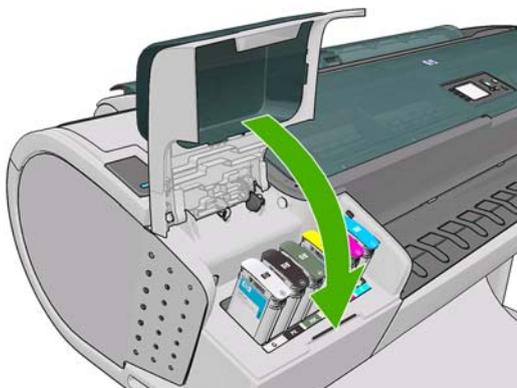


- 音がして固定されるまでカートリッジをスロットに押し込みます。カートリッジが取り付けられると、ブザーが鳴り、確認メッセージが表示されます。



取り付けにくい場合は、[167 ページの「インクカートリッジを取り付けられない」](#)を参照してください。

- すべてのカートリッジを取り付けたら、カバーを閉めます。



- フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されたら、フロントパネルの **OK** ボタンを押します。

## プリントヘッドについて

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。

△ **注意：** プリントヘッドは ESD センシティブ デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です ([192 ページの用語集](#)を参照)。ピン、リード、および内部回路に手を触れないようにしてください。

## プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

- フロントパネルで [インク] メニュー アイコン  を選択し、[プリントヘッド情報] を選択します。
- 情報を確認するプリントヘッドを選択します。
- フロントパネルには以下の情報が表示されます。
  - カラー
  - 製品名

- 製品番号
- シリアル番号
- ステータス (181 ページの「フロントパネル エラー メッセージ」を参照)
- 使用済みインク量
- 保証期限

HP Utility を使用すると、コンピュータ上で上記の情報の大部分を確認できます。

プリントヘッドのステータス メッセージの詳細は、173 ページの「プリントヘッドのステータス メッセージ」を参照してください。

保証期限が「保証に関する注記を参照」の場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。保証の詳細は、プリンタに付属している HP 法律情報に関するドキュメントを参照してください。

## プリントヘッドを取り外す

- △ **注意：** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



- △ **注意：** プrintヘッドの交換は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

1. フロントパネルで、[インク] アイコン  を選択し、次に [プリントヘッドの交換] を選択します。

Ink

- ▶ View ink levels
- ▶ Replace ink cartridges
- ▶ Replace printheads
- ⊞ Ink cartridge information
- ⊞ Printhead information

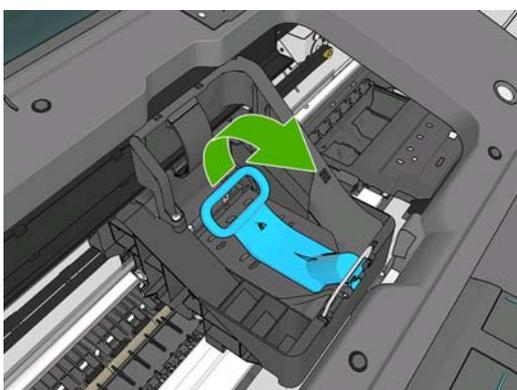
2. キャリッジが適切な位置に移動します。

- △ **注意：** キャリッジは、取り外し位置に移動してからプリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに3分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

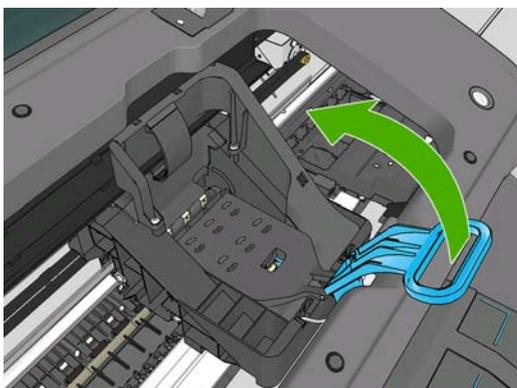
3. キャリッジが停止すると、ウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。



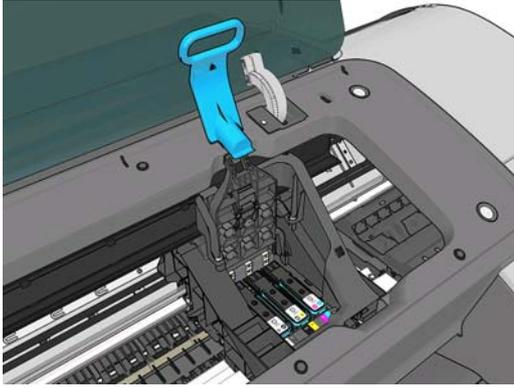
4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。
5. ハンドルを手前に引き上げ、ワイヤーループを解除します。



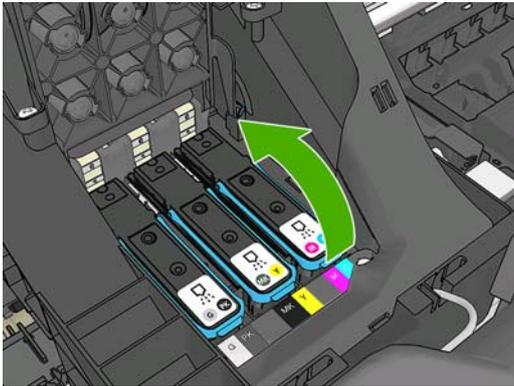
6. ハンドルを押し戻して、カバーのふたを起こします。



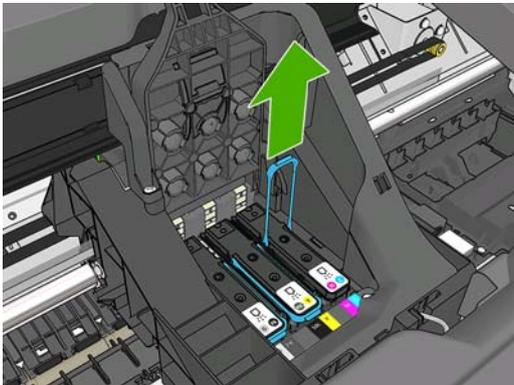
7. プリントヘッドにアクセスできるようになります。



8. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

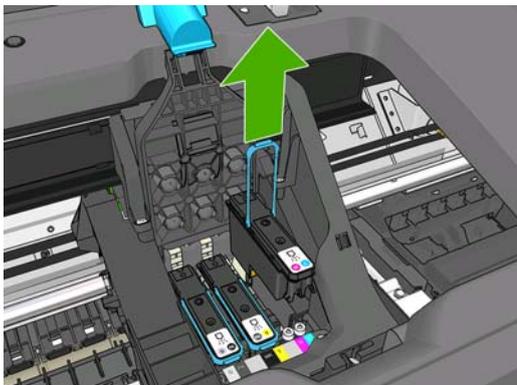


9. 青いハンドルを使って、一定の力でプリントヘッドを静かに取り外します。



10. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルを引き上げます。

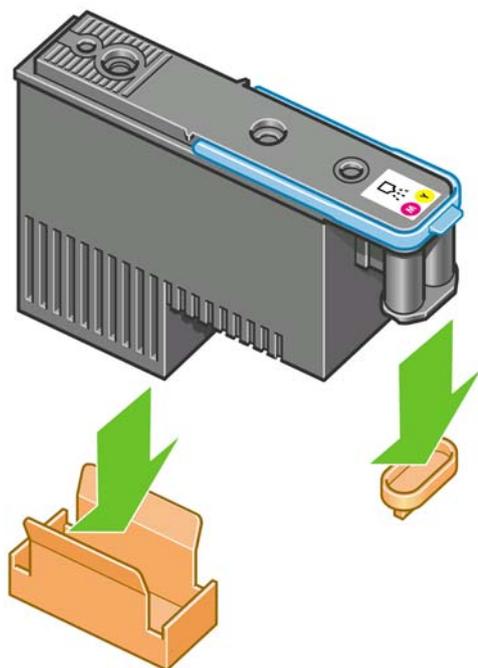
△ **注意：** 急いで引き上げるとプリントヘッドが破損することがありますので、ゆっくりと引き上げてください。



11. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

## プリントヘッドを取り付ける

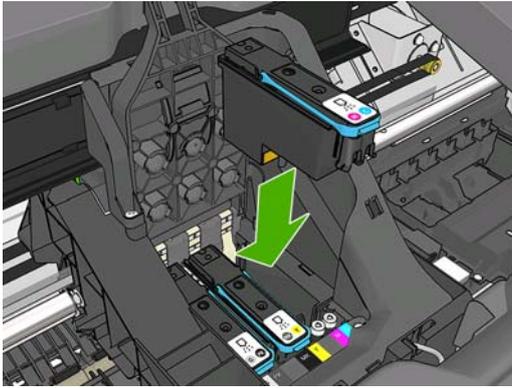
1. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。



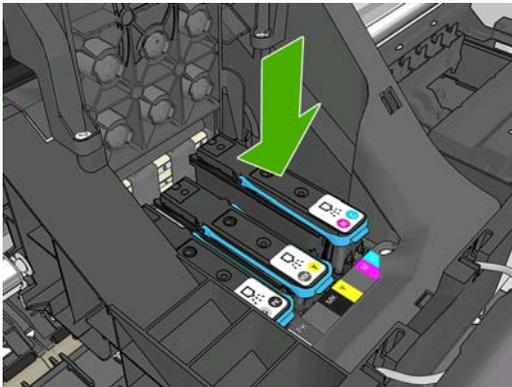
2. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジ スロットのラベルの色が合っていることを確認してください。

3. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

△ **注意：** プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

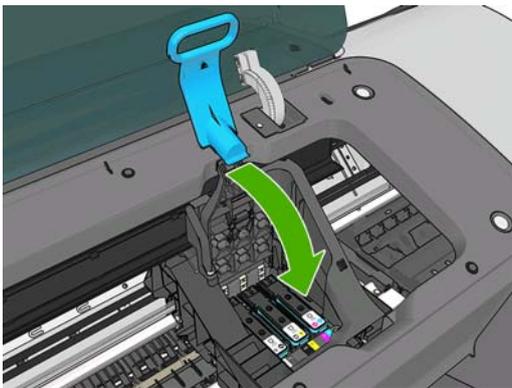


4. 図の矢印のとおり、プリントヘッドを下に押し込みます。

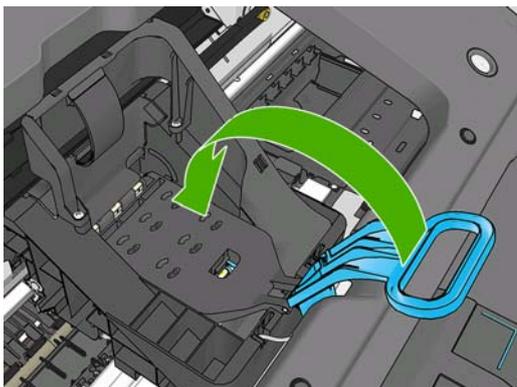


△ **注意：** 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、[167 ページの「プリントヘッドを取り付けられない」](#)を参照してください。

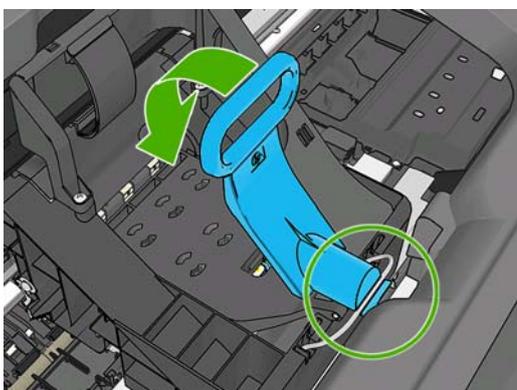
5. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジのカバーを閉じます。



6. 青いハンドルの先端が、キャリッジの手前側のワイヤーループに掛かっていることを確認します。



7. ハンドルをキャリッジカバーの上まで押し下げます。



すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

 **注記：** プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに **[交換して下さい]** というメッセージが表示されたときは、プリントヘッドを取り付け直してください。

8. ウィンドウを閉じます。



9. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理はデフォルトで 10 分ほどかかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、この処理に最大で 45 分ほどかかることがあります。プリントヘッドを 1 つだけ取り付けた場合は、2 ~ 40 分ほどかかります。用紙が取り付けられていれば、すべてのプリントヘッドの確認と準

備の終了後に、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。[171 ページの「プリントヘッドの軸合わせを行う」](#)を参照してください。

10. 新しいプリントヘッドを取り付けたら、カラー キャリブレーションを実行することをお勧めします。[66 ページの「カラー キャリブレーション」](#)を参照してください。

---

## 13 プリンタを保守する

- [プリンタ ステータスを確認する](#)
- [プリンタの外部をクリーニングする](#)
- [インクカートリッジを保守する](#)
- [プリンタを移動または保管する](#)
- [ファームウェアをアップデートする](#)
- [ソフトウェアをアップデートする](#)
- [プリンタ保守キット](#)
- [安全なディスク消去](#)

## プリンタ ステータスを確認する

プリンタのステータスは、以下のさまざまな方法で確認できます。

- HP Utility を起動して、使用するプリンタを選択すると、プリンタ、用紙、インク サプライ品のステータスが記述されたページが表示されます。
- 内蔵 Web サーバにアクセスすると、プリンタの全般的なステータスに関する情報が表示されます。[メイン] タブの [サプライ品] ページに、用紙およびインク サプライ品のステータスが表示されます。
- プリンタのフロントパネルのステータス画面に、プリンタに影響を与える現在の問題がまとめて表示されます。また、以下の情報も確認できます。
  - 現在取り付けられている用紙 (情報の表示 ボタン)  または 
  - インク量 (インク容量の表示 ボタン)  または 
  - インクカートリッジ ([インク] アイコン  を選択し、[インクカートリッジ情報] を選択)
  - プrintヘッド ([インク] アイコン  を選択し、[Printヘッド情報] を選択)

## プリンタの外部をクリーニングする

プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹼など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

- △ **警告!** 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。
- △ **注意:** プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

## インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。カートリッジが使用期限に達すると、プリンタのフロントパネルに表示されます。

カートリッジの使用期限はいつでも確認できます。[125 ページの「プリンタ ステータスを確認する」](#)を参照してください。

[112 ページの「インクカートリッジとPrintヘッドの取り扱い」](#)も参照してください。

## プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、保管したりする必要がある場合は、損傷を防ぐために適切な準備作業を行ってください。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、Printヘッドは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリンタがアイドル状態であることを確認します。
4. ネットワークやコンピュータにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。

長期間プリンタの電源をオフのままにする必要がある場合は、以下の追加手順を実行します。

1. フロントパネルの **電源** ボタンを押して、電源をオフにします。
2. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
3. プリンタの電源ケーブルを取り外します。

△ **注意：** プリンタを逆さにすると、プリンタ内部にインクが漏れてプリンタに重大な故障が発生することがあります。

プリンタの電源を入れ直すと、プリンタの初期化、およびプリントヘッドの確認と準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備は、通常、1分強かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。

△ **注意：** プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、プリントヘッドが使用できなくなる可能性があります。この場合、プリントヘッドを新品に交換する必要があります。

💡 **ヒント：** プリントヘッドの準備と除去では時間とインクが消費されるので、プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンタの電源を常にオン、またはスリープモードにしておくことを強くお勧めします。どちらの場合も、随時プリンタは自動的に起動し、プリントヘッドが保守されます。そのため、プリンタを使用する前に、準備処理に長い時間をかけずに済みます。

## ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、Hewlett-Packard から入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

ファームウェアのアップデートは、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールできます。以下の中から最も便利な方法をお選びください。

- Windows で HP Utility を使用して使用するプリンタを選択し、**[サポート]** タブ、**[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
- Mac OS で HP Utility を使用して **[サポート]** グループの **[ファームウェアのアップデート]** を選択します。
- 使用するプリンタの内蔵 Web サーバで **[メイン]** タブをクリックし、**[ファームウェアのアップデート]** を選択します。

いずれの場合でも、画面の指示に従ってファームウェア ファイルをハードディスクに保存します。次に、ダウンロードしたファイルを選択し、**[アップデート]** をクリックします。

📖 **注記：** ファームウェア アップグレードは、HP によりデジタル署名されています。未署名のファームウェア アップグレードの使用は推奨されません。未署名のものを使用しようとした場合、フロントパネルに確認メッセージが表示されます。

ファームウェア ファイルをプリンタにアップロードする処理に非常に時間がかかる場合は、プロキシ サーバーの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシ サーバーを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、**[ツール]** - **[インターネット オプション]** - **[接続]** - **[LAN の設定]** をクリックし、**[ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない]** ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、**[詳細設定]** ボタンをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを **[次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない]** の一覧に追加します。
- Mac OS の Safari を使用している場合は、**[Safari]** - **[環境設定]** - **[詳細]** をクリックし、**[プロキシ:設定を変更]** ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP

アドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プリセットが含まれています。追加の用紙プリセットは、別途ダウンロードできます ([43 ページの「用紙プリセット」](#)を参照)。

## ソフトウェアをアップデートする

プリンタのプリンタ ドライバおよび他のソフトウェアをアップデートするには、<http://www.hp.com/go/T770/drivers/>または <http://www.hp.com/go/T1200/drivers/>を参照してください。

Windows をご使用の場合、HP ソフトウェア アップデートによってソフトウェアが定期的に自動更新されます。

## プリンタ 保守キット

プリンタには 4 種類の保守キットが用意されており、長期間使用したコンポーネントを交換できます。コンポーネントの交換が必要なときは、フロントパネルにメッセージが表示されるか、HP Utility によってメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、HP サポート ([187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#)を参照) までお問い合わせの上、保守キットを入手してください。キットは、サービス エンジニアがインストールします。

## 安全なディスク消去

プリンタのハード ディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。安全なディスク消去機能を使用すれば、ハード ディスクから情報を完全に消去して、許可のないアクセスから情報を保護できます。特定のファイルを消去することも、ハード ディスク全体を消去することも可能です。

安全なディスク消去機能では、次の 3 つのセキュリティ レベルを設定できます。

- **非セキュア高速消去:** 情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハード ディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータ システムでファイルを消去するときに使用される通常の方法です。最も短時間で消去できますが、最も安全性の低い方法です。
- **セキュア高速消去:** 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。非セキュア高速消去よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気的痕迹を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。



- **セキュア サニタイジング消去:** 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュア サニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスクメディアの消去およびサニタイジングの要件 (5220-22.m) に適合しています。安全なディスク消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティレベルです。



安全なディスク消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の 1 つです。<http://www.hp.com/go/webjetadmin/> を参照してください。

Web JetAdmin から安全なディスク消去するときに問題が発生した場合は、HP サポートにお問い合わせください。[187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#) を参照してください。

- ☞ **注記:** ハードディスク全体を消去すると、処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なディスク消去では約 6 時間、セキュア サニタイジング消去では約 24 時間かかります。

---

## 14 アクセサリ

- サプライ品およびアクセサリ
- アクセサリ

## サプライ品およびアクセサリ

プリンタ用のサプライ品およびアクセサリについては、次の2つの方法でご確認ください。

- Web で、<http://www.hp.com/go/T770/accessories/> または <http://www.hp.com/go/T1200/accessories/> にアクセスする
- HP サポート (187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」を参照) に問い合わせる

以下は、ご使用いただけるサプライ品およびアクセサリと製品番号のリストです。

### インク サプライ品について

このプリンタ対応のインク サプライ品は以下のとおりです。

表 14-1 インクカートリッジ

カートリッジ	製品番号
HP72 インクカートリッジ フォトブラック	C9397A
HP72 インクカートリッジ シアン	C9398A
HP72 インクカートリッジ マゼンタ	C9399A
HP72 インクカートリッジ イエロー	C9400A
HP72 インクカートリッジ グレー	C9401A
HP72 インクカートリッジ マットブラック	C9403A
HP72 インクカートリッジ フォトブラック	C9370A
HP72 インクカートリッジ シアン	C9371A
HP72 インクカートリッジ マゼンタ	C9372A
HP72 インクカートリッジ イエロー	C9373A
HP72 インクカートリッジ グレー	C9374A
HP 726 インクカートリッジ マットブラック (T1200 シリーズのみ)	CH575A

表 14-2 プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP72 プリントヘッド グレー/フォトブラック	C9380A
HP72 プリントヘッド マゼンタ/シアン	C9383A
HP72 プリントヘッド マットブラック/イエロー	C9384A

### 用紙について

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

- ☞ **注記：** 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、<http://www.hp.com/go/T770/accessories/> または <http://www.hp.com/go/T1200/accessories/> を参照してください。

**注記：** HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。

## 販売地域を示すコード

- (A) アジア (日本を除く) で販売されている用紙を示します。
- (C) 中国で販売されている用紙を示します。
- (E) ヨーロッパ、中東、およびアフリカで販売されている用紙を示します。
- (J) 日本で販売されている用紙を示します。
- (L) 南米で販売されている用紙を示します。
- (N) 北米で販売されている用紙を示します。

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

表 14-3 ロール紙

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号	
<b>HP 普通紙とコート紙</b>					
HP スタンダード普通紙	80	45.7 m	594 mm (A1)	Q8003A (AJ)	
			610 mm	Q1396A	
			914 mm	Q1397A	
			1067 mm	Q1398A	
		91.4 m	594 mm (A1)	Q8004A (EAJ)	
			841 mm (A0)	Q8005A (EAJ)	
HP インクジェット普通紙	90	45.7 m	420 mm (A2)	Q1446A (J)	
			594 mm (A1)	Q1445A (EJ)	
			610 mm	C1860A (LN)、 C6035A (AEJ)	
			841 mm (A0)	Q1444A (EJ)	
			914 mm	C1861A (LN)、 C6036A (AEJ)	
			91.4 m	914 mm	C6810A
HP リサイクル普通紙	80	45.7 m	420 mm (A2)	CG892A (E)	
			610 mm	CG889A (EN)	
			914 mm	CG890A (EN)	
			1067 mm	CG891A (EN)	
HP コックリング フリー コート紙	100	45.7 m	610 mm	CG883A (EN)	
			914 mm	CG884A (EN)	
			1067 mm	CG885A (EN)	
HP コックリング フリー厚手コート紙	170	30.5 m	610 mm	CG886A (EN)	
			914 mm	CG887A (EN)	
			1067 mm	CG888A (EN)	
HP スタンダードコート紙	95	45.7 m	610 mm	Q1404A (AEJN)	
			914 mm	Q1405A (AEJN)	
			1067 mm	Q1406A	

表 14-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号
HP コート紙	90	45.7 m	420 mm (A2)	Q1443A (J)
			457 mm	Q7897A (EJN)
			594 mm (A1)	Q1442A (EJ)
			610 mm	C6019B
			841 mm (A0)	Q1441A (EJ)
			914 mm	C6020B
			1067 mm	C6567B
HP スタンダード厚手コート紙	120	30.5 m	610 mm	Q1412A (AEJN)
			914 mm	Q1413A
			1067 mm	Q1414A (AEJN)
HP 厚手コート紙	131	30.5 m	610 mm	C6029C (AEJN)
			914 mm	C6030C
		67.5 m	1067 mm	C6569C
			1067 mm	Q1956A (EN)
HP プラス スーパー厚手マット紙	210	30.5 m	610 mm	Q6626A (AEJN)
			914 mm	Q6627A (AEJN)
			1067 mm	Q6628A (AEJN)
HP 蛍光イエロー紙	100	45.7 m	914 mm	Q1757A (E)
HP カラー用紙 (イエロー)	92	45.7 m	914 mm	Q1760A (EN)
		90 m	594 mm (A1)	Q6596A (E)
<b>HP テクニカル用紙</b>				
HP モノクロ&カラー トレーシング ペーパー	90	45.7 m	420 mm (A2)	Q1440A (J)
			594 mm (A1)	Q1439A (J)
			610 mm	C3869A
			841 mm (A0)	Q1438A (J)
			914 mm	C3868A
HP 半透明ボンド紙	67	45.7 m	610 mm	C3860A (AJN)
			914 mm	C3859A (LN)
HP ベラム紙	75	45.7 m	610 mm	C3862A (N)
			914 mm	C3861A (LN)
<b>HP フィルム (テクニカル&amp;グラフィクス)</b>				
HP クリア フィルム	174	22.9 m	610 mm	C3876A (AEJN)
			914 mm	C3875A
HP マットフィルム	160	38.1 m	610 mm	51642A (AEJN)
			914 mm	51642B

表 14-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号
HP ホワイトポリエステルマットフィルム	167	15.2 m	914 mm	Q1736A (AEN)
HP ビビッドホワイト ポリエステル光沢フィルム	230	20.1 m	610 mm	CG827A (EJN)
			1067 mm	CG828A (EJN)
<b>HP フォト用紙</b>				
HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	190	30.5 m	610 mm	Q6574A
			914 mm	Q6575A
			1067 mm	Q6576A
HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙	190	30.5 m	610 mm	Q6579A
			914 mm	Q6580A
			1067 mm	Q6581A
<b>ヒント:</b> 染料インクを速乾性フォト用紙に印刷すると、短時間で色あせしてしまいます。2週間以上用紙を保存する場合には、ラミネート加工しておけば色あせを防ぐことができます。				
HP プレミアムプラスプルーフ用兼光沢フォト用紙	280	15.2 m	610 mm	Q5488A
HP プレミアム プラス 半光沢フォト用紙	280	15.2 m	457 mm	Q7920A
			610 mm	Q5491A
HP スタンダード光沢フォト用紙	190	30.5 m	610 mm	Q1426A (AEJN)
			914 mm	Q1427A (AEJN)
			1067 mm	Q1428A (AEJN)
HP スタンダード半光沢フォト用紙	190	30.5 m	610 mm	Q1420A (AEJN)
			914 mm	Q1421A (AEJN)
			1067 mm	Q1422A (AEJN)
HP RC マットフォト用紙	200	30.5 m	914 mm	C7946A (AEN)
<b>HP バックライト用紙</b>				
HP 裏打ちバックライトフィルム	160	22.9 m	914 mm	C7960A (AEJN)
<b>HP 粘着紙とラミネート</b>				
HP 半透明クリング紙	240	22.9 m	914 mm	Q1914A (AEN)
			1067 mm	Q1915A (AEN)
HP 屋内用粘着紙	170	22.9 m	610 mm	CG948A (EN)
			914 mm	Q1733A (EJN)
HP ポリプロピレン粘着マット紙	225	21.3 m	914 mm	Q1908A (AEN)
HP ビニール (粘着タイプ)	328	12.2 m	914 mm	C6775A
HP ポリプロピレン粘着紙	128	50 m	914 mm	Q8044A (C)
			1067 mm	Q8884A (C)
HP エブリデイ ポリプロピレン粘着マット紙	180	22.9 m	610 mm	CG843A
			914 mm	CG824A
			1067 mm	CG825A

表 14-3 ロール紙 (続き)

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号
HP ポリプロピレン粘着光沢紙	180	22.9 m	914 mm	Q8834A
			1067 mm	Q8835A

表 14-4 カット紙

用紙の種類	g/m <sup>2</sup>	長さ	幅	製品番号
<b>HP 普通紙とコート紙</b>				
HP コート紙	90	610 mm	457 mm	Q1961A (AEJN)
		914 mm	610 mm	Q1962A (AEN)
<b>HP フォト用紙</b>				
HP プレミアムプラスプルーフ用兼 光沢フォト用紙	280	483 mm	330 mm	Q5486A
		610 mm	457 mm	Q5487A
HP プレミアム プラス 半光沢フォト 用紙	280	483 mm	330 mm	Q5489A
		610 mm	457 mm	Q5490A

## アクセサリについて

お使いのプリンタ用に、以下のアクセサリをご注文いただけます。

商品名	製品番号
HP Designjet T770 メモリ アップグレード	CN499A
HP Designjet T770 PostScript アップグレード	CN500A
HP Designjet 外部ハード ディスク	CN501A
HP Designjet T770 24 インチ スピンドル	CQ783A
HP Designjet T770 および T1200 44 インチ スピンドル	Q6709A
HP Designjet T770 24 インチ スタンド	Q6663A
HP Jetdirect 635n IPv6/IPsec プリント サーバ	J7961A

## アクセサリ

### メモリ アップグレード (T770 のみ)

メモリ アップグレードは、印刷時に「メモリ不足」エラーがたびたび発生する場合に役立ちます。プリンタの USB ホストに接続できます。これにより、6GB の予備のメモリが提供されます。

 **注記：** このアップグレードは、T770 HD には適用されません。

### PostScript アップグレード (T770 シリーズのみ)

PostScript アップグレードには、PostScript インタプリターが用意されているため、PostScript および PDF ファイルをプリンタに送信できるようになります。上に示す 6GB のメモリ アップグレードが含まれているため、両方は必要ありません。PostScript アップグレードは、プリンタの USB ホストに接続できます。

 **注記：** 含まれている 6GB のメモリ アップグレードは T770 のみに適用され、T770 HD には適用されません。

## 外部ハード ディスク (T1200 シリーズのみ)

外部ハード ディスクを使用すると、セキュリティ上の理由からハード ディスクを削除できるようになります。このディスクは、プリンタの USB ホストに接続できます。

## スピンドル

追加のスピンドルがあれば、用紙の種類をすばやく変更できます。

## Jetdirect プリント サーバ

Jetdirect プリント サーバは、プリンタに組み込まれている標準のギガビットイーサネット インタフェースで提供される接続オプションおよびセキュリティ オプションを超える、追加の接続オプションおよびセキュリティ オプションをサポートします。

IPsec の設定についての詳細は、<http://www.hp.com/go/T1200/manuals/> または <http://www.hp.com/go/T770/manuals/> から **IPsec\_Admin\_Guide.pdf** をダウンロードしてください。

## 15 用紙に関するトラブルシューティング

- 用紙が正しく取り付けられない
- 用紙の種類がドライバに含まれていない
- 間違った用紙の種類に印刷された
- 「一時停止しています」というメッセージが表示される (T1200 シリーズのみ)
- ロール紙が送られない
- 用紙が詰まっている
- 帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する
- プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される
- 印刷物がバスケットに正しく排出されない
- 印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる
- 印刷が完了すると用紙がカットされる
- カッターで正しくカットされない
- ロール紙がスピンドルでたるむ
- 拡張精度のキャリブレーションを行う

## 用紙が正しく取り付けられない

- 用紙が取り付けられていないことを確認します。
- 用紙がプリンタの奥まで取り付けられていることを確認します。プリンタに用紙が固定される感触があるはずです。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、位置合わせの処理中に用紙をまっすぐにしないでください。用紙はプリンタによって自動的にまっすぐにされます。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。

## ロール紙の取り付けの失敗に関する一般的な問題

- 用紙が取り付けられない場合、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れており、切り揃える必要があります。ロール紙の先端の 2cm を切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- 用紙の端がスピンドルの端にしっかりと固定されていることを確認します。
- スピンドルが正しく挿入されていることを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙の向きが正しいことを確認します。
- ロール紙の端の接続部がすべて取り除かれていることを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 位置合わせの処理中は、ロール紙または用紙に触れないでください。
- ロール紙を T1200 シリーズに取り付けるときは、閉じるように要求するメッセージがフロントパネルに表示されるまで、ロールカバーを開いたままにする必要があります。
- 上部のロール紙を取り付けるときは (T770 のロール紙のみ)、ロール紙をカット紙のスロットに挿入しないでください。



## ロール紙の取り付けに失敗する

用紙がまっすぐに挿入されていない場合、フロントパネルに以下の指示が表示されます。

1. フロントパネルにメッセージが表示されたら、左の青いレバーを上げます。ロール紙はプリンタによってまっすぐにされます。
2. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いレバーを下げます。プリンタによって位置の確認が行われます。ロール紙の位置合わせが終了すると、T1200 プリンタによってロールカバーを閉じるように要求され、印刷の準備が整います。

ロール紙の位置が合っていない場合、フロントパネルにやり直しを指示するエラーメッセージが表示されます。

用紙の取り付けをやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルし、ロール紙の端がプリンタから外れるまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。

 **注記:** ロール紙が芯の周りでゆるくなっていると、プリンタに用紙を取り付けることができません。

## カット紙の取り付けに失敗する

- 特に厚手の用紙の場合は、プリンタが最初にカット紙を給紙するときにカット紙の位置を揃えます。
- カット紙の位置が、ロール カバー上の基準線に合っていることを確認します。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、用紙の取り付けの処理中にカット紙をまっすぐにしなないでください。
- はさみなどを使用して切ったカット紙 (形が不揃いである可能性があります) は使用せず、購入したカット紙のみを使用します。

問題が発生した場合は、フロントパネル ディスプレイに表示される指示に従ってください。

用紙の取り付け処理をやり直す場合、フロントパネルで処理をキャンセルすると、プリンタによってカット紙がプリンタの前面から排出されます。

## 用紙の取り付けのエラー メッセージ

用紙の取り付けに関連するフロントパネル メッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
用紙の取り付けが完了したらロール カバーを閉じてください	用紙の取り付けが完了したらロール カバーを閉じます。
レバーが上がっています	用紙の取り付け中に、青いレバーが上がっています。このため、プリンタに用紙を取り付けることができません。フロントパネルに表示される指示に従ってください。
用紙取り付けエラー	用紙が正しく取り付けられていません。青いレバーを持ち上げ、用紙を取り除き、レバーを下げます。
取り付けた用紙にスキューが多すぎます	用紙の取り付け中に、用紙にスキュー (歪み) が多すぎることが検出されました。フロントパネルに表示される指示に従ってください。
用紙が芯に対してゆるくなっています	ロール紙の芯の周りがゆるくなっています。用紙を芯にしっかりと巻きつけるか、新しいロール紙を挿入します。
用紙が検出されませんでした	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。用紙が完全に取り付けられており、透明ではないことを確認します。
用紙が大きすぎます	用紙の取り付け中に、用紙の幅が広すぎるか、長さが長すぎる (カット紙のみ) が検出されたため、プリンタに正しく取り付けることができません。キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付けを中止します。189 ページの「 <a href="#">プリンタ機能の仕様</a> 」を参照してください。
用紙が小さすぎます	用紙の取り付け中に、用紙の幅が狭すぎるか、長さが短すぎる (カット紙のみ) が検出されたため、プリンタに正しく取り付けることができません。キャンセル ボタンを押して、用紙の取り付けを中止します。189 ページの「 <a href="#">プリンタ機能の仕様</a> 」を参照してください。
用紙の取り付け中にロール カバーが閉じました	フロントパネルに指示が表示されるまで、ロール カバーを閉じないでください。
上部のロール紙が取り付けられましたが、単独のカット紙経路に差し込まれています	ロール紙をカット紙スロットに差し込まないでください。

## 用紙の種類がドライバに含まれていない

ドライバに含まれない用紙に印刷する場合、既にドライバに存在するプリセットの1つとして用紙を使用することもできますが、透明か半透明か、光沢紙かマット紙かを指定する必要があります。

☞ **注記：** 光沢紙にマットブラックインクを使用してもうまく印刷できません。光沢紙を使用する場合は、[用紙の種類] に光沢紙を指定することが重要です。

### 透明または半透明の用紙

透明フィルム (例:OHP フィルム) を使用する場合は、用紙の種類に [フィルム] - [クリアフィルム] を選択します。

半透明フィルム (例:テクニカル用紙) を使用する場合は、用紙の種類に [テクニカル用紙] - [モノクロ&カラー トレーシングペーパー]、[ベラム紙]、または [半透明ボンド紙] を選択します。

### 光沢紙

フォト用紙を使用する場合は、[フォト用紙] カテゴリを選択します。光沢紙、または高光沢紙を使用する場合は、用紙の種類に [光沢フォト用紙] を選択します。半光沢、サテン、パール、またはつや仕上げを使用する場合は、用紙の種類に [半光沢/サテンフォト用紙] を選択します。

フォト用紙で色域を拡張するには、仕上げに応じて [HP スタンダード光沢フォト用紙] または [HP スタンダード半光沢フォト用紙] を選択します。

### マット紙

マット用紙に選択する用紙の種類は、用紙のインク吸収能力によって異なります。用紙カテゴリと種類を選択するにはまず、使用する用紙が汎用なのか、写真用なのかを確認します。次に、推奨される用紙の種類を選択します。

### 汎用の用紙

- トレーシングペーパーの場合は、用紙の重さに応じて用紙の種類に [モノクロ&カラー トレーシングペーパー < 65 g/m<sup>2</sup>] または [モノクロ&カラー トレーシングペーパー > 65 g/m<sup>2</sup>] を選択します。
- 薄手 (< 90 g/m<sup>2</sup>) の普通紙 (例:普通紙、インクジェット普通紙) を使用する場合は、用紙の種類に、[普通紙とコート紙] - [普通紙] を選択します。
- 薄いコート紙 (< 110 g/m<sup>2</sup>) を使用する場合は、用紙の種類に、[普通紙とコート紙] - [HP コート紙] を選択します。
- 厚手コート紙 (< 200 g/m<sup>2</sup>) を使用する場合は、用紙の種類に、[普通紙とコート紙] - [厚手コート紙] を選択します。
- しわの出ない、非常に厚手のコート紙 (> 200 g/m<sup>2</sup>) を使用する場合は、用紙の種類に、[普通紙とコート紙] - [スーパー厚手コート紙] を選択します。

### フォト用紙

フォト用紙を使用する場合は、用紙の種類に、[フォト用紙] - [つや消しフォト用紙] を選択します。

### 触ると、黒インクが簡単に落ちる

これは、使用している用紙にマットブラックインクとの互換性がない場合に起こります。マット以外のブラックインクを使用する場合は、用紙の種類に、[フォト用紙] - [光沢フォト用紙] を選択します。

## 印刷後、用紙がしわになるか、インクが多すぎる

これはインクの使用量が多すぎる時に発生します。使用されるインクの量を減らすには、より薄いカテゴリを選択します。マット紙のカテゴリを薄いものから順に並べると次のようになります。

- 普通紙
- コート紙
- 厚手コート紙
- スーパー厚手コート紙

その他のイメージ品質の問題については、[149 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

## 間違った用紙の種類に印刷された

意図した用紙を取り付ける前にジョブが印刷されてしまう場合は、プリンタ ドライバで [用紙の種類] に [任意] が選択されていることがあります。[任意] が選択されていると、プリンタではどのような用紙が取り付けられていても、即座に印刷が実行されます。意図した用紙を取り付け ([31 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)、ドライバで用紙の種類を具体的に選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合:** [用紙/品質] タブを選択し、[用紙の種類] リストで用紙の種類を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合 (T770、T1200):** [用紙/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] リストで用紙の種類を選択します。
- **Mac OS X 10.5 または 10.6 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [用紙/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] リストで用紙の種類を選択します。
- **Mac OS X 10.4 PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ):** [イメージ品質] パネルを選択し、[用紙の種類] リストで用紙の種類を選択します。

 **注記:** [任意] はドライバのデフォルト設定です。

## 「一時停止しています」というメッセージが表示される (T1200 シリーズのみ)

ジョブの送信時に設定可能な条件 ([21 ページの「用紙が一致しない場合の動作」](#)を参照) の設定に基づいて、取り付けられているどのロール紙がジョブの印刷により適しているかをプリンタが判断します。どの条件にも合致するロール紙がない場合、プリンタはジョブを一時停止させます。手動でジョブを再開すると、当初指定した用紙とは異なる用紙に強制的に印刷できます。それ以外の場合は、一時停止されたままになります。

## どのロール紙にジョブが印刷されるかを決定するのにどの基準が使用されますか？

ユーザはジョブの送信時に、必要な用紙の種類をドライバまたは内蔵 Web サーバで設定することができます。プリンタはジョブを、選択した用紙の種類のロール紙、および描画が途切れない十分な大きさのあるロール紙に印刷します。すべての基準を満たしている、ジョブを印刷できるロール紙が複数ある場合、環境設定によってロール紙が選択されます。これらは、プリンタのフロントパネルから設定できます。[21 ページの「ロール紙切替オプション」](#)を参照してください。

## ジョブはいつ一時停止しますか？

用紙が一致しない場合の動作が **[ジョブを保留にする]** に設定されていると (21 ページの「**用紙が一致しない場合の動作**」を参照)、ジョブは以下の場合に一時停止します。

- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに (または、ロールが指定されていない場合はどちらのロールにも) 現在取り付けられていない。
- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに取り付けられているが、描画が大きすぎてそのロール紙に (または、ロールが指定されていない場合はどちらのロール紙にも) 収まらない。

## 新しいロール紙を取り付けた場合、一時停止しているジョブは自動的に印刷されますか？

はい。新しいロール紙が取り付けられるたびに、取り付けられたロール紙で印刷可能なジョブがあるかどうかプリンタによって確認されます。

## ジョブを一時停止させたくありません。この動作を防ぐことはできますか？

はい、フロントパネルから行うことができます。21 ページの「**用紙が一致しない場合の動作**」を参照してください。

## **[用紙が一致しない場合の動作]** を **[そのまま印刷をする]** に設定しましたが、それでもジョブが一時停止するときがあります。

**[印刷プレビューの表示]** オプションがドライバまたは内蔵 Web サーバで選択されていると、プレビューを確認してジョブを再開するまでジョブは一時停止します。**[印刷プレビューの表示]** オプションのチェック ボックスがドライバでオンになっていないこと、および確認待ちになっている保留中のプレビュー ウィンドウがないことを確認して、印刷を続行してください。

## ジョブの幅はプリンタに取り付けられているロール紙の幅とまったく同じですが、それでもジョブが一時停止します。

マージンを管理する方法はファイルの種類によりさまざまです。

- HP-GL/2 および HP RTL ファイルの場合、デフォルトでは、マージンは描画の内側に含まれません。したがって、914mm の HP-GL/2 および HP RTL ファイルは 914mm のロール紙で印刷でき、一時停止しません。
- ただし、PostScript、PDF、TIFF、または JPEG などその他のファイル形式の場合、描画の外側にマージンを追加する必要があるとプリンタによってみなされます (通常、これらのファイル形式は写真やその他のマージンを含まないイメージで使用されます)。これは、914mm の TIFF を印刷する場合、プリンタでマージンを追加する必要があり、描画の印刷には 925mm の用紙が必要なことを意味します。このため、プリンタに取り付けられている用紙が 914mm の幅しかない場合、ジョブは一時停止します。

描画の外側にマージンを余分に追加しないでこれらのファイル形式を印刷する場合、**[内容をマージンでクリップ]** オプションが使用できます。このオプションによって、マージンは描画の内側に設定されます。したがって、914mm の TIFF は 914mm のロール紙に一時停止することなく印刷できます。ただし、描画の境界線に余白が含まれていない場合、マージンによって内容の一部が印刷されない可能性があります。

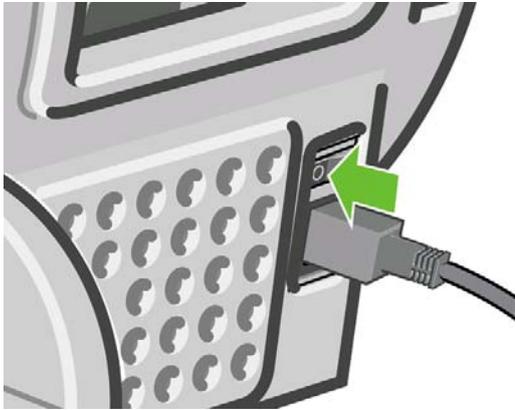
## ロール紙が送られない

プリンタを壁に向かって押し上げた場合、プリンタの背面でロール紙が壁に触れることがあります。ウォール スペースを使用して、プリンタと壁の最小限の距離を確保してください。7 ページの「**ウォール スペース**」を参照してください。

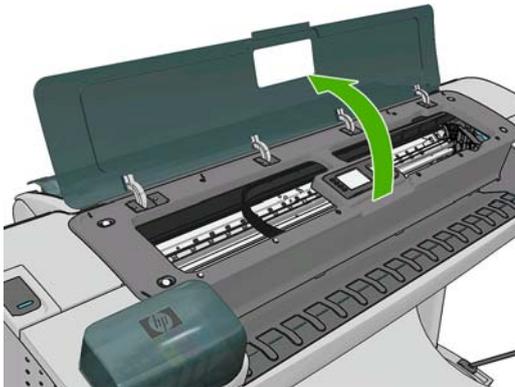
## 用紙が詰まっている

紙詰まりが起こると、通常、「紙詰まりの可能性がります」というメッセージがフロントパネルに表示されます。

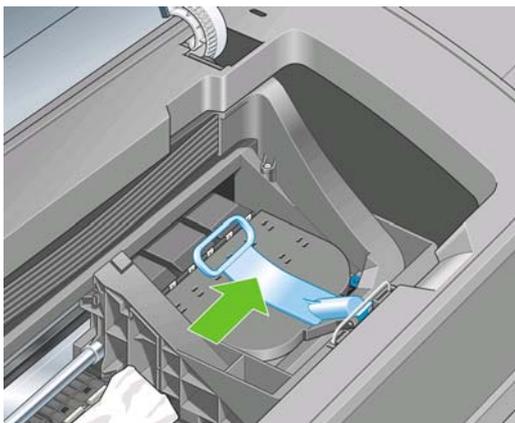
1. フロントパネルでプリンタの電源をオフにし、背面にある電源スイッチもオフにします。



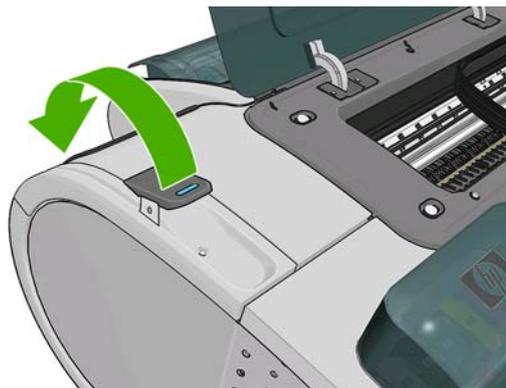
2. ウィンドウを開きます。



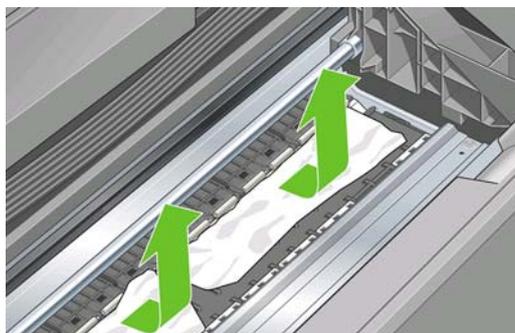
3. プリントヘッド キャリッジを邪魔にならない場所に移動します。



4. 青いレバーを上げる場所まで持ち上げます。

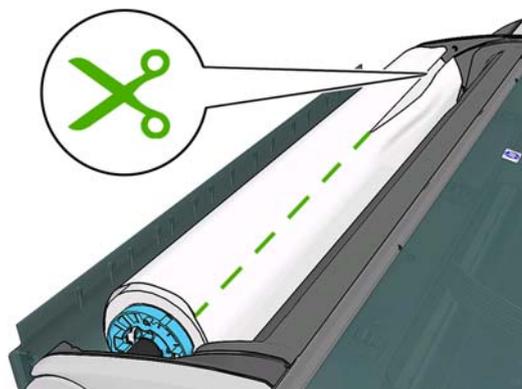


5. プリンタの上部から、詰まった用紙を慎重に取り除きます。

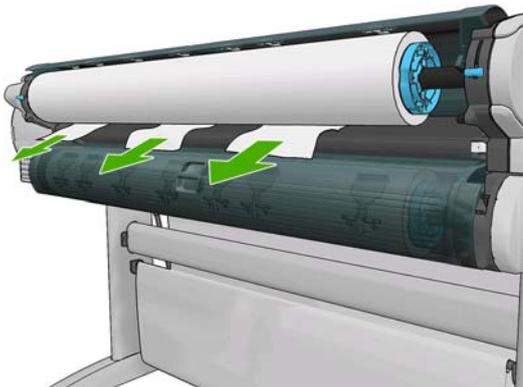


△ **注意：** 用紙を横に動かさないでください。横に動かすとプリンタが損傷するおそれがあります。

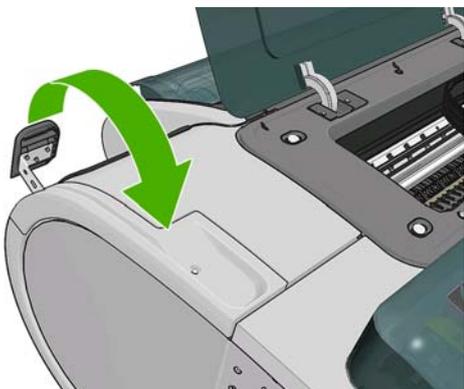
6. ロール紙を巻き直します。用紙が詰まっていてそれ以上巻き直すことができない場合は、ロール紙からその部分を切り取ります。



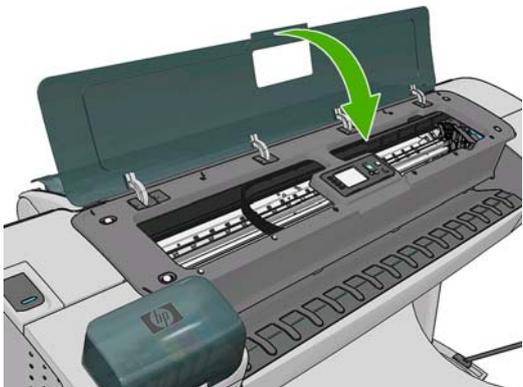
7. プリンタの背面から用紙の切れ端すべてを取り除きます。



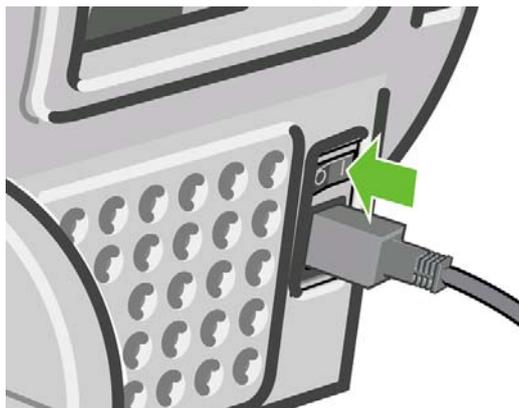
8. 青いレバーを下げます。



9. ウィンドウを閉じます。



10. プリンタの電源を入れます。

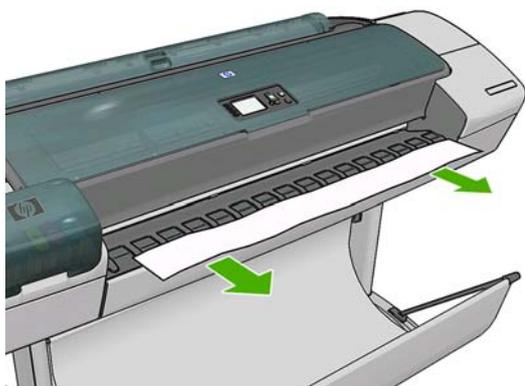


11. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます (31 ページの「用紙の取り扱い」を参照)。

☞ **注記：** プリンタ内に障害の原因となる用紙がまだ残っている場合は、作業をやり直し、用紙の切れ端すべてを慎重に取り除きます。

## 帯が排紙トレイに残り、紙詰まりが発生する

フチ無し印刷の前 (新しいロール紙の場合) や後、または **排紙/カット** ボタン  を押した後などに、小さな用紙 (220mm 以下) がカットされるとき、カットされた帯が排紙トレイに残ります。プリンタが動作していないときのみ、トレイから帯を取り除いてください。



## プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される

ロール紙が芯の周りでゆるくなっている場合、プリンタで正しく給紙されず、用紙が取り付けられません。可能であれば、用紙を芯にしっかりと巻きつけるか、新しいロール紙を取り付けます。

## 印刷物がバスケットに正しく排出されない

- バスケットが正しく取り付けられていることを確認します。
- バスケットが開いていることを確認します。
- バスケットが満杯になっていないことを確認します。
- 用紙は最後の部分でカールすることが多いため、出力の問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。

## 印刷が完了してもカット紙がプリンタに留まる

印刷物を乾かすため、カット紙は印刷後プリンタに保持されます (44 ページの「乾燥時間を変更する」を参照)。乾燥時間が過ぎても用紙の一部しか排出されない場合、用紙をゆっくりとプリンタから引き出します。自動カッターが無効になっている場合、フロントパネルの **排紙/カット** ボタン  を使用します (45 ページの「用紙を排紙/カットする」を参照)。

## 印刷が完了すると用紙がカットされる

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると用紙はプリンタでカットされます (44 ページの「乾燥時間を変更する」を参照)。カッターを無効にすることもできます (45 ページの「自動カッターのオン/オフを切り替える」を参照)。

## カッターで正しくカットされない

デフォルトでは、乾燥時間が過ぎると、プリンタは用紙を自動的にカットするよう設定されています。

カッターの使用がオンになっていても正しくカットされない場合は、カッター レールに汚れや障害物がないことを確認します。

## ロール紙がスピンドルでたるむ

ロール紙を交換するか、取り付け直す必要があります。

## 拡張精度のキャリブレーションを行う

正確な拡張精度は、用紙に対して適切にドットを配置するための制御要素の一つであるため、優れたイメージ品質を得るのに重要です。プリントヘッドが通過する間に用紙が適当な距離で送られない場合、明るいまは暗い帯が印刷に現われ、イメージの粒状感が増える場合があります。

プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、用紙のデフォルトのキャリブレーションに満足できない場合、用紙を送る間隔を再度キャリブレーションする必要があります。拡張精度のキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを判断する手順については、149 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」を参照してください。

現在取り付けられている用紙の拡張精度キャリブレーション ステータスは、フロントパネルの **情報の表示** ボタン  を押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- デフォルト: キャリブレーションが実行されていない用紙が取り付けられた場合に、このステータス画面が表示されます。フロントパネルに表示される HP 用紙はデフォルトで最適化されているため、印刷したイメージにバンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生していない限り、再度、拡張精度のキャリブレーションをすることは推奨しません。
- OK: このステータスは、取り付けられた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

 **注記:** プリンタのファームウェアを更新した場合は、拡張精度キャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます (126 ページの「ファームウェアをアップデートする」を参照)。



**注意：** 透明紙やフィルムは、[イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[拡張精度キャリブレーション] - [拡張精度の調整] で、下記の手順 4 の拡張精度のキャリブレーションを再度行う必要があります。

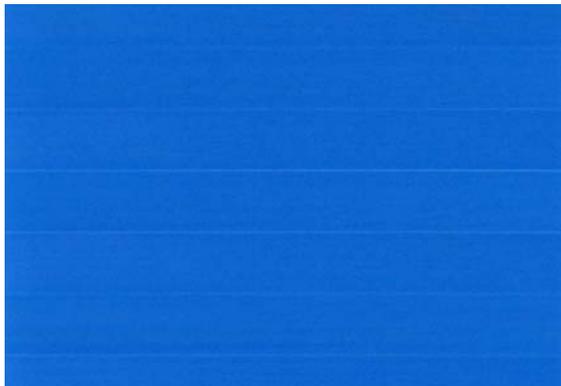
## 拡張精度のキャリブレーションを再度行う

1. フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[拡張精度キャリブレーション] - [拡張精度のキャリブレーション] を選択します。プリンタにより自動的に拡張精度のキャリブレーションが再度行われ、拡張精度のキャリブレーションイメージが印刷されます。
2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

 **注記：** 再キャリブレーションの処理には、約 3 分かかります。拡張精度のキャリブレーションイメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

満足できる印刷結果が得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。印刷品質に改善が見られる場合、手順 3 に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します ([148 ページの「デフォルトのキャリブレーションに戻す」](#)を参照)。

3. キャリブレーションを微調整したり、透明紙を使用している場合は、[イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[拡張精度キャリブレーション] - [拡張精度の調整] を選択します。
4. -100% ~ +100%の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。



暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。



5. フロントパネルの **OK** ボタンを押して値を保存します。
6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

## デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、拡張精度のキャリブレーションで行ったすべての補正が0に設定されます。デフォルトの拡張精度のキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、**[拡張精度キャリブレーション] - [拡張精度のリセット]** を選択します。
2. フロントパネルに作業が正常に終了したことが表示されるまで待ちます。

## 16 印刷品質に関するトラブルシューティング

- 一般的なヒント
- 印刷品質のトラブルシューティング ウィザード
- イメージに横線 (バンディング)
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 線画が段状またはギザギザに表示される
- 線画が二重または間違った色で印刷される
- 線が不連続になる
- 線がぼやけている
- 線の長さが不正確
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 用紙が平らになっていない
- 印刷が擦り切れる、または傷がつく
- 用紙にインクが残る
- 印刷部に触れると黒インクが擦れる
- オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない
- オブジェクトの端が予期したよりも暗い
- カット紙の端に横線が印刷される
- 縦線の色が異なる
- 印刷物に白色の点がある
- 色が正確に再現されない
- カラーの色あせ
- イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)
- イメージの一部が印刷されない
- 一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない
- PDF ファイルの一部やオブジェクトが印刷されない
- イメージ診断の印刷
- 問題が解決されない場合

## 一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、[130 ページの「用紙について」](#)を参照してください。
  - フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。これを確認するには、フロントパネルの **情報の表示** ボタン  を使用します。同時に、使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認してください。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。
- 
- △ **注意：** 誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。
- 
- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([49 ページの「印刷」](#)を参照)。印刷品質の低下が起りやすいのは、[印刷品質] のスライダを [速度] の端に移動させるか、またはカスタム (ユーザー定義) の印刷品質レベルを **[高速]** に設定した場合です。
  - 環境状況 (温度、湿度) が推奨する範囲内にあることを確認します。[191 ページの「動作環境の仕様」](#)を参照してください。
  - インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します。[125 ページの「インクカートリッジを保守する」](#)を参照してください。

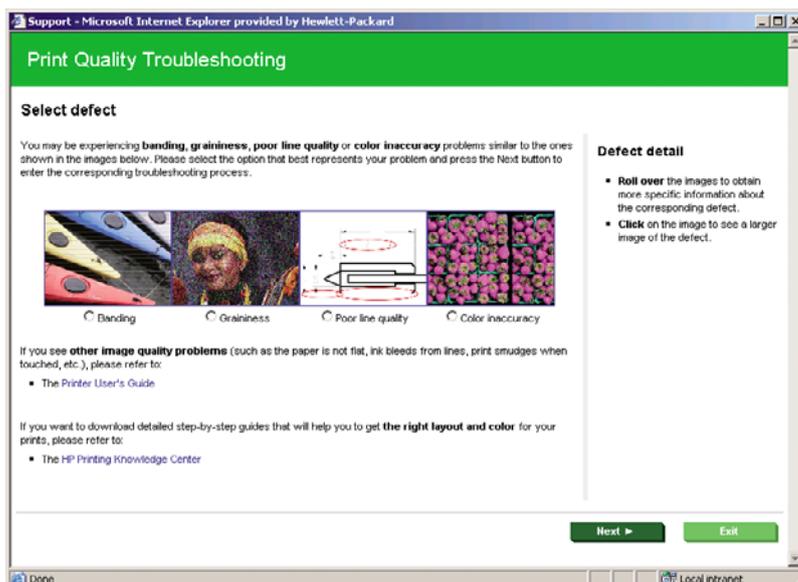
## 印刷品質のトラブルシューティング ウィザード

印刷品質のトラブルシューティング ウィザードは、以下の問題の解決に役立ちます。

- イメージに横線 (バンディング) が見られる
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 色が正確に再現されない

ウィザードを起動するには、以下の手順に従います。

- **HP Utility (Windows) から:** [サポート] タブに移動し、[印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **HP Utility (Mac OS) から:** [サポート] グループの [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログから:** [サービス] パネルに移動し、[デバイスのメンテナンス] を選択して、保守作業の一覧から [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **内蔵 Web サーバから:** [サポート] タブに移動し、[トラブルシューティング] を選択し、次に [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。



ウィザードを使用しない場合や、印刷品質に関する他の問題が発生している場合は、引き続きこの章をお読みください。

## イメージに横線 (バンディング)

以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合 (色は異なる場合があります) は、下の手順に従います。

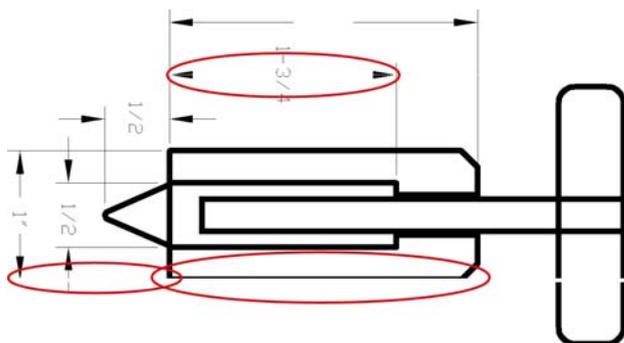


1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、**情報の表示** ボタン  を使用します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します (49 ページの「印刷」を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質] のスライダを [速度] に設定している場合は、[品質] に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

3. [イメージ診断の印刷] を印刷します。[163 ページの「イメージ診断の印刷」](#)を参照してください。
4. プリントヘッドが正しく機能している場合は、フロントパネルで **情報の表示** ボタン  を押して、拡張精度のキャリブレーション ステータスを確認します。ステータスが [デフォルト] の場合、拡張精度のキャリブレーションを実行します。[146 ページの「拡張精度のキャリブレーションを行う」](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない

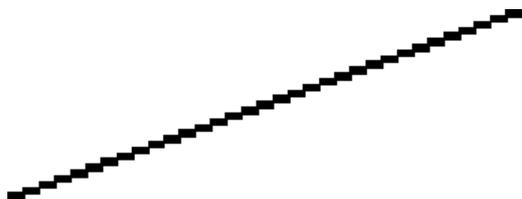


1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、**情報の表示** ボタン  を使用します。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([49 ページの「印刷」](#)を参照)。ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション (使用できる場合) を選択し、**[高精度]** オプションをオンにします。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. イメージの解像度が印刷解像度よりも高い場合、線品質が低下する場合があります。Windows で PCL または HP-GL/2 および HP RTL ドライバを使用している場合、**[アプリケーションの最大解像度]** オプションは、印刷設定ダイアログの **[詳細設定]** タブで、**[ドキュメントのオプション]**-**[プリンタの機能]** の下に表示されます。オプションを変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、[イメージ診断の印刷] を印刷します。[163 ページの「イメージ診断の印刷」](#)を参照してください。
5. 問題が解決しない場合は、フロントパネルで [インク] メニュー アイコン  を選択し、**[プリントヘッド情報]** でプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが [ペンディング] になっている場合、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。[171 ページの「プリントヘッドの軸合わせを行う」](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
6. フロントパネルで、**情報の表示** ボタン  を押して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが [デフォルト] になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[146 ページの「拡張精度のキャリブレーションを行う」](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## 線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時にイメージの線が段状になる場合、またはギザギザになる場合は、以下の手順に従ってください。

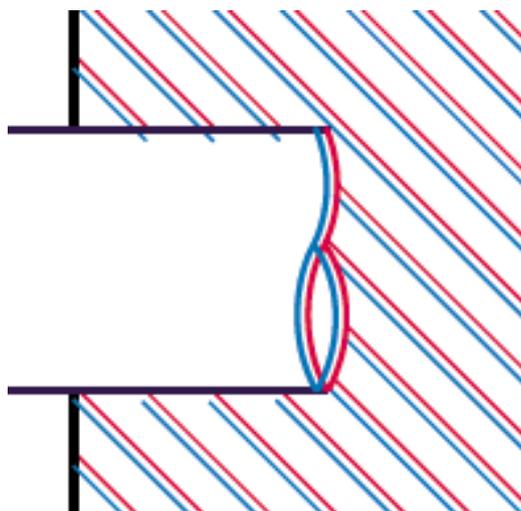


1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[49 ページの「印刷」](#)を参照してください。
3. ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション (使用できる場合) を選択し、**[高精細]** オプションをオンにします。

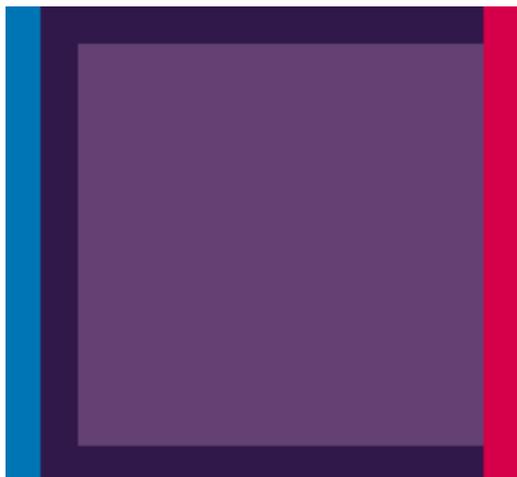
## 線画が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには、以下の手順を実行します。

1. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。[117 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[120 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。[171 ページの「プリントヘッドの軸合わせを行う」](#)を参照してください。

## 線が不連続になる

以下の図のように、線が不連続になる場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[49 ページの「印刷」](#)を参照してください。
2. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。[117 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[120 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照してください。
3. プリントヘッドの軸合わせを行います。[171 ページの「プリントヘッドの軸合わせを行う」](#)を参照してください。

## 線がぼやけている



湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明になる原因となります。以下の手順を試します。

1. 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。[191 ページの「動作環境の仕様」](#)を参照してください
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうかを確認します。フロントパネルで確認するには、[情報の表示](#)  ボタンを使用します。
3. HP 厚手コート紙または HP プラス スーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 取り付けた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類の例を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラス スーパー厚手マット紙のように記載されています。
5. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
6. プリントヘッドの軸合わせを行います。[171 ページの「プリントヘッドの軸合わせを行う」](#)を参照してください。

## 線の長さが不正確

印刷した線の長さを測定して、長さが正確でなかった場合は、次の方法で長さの正確さを向上できる場合があります。

1. HP マットフィルムに印刷します。この場合、プリンタで印刷する線の長さの精度を指定できます。[189 ページの「プリンタ機能の仕様」](#)を参照してください。  
ポリエステル フィルムは、大きさの精度が通常の用紙よりも約 10 倍ほど安定しています。ただし、HP マットフィルムより厚いフィルムや、薄いフィルムでは、線の長さの正確さが低下します。
2. **[印刷品質]** のスライダを **[品質]** に合わせます。
3. 室温を常に 10 ~ 30° C (50 ~ 86° F) に保ちます。
4. フィルムのロールを取り付け、5 分以上経ってから印刷を行います。
5. それでも満足いく結果が得られなかった場合は、拡張精度のキャリブレーションをやり直してください。[146 ページの「拡張精度のキャリブレーションを行う」](#)を参照してください。

## イメージ全体がぼやけているかざらついている



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、**情報の表示** ボタン  を使用します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください ([49 ページの「印刷」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質] のスライダを **[速度]** に設定している場合は、**[品質]** に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. 問題が解決しない場合は、フロントパネルで [インク] メニュー アイコン  を選択し、**[プリントヘッド情報]** でプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが [ペンディング] になっている場合、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。[171 ページの「プリントヘッドの軸合わせを行う」](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
5. フロントパネルで、**情報の表示** ボタン  を押して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが [デフォルト] になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[146 ページの「拡張精度のキャリブレーションを行う」](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## 用紙が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、**情報の表示** ボタン  を使用します。
2. HP 厚手コート紙または HP プラス スーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
3. 取り付けた用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類のを挙げます。用紙は薄い方から厚い順に、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラス スーパー厚手マット紙のように記載されています。

## 印刷が擦り切れる、または傷がつく

黒の顔料は、指やペンなどで触れると、擦り切れたり傷がついたりします。これは特に、コート紙の場合にみられます。

使用するインク量や印刷時の環境状況により、光沢紙はバスケットやその他の印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。

擦り切れや傷のリスクを減らすには、以下のことに従います。

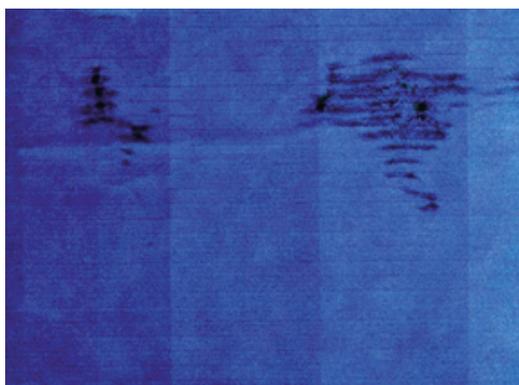
- 印刷物を慎重に取り扱ってください。
- 印刷物が互いに貼り付かないようにしてください。
- 印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出し、バスケットに入らないようにしてください。また、カット紙を 1 枚バスケットに入れて、印刷直後の用紙がバスケットに直接触れないようにしてください。

## 用紙にインクが残る

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

### コート紙の表面に水平方向の汚れがある

普通紙およびコート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。この問題は、通常、カットされた紙でのみ発生します (ロール紙では発生しません)。



この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。**キャンセル** ボタンを押して、コンピュータ アプリケーションのジョブをキャンセルします。インクが付着した用紙によってプリントヘッドが破損することがあります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、**情報の表示** ボタン  を使用します。
2. 推奨する用紙の種類 ([130 ページの「用紙について」](#)を参照) および正しい印刷設定を使用します。
3. カット紙を使用している場合、用紙を 90 度回転させます。用紙の繊維方向が品質に影響します。
4. HP 厚手コート紙または HP プラス スーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
5. 取り付けした用紙よりも若干薄い用紙の種類を選択してください。それによって使用されるインクの量が減ります。次に用紙の種類の例を挙げます。用紙は薄い方から厚い順に、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラス スーパー厚手マット紙のように記載されています。
6. ソフトウェア アプリケーションを使用してイメージをページの中央に移動させ、マージン設定を広くしてみてください。

## 用紙の裏にインクが付着する

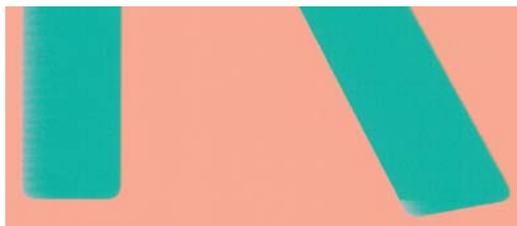
これは、特に標準ではない用紙サイズでフチ無し印刷を大量に行った後に発生する可能性があります。プラテンに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。

柔らかい布でプラテンのクリーニングを行います。リブの間の発泡体に触れずにそれぞれのリブのクリーニングを行います。

## 印刷部に触れると黒インクが擦れる

問題の原因として、光沢紙にマットブラック インクで印刷したことが考えられます。このプリンタでは、用紙にマットブラック インクが乗らないことがわかると、マットブラック インクは使用されません。マットブラック インクを使用しないようにするには、用紙の種類で (フォト用紙カテゴリにある) 光沢フォト用紙を選択します。

## オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない



オブジェクトや線画の端がぼやけている、濃度が明るい、および **[印刷品質]** のスライダをドライバのダイアログで既に **[品質]** に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを **[標準]** に設定してみてください。 [49 ページの「印刷」](#) を参照してください。

## オブジェクトの端が予期したよりも暗い



オブジェクトの端が予期したよりも暗く、**[印刷品質]** のスライダをドライバのダイアログで既に **[品質]** に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを **[標準]** に設定してみてください。 [49 ページの「印刷」](#) を参照してください。

## カット紙の端に横線が印刷される

用紙の端から約 30mm 以内の、印刷の最後の部分にのみ不具合が発生することがあります。極細の横線が印刷物に少し見られる場合があります。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. **[イメージ診断の印刷]** を印刷します。 [163 ページの「イメージ診断の印刷」](#) を参照してください。
2. ロール紙で印刷します。
3. イメージの周囲のマージンを大きくします。

## 縦線の色が異なる

印刷の周囲に異なる色の縦線が帯状に表示される場合は、以下の手順に従います。

1. HP 厚手コート紙や HP スーパー厚手コート紙など、推奨する用紙の種類から厚手の用紙を選択して使用します。 [130 ページの「用紙について」](#) を参照してください。
2. 印刷品質のレベルを上げて使用します ([49 ページの「印刷」](#) を参照)。たとえば、**[印刷品質]** のスライダを **[速度]** に設定している場合は、**[品質]** に設定します。

## 印刷物に白色の点がある

印刷に白色の点が見られる場合があります。これはおそらく、用紙の繊維やほこりによるものか、用紙のコーティングが落ちやすいことが原因です。この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 印刷前にブラシを使用して用紙を手動でクリーニングし、繊維や紙粉を取り除きます。
2. プリンタのカバーは常に閉じておきます。
3. ロール紙やカット紙は、袋または箱に保存して保護します。

## 色が正確に再現されない



印刷物の色が予期したものと一致しない場合、以下の方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、[情報の表示](#) ボタン  を使用します。同時に、カラー キャリブレーションのステータスを確認してください。ステータスが [ペンディング] または [失効] の場合、カラー キャリブレーションを実行する必要があります。[66 ページの「カラー キャリブレーション」](#) を参照してください。変更を加えて問題が解決した場合、ジョブを再印刷する必要があります。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください ([49 ページの「印刷」](#) を参照)。[\[速度\]](#) または [\[高速\]](#) オプションを選択した場合、最も正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. アプリケーション カラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラー プロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、[65 ページの「カラーマネジメント」](#) を参照してください。
5. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
6. [\[イメージ診断の印刷\]](#) を印刷します。[163 ページの「イメージ診断の印刷」](#) を参照してください。
7. 必要なカラーを生成するカラー調整オプションを使用します。[69 ページの「カラー調整オプション」](#) を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

## ページレイアウトアプリケーションで EPS または PDF イメージを使用した場合のカラー精度

Adobe InDesign や QuarkXPress などのページレイアウトアプリケーションは EPS、PDF、またはグレースケールファイルのカラーマネジメントをサポートしません。

このようなファイルを使用する必要がある場合は、Adobe InDesign または QuarkXPress で使用すると同じカラースペースに、EPS、PDF、またはグレースケールイメージがすでにあることを確認します。たとえば、最終的な目的がジョブを SWOP 規格に準拠した印刷機で印刷することである場合、ジョブの作成時にイメージを SWOP に変換します。

## カラーの色あせ

速乾性フォト用紙に印刷した場合は、短期間で色あせします。2週間以上用紙を保存する場合には、ラミネート加工しておけば色あせを防ぐことができます。

膨張しやすいコート紙に印刷した場合は、色あせしにくくなります。ただし、用紙の種類にかかわらず、ラミネート加工しておけば色あせを防ぐことができます(色あせしやすさはラミネートの種類によって異なります)。詳しくは、ラミネートの業者にお問い合わせください。

## イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、**キャンセル** ボタンを押した可能性があります。その場合は、データの転送が終了しているため、ページを再度印刷する必要があります。
- **[I/O タイムアウト]** 設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。この場合、フロントパネルで、**[I/O タイムアウト]** 設定を長くして、データを再度送信して印刷します。**[接続]** メニュー  から、**[詳細設定] - [I/O タイムアウトの選択]** の順に選択します。
- コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある可能性があります。USB またはネットワーク ケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページサイズ (長尺印刷など) に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

## イメージの一部が印刷されない

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューすることにより、この問題を印刷前に確認することができます ([56 ページの「印刷をプレビューする」](#)を参照)。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。  
印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン
- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域 (「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます) を確認します。たとえば、ソフトウェアアプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用するか、フチ無し印刷を検討してください ([53 ページの「マージンオプションを選択する」](#)を参照)。

- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、**[内容をマージンでクリップ]**を使用することによって正常に印刷できることがあります (53 ページの「**マージンオプションを選択する**」を参照)。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- 用紙サイズの幅が足りない場合、用紙の向きを縦から横に変更するように要求されることがあります。
- 必要に応じて、ソフトウェア アプリケーションでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にぴったり収まるようにします。

イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAW などのアプリケーションは、16 ビットの内部座標系を使用するため、32,768 ピクセルを超えるイメージを処理できません。

**注記：** ドライバで [高品質] または [品質] を選択した場合、32,768 ピクセルの長さの画像は 1.39m となり、[高速]、[標準]、または [速度] を選択した場合、2.78m となります。

これらのアプリケーションから、これより大きいイメージを印刷すると、イメージの下部がクリップされる可能性があります。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。

- PostScript プリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- Windows の HP-GL/2 および HP RTL ドライバのダイアログには、**[アプリケーションの最大解像度]** というオプションがあり、このような状況で正しく印刷することができます。デフォルトの設定は **[自動]** で、通常は変更する必要はありません。このオプションは、**[詳細設定]** タブで **[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** の下に表示されます。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。

## 一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない

高品質で大判の印刷ジョブを印刷するには大量のデータが必要になるため、特定のワークフローでは、一部のオブジェクトが出力されなくなる問題が発生することがあります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。

- PostScript プリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- ドライバまたはフロントパネルで、希望する最終ページ サイズに応じてより小さいページ サイズを選択します。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。
- お使いのアプリケーションでビットマップ イメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げるために、より低い印刷品質を選択します。

**注記：** Mac OS 上で作業している場合は、上記のどのオプションも使用できません。

上記のオプションはトラブルシューティングのために提案されているものであり、最終的な出力品質や、プリント ジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、上記の設定でも問題を解決できなかった場合は、オプションを無効にしてください。

## PDF ファイルの一部やオブジェクトが印刷されない

Adobe Acrobat または Adobe Reader の古いバージョンでは、HP-GL/2 および HP RTL ドライバを使用して高解像度で印刷する場合、大きな PDF ファイルの一部が印刷されなかったり、一部のオブジェクトが印刷されないことがあります。このような問題を解決するために、Adobe Acrobat または Adobe Reader ソフトウェアを最新バージョンにアップグレードします。これらの問題は、バージョン 7 以降では解決されています。

## イメージ診断の印刷

イメージ診断の印刷では、印刷の信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起しているプリントヘッドがないかどうかを確認できます。

イメージ診断の印刷を実行するには、以下の手順に従います。

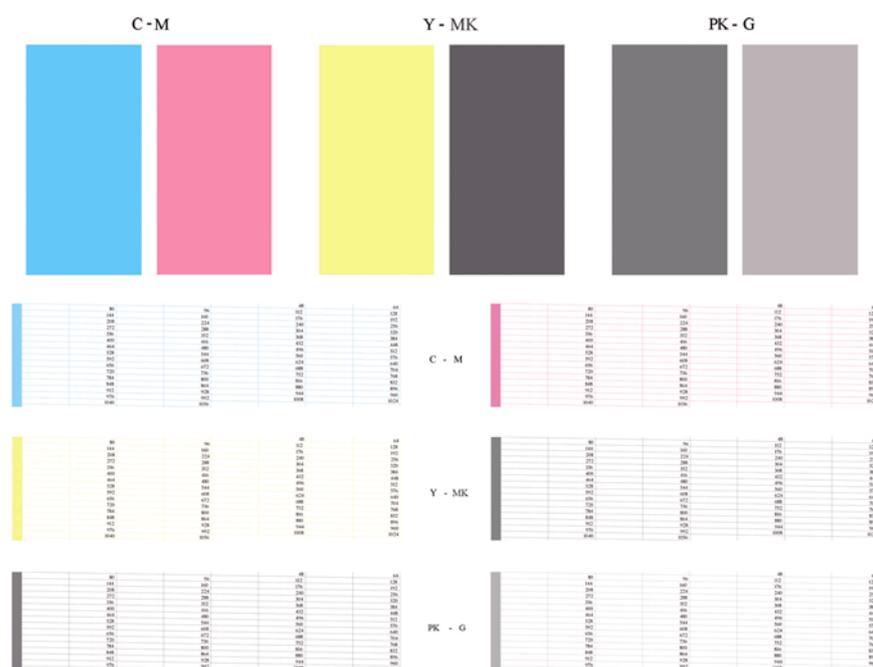
1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. フロントパネルの **情報の表示** ボタン  を使用して、選択した用紙の種類がプリンタに取り付けられている用紙と同じかどうかを確認します。
3. プリンタのフロントパネルで、[イメージ品質保守] アイコン  を選択し、[イメージ診断の印刷] を選択します。

[イメージ診断の印刷] の印刷には 2 分ほどかかります。

印刷は 2 つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート 1 (上部) は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート 2 (下部) は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート 1 を補完するものであり、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数をより明確に検出することを目的としています。

印刷物を注意して見てください。カラーの名前が、長方形の上および破線のパターンの中央に表示されます。



最初に印刷の上部 (パート 1) を見てください。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

次に、印刷の下部 (パート 2) を見てください。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

パート 1 に水平の線が表示され、パート 2 の破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート 2 の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

これは、グレーが良い状態で印刷された例です。

G



同じライトグレーが悪い状態で印刷された例です。

G



## 解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします (168 ページの「[プリントヘッドをクリーニングする](#)」を参照)。次に、[イメージ診断の印刷] を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから [イメージ診断の印刷] を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。

3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください (168 ページの「[プリントヘッドをクリーニングする](#)」を参照)。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。
4. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドのドロップ検出器をクリーニングしてみてください。通常、この操作が必要な場合はプリンタから表示されますが、プリンタから表示されていない場合でも良い結果を得られることがあります。168 ページの「[プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング](#)」を参照してください。
5. それでも問題が解決しない場合は、問題が解消しないプリントヘッドを交換するか (112 ページの「[インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い](#)」を参照)、HP サポートにお問い合わせください (187 ページの「[HP サポートへのお問い合わせ](#)」を参照)。

## 問題が解決されない場合

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 印刷品質オプションのレベルを上げます。[49 ページの「印刷」](#)を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP 製以外のドライバをご使用の場合、ドライバベンダーにお問い合わせの上、問題についてご確認ください。可能であれば、適切な HP ドライバを試します。最新の HP ドライバは <http://www.hp.com/go/T770/drivers/> または <http://www.hp.com/go/T1200/drivers/> からダウンロードできます。
- HP 製以外の RIP を使用している場合、RIP の設定が正しくない可能性があります。RIP に収録されているマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。[126 ページの「ファームウェアをアップデートする」](#)を参照してください
- ソフトウェア アプリケーションの設定が正しいかどうかを確認します。

# 17 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

- インクカートリッジを取り付けられない
- インクカートリッジのステータス メッセージ
- プリントヘッドを取り付けられない
- フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される
- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング
- プリントヘッドの軸合わせを行う
- プリントヘッドのステータス メッセージ

## インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、カートリッジのラベルを示す文字や文字列の右側が上になっていて読み取れるかどうかを確認します。

△ **注意：** インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

## インクカートリッジのステータス メッセージ

表示されるインクカートリッジのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **完了です:** カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です:** カートリッジが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **もうすぐなくなります:** インクの残量が少なくなっています。
- **残量が僅かです:** インクの残量がきわめて少なくなっています。
- **インクがありません:** カートリッジが空です。
- **再度取付けて下さい:** カートリッジをいったん取り外して、取り付け直してください。
- **交換して下さい:** 新しいカートリッジと交換することをお勧めします。
- **変更済み:** インクの補充などカートリッジのステータスに予期しないことが起こりました。
- **使用期限切れ:** カートリッジの使用期限が切れました。

## プリントヘッドを取り付けられない

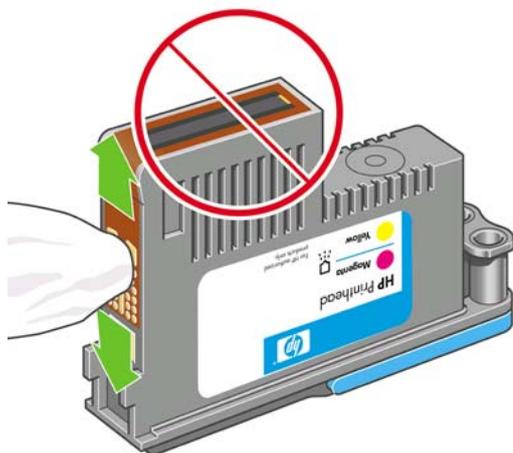
1. 正しいプリントヘッド (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. プリントヘッドから2つのオレンジ色の保護キャップを取り外したかどうかを確認します。
3. プリントヘッドのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. プリントヘッドの向きが正しいかどうかを (他のプリントヘッドと比較して) 確認します。
5. プリントヘッドのカバーが正しく閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。  
[120 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照してください。

## フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. フロントパネルで、電源をオフにしてからもう一度オンにします。
2. フロントパネルを確認して [印刷可能です] というメッセージが表示されている場合は、プリンタが印刷できる状態です。問題が解決しない場合は、次の手順を続行します。
3. プリントヘッドを取り外します ([117 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)を参照)。

4. プリントヘッドの裏面にある電極部分を、研磨剤が入っていない布でクリーニングします。付着物の除去に水分が必要な場合、刺激が少ない消毒用アルコールを注意しながら使用します。水は使用しないでください。

△ **注意：** デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの底面のノズルは、特にアルコールで触れないようにしてください。



5. プリントヘッドを再度取付けます (120 ページの「[プリントヘッドを取り付ける](#)」を参照)。
6. フロントパネルのメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

## プリントヘッドをクリーニングする

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的に自動クリーニングが実行されます。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止し、カラー精度が保たれます。まだ自動クリーニングを行っていない場合は、次に進む前に[163 ページの「イメージ診断の印刷」](#)を参照してください。

プリントヘッドのクリーニングを行うには、フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択し、[プリントヘッドのクリーニング] を選択します。イメージ品質診断の印刷プロセスを行うと、問題のあるカラーが判断できます。問題のあるカラーを含むプリントヘッドを 2 個 1 組選択します。クリーニングするカラーが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングするよう選択することもできます。すべてのプリントヘッドのクリーニングには、9 分ほどかかります。1 組のプリントヘッドのクリーニングには、6 分ほどかかります。

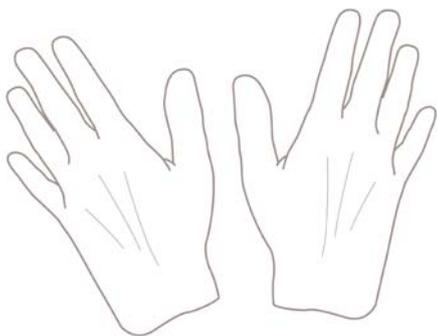
📖 **注記：** すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1 組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

## プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニング

プリントヘッド ドロップ検出器はセンサーとして機能し、印刷できないプリントヘッドのノズルが検出された場合、良好な印刷結果が得られるプリントヘッドと交換します。繊維、頭髮、紙くずなどがあると、センサーが遮られて印刷品質に悪影響を与えます。

フロントパネルにクリーニング処理が必要であるとの警告メッセージが表示された場合、プリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングすることをお勧めします。すぐにプリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングしない場合、プリンタは通常通り作動しますが、フロントパネルには警告が表示され続けます。

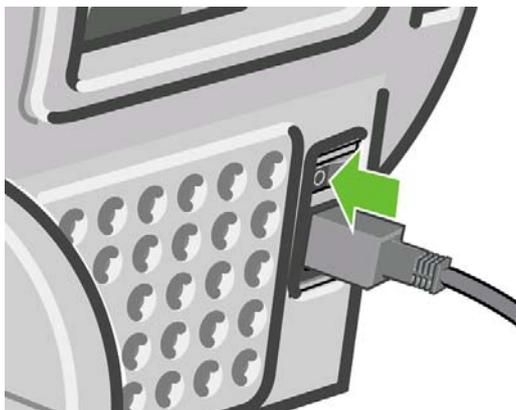
△ **注意：** 手にインクがつかないように手袋をはめてください。



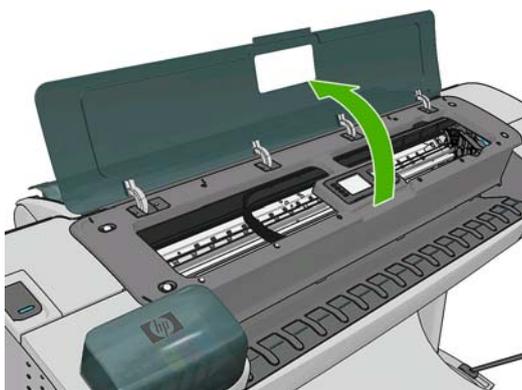
1. フロントパネルでプリンタの電源を切ります。



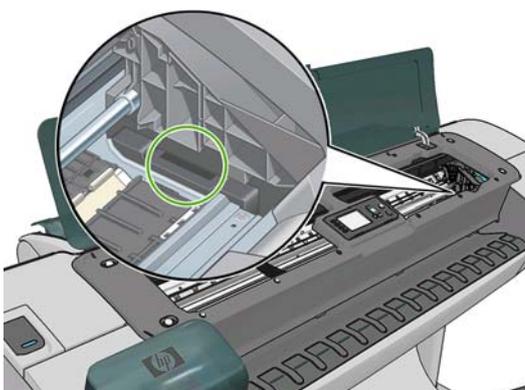
2. 感電を防ぐため、プリンタのスイッチをオフにしてから電源コードを抜いてください。



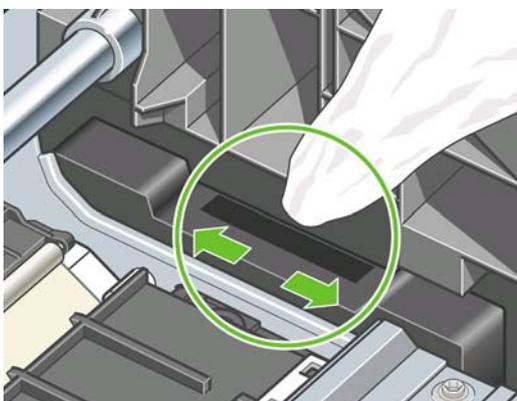
3. ウィンドウを開きます。



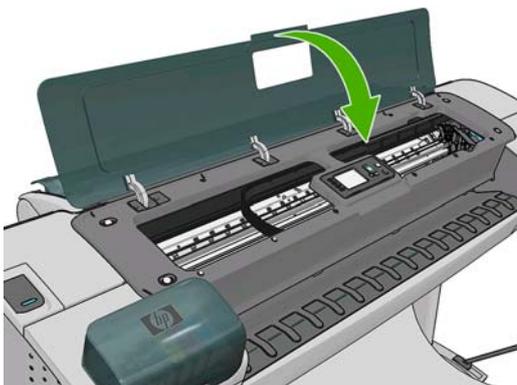
4. 格納されているプリントヘッド キャリッジの横にあるプリントヘッド ドロップ検出器を確認します。



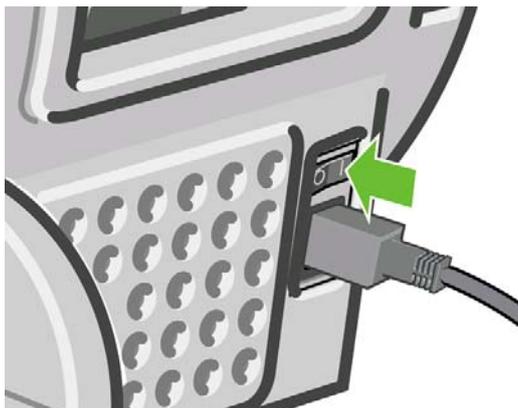
5. プrintヘッド ドロップ検出器に付着しているゴミを取り除きます。
6. 糸くずの出ない布を使用してドロップ検出器の表面を拭き、目に見えないゴミを取り除きます。



7. ウィンドウを閉じます。



8. ケーブルを差し込み、プリンタの電源を入れます。



9. フロントパネルでプリンタの電源を入れます。



## プリントヘッドの軸合わせを行う

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラー グラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

紙詰まりが発生した場合、またはカラーが正確に再現されない問題が発生した場合は [\(65 ページの「カラーマネジメント」\)](#) を参照)、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。

 **注記：** 紙詰まりが発生した場合、プリントヘッドを取り付け直し、[イメージ品質の保守] アイコン  でもう一度軸合わせ処理を行うことをお勧めします。

 **注意：** プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

## プリントヘッドを再度取り付ける手順

- 軸合わせ処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの **キャンセル** ボタンを押してください。

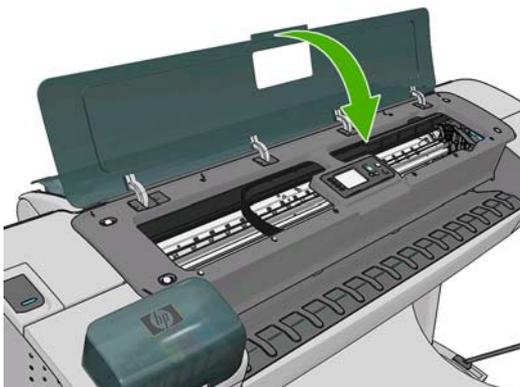
 **注意：** 軸合わせ処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。[イメージ品質の保守] メニューの手順で軸合わせをやり直します。

- 使用する用紙を取り付けます ([31 ページの「用紙の取り扱い」](#) を参照)。ロール紙またはカット紙を使用することもできますが、A3 横置きより大きいサイズにする必要があります。

 **注意：** プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

- すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。[117 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#) および [120 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#) を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ処理が開始されます。

4. ウィンドウが閉じられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。



5. この処理には6分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

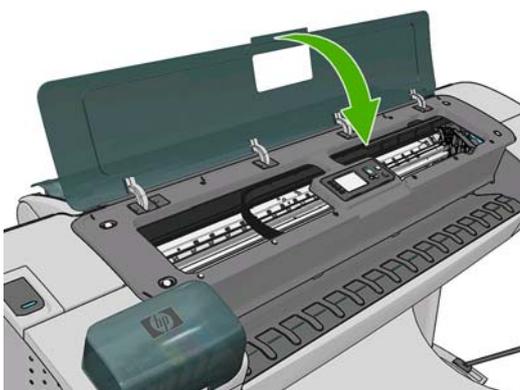
 **注記：** プリンタによりキャリブレーションイメージが印刷されます。イメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

## [イメージ品質の保守] メニューの手順

1. 使用する用紙を取り付けます (31 ページの「用紙の取り扱い」を参照)。ロール紙またはカット紙を使用することもできますが、A3 横置きより大きいサイズ (297 x 420 mm) にする必要があります。

△ **注意：** プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

2. フロントパネルで [イメージ品質の保守] アイコン  を選択してから、[プリントヘッドの軸合わせ] を選択します。プリンタによって、軸合わせの実行に必要な十分な用紙が取り付けられているかどうかを確認されます。
3. 十分な用紙が取り付けられている場合、プリンタによって軸合わせが実行され、軸合わせのパターンが印刷されます。ウィンドウが閉じられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。



4. この処理には5分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

## 軸合わせ中のスキャン エラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合、スキャンの問題に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行わ

れていないため、印刷品質を高くするには、印刷前に軸合わせを繰り返す必要があります。問題の原因として、以下のことが考えられます。

- 使用する用紙が適切ではない。適切な用紙で軸合わせを繰り返します。
- プリントヘッドの状態に関する問題。プリントヘッドのクリーニングを行います ([168 ページの「プリントヘッドをクリーニングする」](#)を参照)。
- ウィンドウが開いた状態で軸合わせが行われた。ウィンドウを閉じて軸合わせを繰り返します。

適切な用紙を使用し、プリントヘッドのクリーニングを行い、ウィンドウを閉じておいても問題が解消されない場合は、スキヤニングシステムに問題がある可能性があるため、修復が必要です。プリントヘッドがきれいであるにもかかわらず動作しない場合は、交換が必要です。

## プリントヘッドのステータス メッセージ

表示されるプリントヘッドのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **完了です:** プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です:** プリントヘッドが全く取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **個別テストが必要:** プリントヘッドを個別にテストして、問題のあるプリントヘッドを確認します。すべてのプリントヘッドをいったん取り外してから1つずつ取り付け直します。1つ取り付ける度に、ラッチとキャリッジ カバーを閉じます。問題のあるプリントヘッドがフロントパネルで示され、取り付け直しまたは交換のメッセージが表示されます。
- **再度取付けて下さい:** プリントヘッドをいったん取り外して、取り付け直してください。メッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングします ([167 ページの「フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される」](#)を参照)。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換します。([117 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[120 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照)。
- **交換して下さい:** プリントヘッドに問題があります。動作するプリントヘッドと交換します ([117 ページの「プリントヘッドを取り外す」](#)および[120 ページの「プリントヘッドを取り付ける」](#)を参照)。
- **交換が不完全:** プリントヘッドの交換処理を正常に完了できませんでした。交換処理を再度行って正常に完了させてください (プリントヘッドを交換する必要はありません)。
- **取り外して下さい:** プリントヘッドが印刷用途に適していません。

## 18 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング

- [プリンタが起動しない](#)
- [プリンタで印刷されない](#)
- [プリンタの印刷が遅い](#)
- [コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある](#)
- [HP Utility にアクセスできない](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)
- [ファイルシステムの自動確認](#)
- [AutoCAD 2000 でメモリアロケーションエラーが発生する](#)
- [Microsoft Visio 2003 から印刷しても出力されない](#)
- [QuarkXPress から印刷する際に使用できない機能](#)
- [プリンタ アラート](#)

## プリンタが起動しない

プリンタが起動しない場合 (フロントパネルに何も表示されないか、診断 LED がすべて消灯)、次の方法でファームウェアを交換することをお勧めします。

1. Knowledge Center にアクセスして ([185 ページの「Knowledge Center」](#)を参照)、ファームウェアをダウンロードします。
2. ファームウェアを USB フラッシュ ドライブに保存します。可能であれば、USB フラッシュ ドライブは空にし、FAT ファイル システムでフォーマットしてください。
3. プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。USB フラッシュ ドライブをプリンタの USB ポートに接続し、プリンタの電源をオンにします。
4. フロントパネルに指示が表示されたら、OK ボタンを押します。
5. プリンタがファームウェア ファイルを読み取るのに約 1 分かかり、USB フラッシュ ドライブを取り外すよう求めるメッセージが表示されます。
6. プリンタに新しいファームウェアが自動的にインストールされ、プリンタが再起動します。

## プリンタで印刷されない

すべてが正常な状態であっても (用紙およびインクを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、電源コードを抜き、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。
- ネスティングがオンになっているため (T1200 シリーズのみ)、適切なネスティングを計算する前に、指定のネスティング待ち時間が取られます。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- グラフィック言語の設定が間違っている場合は、[30 ページの「グラフィック言語の設定を変更する」](#)を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。『[セットアップ手順](#)』を参照してください。
- カット紙に印刷する場合は、プリンタ ドライバで手差しを給紙方法として指定する必要があります。
- 用紙情報やアカウント情報 ([107 ページの「ジョブのステータス メッセージ \(T770 HD および T1200 シリーズのみ\)」](#)を参照) が指定されるまでジョブが保留されている可能性があります (T1200 シリーズのみ)。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります (T1200 シリーズのみ)。プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。この場合、プレビューは画面に表示されるため、**[印刷]** ボタンをクリックして印刷を開始する必要があります。
- Mac OS 環境で USB 接続を使用している場合、データ エンコードの変更が必要な場合があります (PostScript プリンタのみ)。[セットアップ] アイコン  を選択し、次に **[印刷設定]** -

[PostScript の設定] - [エンコードの選択] - [ASCII] を選択します。その後、ASCII データを送信するようにアプリケーションを設定します。

## プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- 印刷品質を **[高品質]** または **[高精細]** に設定している場合。[高品質] および [高精細] での印刷は時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。用紙の種類によっては、より長い印刷時間が必要な場合があります。たとえば、フォト用紙およびコート紙では、パス間の乾燥時間が長くなる場合があります。プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、[42 ページの「用紙に関する情報を表示する」](#)を参照してください。
- プリンタがネットワーク経由で接続されている場合、ネットワーク上のすべてのコンポーネント (ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル) が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- プリンタが USB 経由で接続されている場合、使用されている USB ホスト コントローラと USB ハブ (存在する場合) が USB 2.0 であることと、USB ケーブルが USB 2.0 対応であることを確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を **[長い]** に設定している場合。乾燥時間を **[最適]** に変更してみてください。

## コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに「データを受信していません」というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとする、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている (アイドル状態)。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する (線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の手順に従います。

- アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します ([49 ページの「印刷」](#)を参照)。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタがネットワークに接続されている場合は、USB ケーブルでプリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェース ケーブルを別のものに変えて試してみます。

- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します (30 ページの「[グラフィック言語の設定を変更する](#)」を参照)。
- プリンタが USB で接続されている場合、USB ケーブルをいったん取り外してから再びコンピュータに取り付けます。さらに、コンピュータの別の USB ポートを使用してみてください。

## HP Utility にアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず[27 ページの「HP Utility にアクセスする」](#)をお読みください。

1. フロントパネルで [接続] アイコン  を選択します。
2. [詳細設定] - [Web サービス] - [HP Utility ソフトウェア] - [有効] の順に選択します。
3. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[接続] アイコン  をもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. [情報の表示] を選択します。

それでも接続できない場合は、プリンタの電源を切り、フロントパネルの電源 ボタンで電源を入れ直してください。

## 内蔵 Web サーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず[27 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)をお読みください。

 **注記：** USB ケーブルでプリンタに直接接続している場合は、HP Utility を使用してください。

1. フロントパネルで [接続] アイコン  を選択します。
2. [詳細設定] - [内蔵 Web サーバ] - [内蔵 Web サーバを使用] - [オン] の順に選択します。
3. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻り、[接続] アイコン  をもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. [情報の表示] を選択します。
6. [IP 有効] が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、別の接続を選択する必要があります。

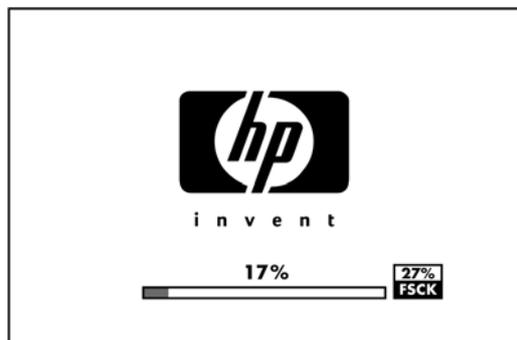
プロキシ サーバを使用している場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、[ツール] - [インターネット オプション] - [接続] - [LAN の設定] をクリックし、[ローカル アドレスにはプロキシ サーバを使用しない] ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、[詳細設定] ボタンをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] の一覧に追加します。
- Mac OS の Safari を使用している場合は、[Safari] - [環境設定] - [詳細] をクリックし、[プロキシ:設定を変更] ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

それでも接続できない場合は、プリンタの電源を切り、フロントパネルの **電源** ボタンで電源を入れ直してください。

## ファイルシステムの自動確認

プリンタの電源を入れると、フロントパネルに以下のような表示が現れることがあります。



これは、ファイルシステムの確認が行われているところです。完了するまでに最大 40 分かかることがあります。完了するまでお待ちください。

- △ **注意：** ファイルシステムの確認が完了する前にプリンタの電源を切ると、ファイルシステムに重大な損傷が発生し、ハードディスクが使用できなくなることがあります。いずれにせよ、再びプリンタの電源を入れると、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

ファイルシステムの確認は、ハードディスクのファイルシステムの完全性を維持するため、90 日ごとに実行されるようにスケジュールされています。

- ☞ **注記：** プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約 3 分かかります。しかし、プリンタが長期間使用されておらず、プリントヘッドの準備にさらに時間がかかるなど、状況によっては最大で 40 分かかることがあります。

## AutoCAD 2000 でメモリアロケーションエラーが発生する

プリンタ ドライバのインストール後、AutoCAD 2000 から最初に印刷しようとするとき、メモリアロケーションエラーを示すメッセージが表示され、イメージが印刷されない場合があります。

この問題の原因は、AutoCAD 2000 です。この問題を解決するには、Plotting アップデート パッチ ([plotupdate.exe]) を、Autodesk の Web サイト (<http://www.autodesk.com/>) からダウンロードします。

このパッチは、AutoCAD 2000 での印刷に関してその他の問題がある場合に、解決に役立つ可能性があります。

## Microsoft Visio 2003 から印刷しても出力されない

Microsoft Visio 2003 から大きなイメージ (長さ 3.27m 以上) を印刷する場合の問題についての詳細は、Microsoft のオンライン サポート技術情報 (-) を参照してください。 <http://support.microsoft.com/search/>

これらの問題を解消するには、Visio でイメージのサイズを 3.27m 以下に縮小し、Windows ドライバの **[機能]** タブの **[サイズ変更オプション]** を使用して描画を拡大します。アプリケーションでの縮小率とドライバでの拡大率が一致する場合、結果は設定どおりになります。

## QuarkXPress から印刷する際に使用できない機能

QuarkXPress から印刷する場合、以下のドライバ機能は使用できません。

- 印刷プレビュー
- 回転
- サイズ変更
- Microsoft Office の機能または用紙節約オプション
- 後ろから前の順序で印刷

HP-GL/2 および HP RTL ドライバを使用している場合、以下の機能は使用できません。

- 印刷プレビュー
- 後ろから前の順序で印刷

同じ結果を得るには、QuarkXPress に用意されている同等の機能を使用します。

## プリンタ アラート

このプリンタは、次の 2 種類のアラートを発信します。

- **エラー:** 主に、プリンタによる印刷ができないことを警告します。ただしドライバでは、プリンタで印刷が可能な場合でも、イメージの途切れなど、印刷結果を損なう状態についても警告します。
- **警告:** キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなったなど、要注意の状態である場合に警告します。

プリンタのシステム内には、4 つの異なる警告装置があります。

- **フロントパネル ディスプレイ:** フロントパネルには、関連性が最も高い警告のみが表示されます。通常、確認のために OK ボタンを押す必要がありますが、警告の場合は時間が経過すると表示されなくなります。プリンタがアイドル状態になる場合や、より重大な警告がない場合は、「カートリッジのインク残量が少なくなっています」など、常時表示される警告が再表示されます。

💡 **ヒント:** フロントパネルの画面から、用紙の不一致のアラートを設定することができます (21 ページの「[用紙の適合性のオプション \(T1200 シリーズのみ\)](#)」を参照)。

- **内蔵 Web サーバ:** 内蔵 Web サーバのウィンドウの右上隅には、プリンタのステータスが表示されます。プリンタ内に警告がある場合、警告内容がステータスに表示されます。
- **ドライバ:** ドライバからアラートが表示されます。最終出力で問題を発生させる可能性のあるジョブ設定について警告します。プリンタで印刷の準備ができていない場合は、警告が表示されません。
- **HP Utility:** アラートを表示するには、**[概要]** タブに移動し、右側の **[注意すべき項目]** リストを確認します。

デフォルトでは、印刷中に問題が発生した場合のみアラートが表示されます。たとえば、カートリッジの残りが少なくなった、インクがなくなった、プリンタの用紙がなくなったなどの場合です。アラートが有効になっている状態で印刷を妨げる問題が発生すると、ポップアップ ウィンドウが表示され、プリンタで印刷できない理由が説明されます。必要な結果を得るには、指示に従って操作します。

 **注記：** 環境によっては、双方向通信に対応していない場合があります。たとえば、Windows コンピュータが USB でプリンタに接続されている場合などです。そのような場合は、ジョブを実行したユーザにアラートが到着しません。

# 19 フロントパネル エラー メッセージ

フロントパネルの画面に、以下のメッセージのいずれかが表示される場合があります。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってください。

ここに示されていないエラー メッセージが表示され、適切な対応が不明な場合は、HP サポートにお問い合わせください。[187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#)を参照してください。

表 19-1 テキストメッセージ

メッセージ	推奨
[カラー] カートリッジの使用期限が切れています	カートリッジを交換してください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] カートリッジがありません	該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] カートリッジがインク切れです	カートリッジを交換してください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プrintヘッド #[n] エラー: 取り付けられています	該当するプリントヘッドを取り付けてください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プrintヘッド #[n] エラー: 取り外して下さい	間違ったプリントヘッドを取り外し、該当する種類 (カラーおよび番号) の新しいプリントヘッドを取り付けてください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プrintヘッド #[n] エラー: 交換して下さい	機能していないプリントヘッドを取り外し、新しいプリントヘッドを取り付けてください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] プrintヘッド #[n] エラー: 取り付け直して下さい	プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。 <a href="#">167 ページの「フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される」</a> を参照してください。
[カラー] プrintヘッド #[n] は保証期間切れです	試用期間の長さまたはインク消費量のいずれかが原因で、プリントヘッドの保証期間が切れました。
[カラー] プrintヘッド #[n] での保証に関する警告です	間違った種類のインクを使用したことにより、プリントヘッドの保証が無効になっている可能性があります。
IO エラー	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
IO/警告	再試行してください。それでも問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。

表 19-1 テキストメッセージ (続き)

メッセージ	推奨
拡張精度キャリブレーションの保留	拡張精度キャリブレーションを実行してください。 <a href="#">146 ページの「拡張精度のキャリブレーションを行う」</a> を参照してください。
拡張精度印刷キャリブレーションには用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
拡張精度スキャンキャリブレーションには用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
PDL エラー: インク切れ	プリントヘッドをクリーニングします。 <a href="#">168 ページの「プリントヘッドをクリーニングする」</a> を参照してください。
PDL エラー: ジョブがクリップされました	イメージが用紙またはプリンタに対して大きすぎます。より大きい用紙を取り付けるか、またはイメージサイズを小さくしてください。
PDL エラー: メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。
PDL エラー: 用紙切れ	用紙を追加してください。
PDL エラー: 解析エラー	印刷ジョブがプリンタで解析できません。作成し直して、再送信してください。プリンタの接続を確認してください。
PDL エラー: 印刷モードエラー	用紙の種類またはジョブに対して指定した印刷品質が不適切です。取り付けられている用紙の種類または印刷設定を変更してください。
PDL エラー: 印刷エラー	ジョブをもう一度送信してください。
PDL エラー: 仮想メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。
プリントヘッドの軸合わせエラー: 用紙が小さすぎます	用紙を取り外し、より大きい用紙を取り付けてください。
[カラー] カートリッジを交換して下さい	カートリッジを交換してください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
[カラー] カートリッジを再度取り付けて下さい	カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。 <a href="#">112 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」</a> を参照してください。
アップデート: 失敗。無効なファイルです。	正しいファームウェアのアップデート ファイルが選択されていることを確認してください。次に、再度アップデートを実行してください。

表 19-2 数値エラーコード

エラーコード	推奨
01.0, 01.1, 01.2	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
21, 21.1, 22.0, 22.1, 22.2, 22.3, 24	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
61:01	ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。プリンタのグラフィック言語設定を確認してください( <a href="#">30 ページの「グラフィック言語の設定を変更する」</a> を参照)。Mac OS 環境で USB 接続を使用して PostScript を送信している場合、ドライバおよびアプリケーションの両方で ASCII エンコードを選択してください。また、最新リリースのファームウェアとドライバであることを確認してください。
62, 63, 64, 65, 67	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 <a href="#">126 ページの「ファームウェアをアップデートする」</a> を参照してください。
71.04	メモリ不足です。この問題を解決するには、HP-GL/2 および HP RTL ドライバで <b>[詳細設定]</b> タブを選択し、 <b>[ビットマップ形式でジョブを送信する]</b> を選択します。

表 19-2 数値エラー コード (続き)

エラー コード	推奨
74.1	もう一度ファームウェアのアップデートを実行してみてください。アップデートの処理中は、コンピュータを使用しないでください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
79:03	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 <a href="#">187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください。
79:04	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 <a href="#">126 ページの「ファームウェアをアップデートする」</a> を参照してください。
81:01, 86:01	フロントパネルに表示される指示に従ってください。HP サポートに問い合わせる前に、テスト手順の実行と数値コードの記録を要求される場合があります。 <a href="#">187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」</a> を参照してください
94, 94.1	カラーキャリブレーションを再度行ってください。 <a href="#">66 ページの「カラー キャリブレーション」</a> を参照してください。

---

## 20 HP カスタマー・ケア

- [はじめに](#)
- [HP プロフェッショナル サービス](#)
- [HP インスタント サポート](#)
- [HP プロアクティブ サポート](#)
- [HP サポートへのお問い合わせ](#)

## はじめに

HP カスタマー・ケアは、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いの HP Designjet から常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識を有し、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP カスタマー・ケアについての詳細は、以下の弊社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/go/graphic-arts/>

または、お電話でお問い合わせください ([187 ページの「HP サポートへのお問い合わせ」](#)を参照)。保証の登録先は以下の通りです。

<http://register.hp.com/>

## HP プロフェッショナル サービス

### Knowledge Center

専用のサービスとリソースを十分にご活用いただくことで、HP Designjet 製品およびソリューションに関して最高のパフォーマンスを実現することができます。

Knowledge Center の HP コミュニティにご登録ください。大判印刷に携わる方々のコミュニティでは以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 使用方法に関する手順書
- ダウンロード – プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート – オンラインのトラブルシューティング、HP カスタマー・ケアへのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからさまざまな印刷作業を完了させるためのワークフローおよび詳細なヒント
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です
- 最新の製品情報 – プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライ センター

ご使用のプリンタの Knowledge Center は、それぞれ次の場所で参照できます。

- <http://www.hp.com/go/T770/knowledgecenter/>
- <http://www.hp.com/go/T770hdd/knowledgecenter/>
- <http://www.hp.com/go/T1200/knowledgecenter/>
- <http://www.hp.com/go/T1200ps/knowledgecenter/>

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

## HP スタートアップ キット

『HP スタートアップ キット』はプリンタに同梱されている CD で、プリンタのソフトウェアやマニュアルが含まれています。

## HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Pack および保証期間の延長により、標準期間を超えてプリンタの保証を延長できます。

HP Care Pack および保証期間の延長には、リモート サポートが含まれます。必要に応じて、2 つの対応時間のオプションをお選びいただけるオンサイト サービスもご提供します。

- 翌営業日
- 同日営業日の 4 時間以内 (一部の国ではご利用いただけません)

HP Care Pack の詳細は、弊社 Web サイト (<http://www.hp.com/go/printservices/>) をご覧ください。

## HP インストレーション

HP インストレーション サービスでは、プリンタを箱から取り出してセットアップし、接続します。

これは HP Care Pack の一例です。詳細は、弊社 Web サイト (<http://www.hp.com/go/printservices/>) をご覧ください。

## HP インスタント サポート

HP Instant Support プロフェッショナル エディションは、プリンタから診断情報を収集し、HP のナレッジベースに蓄積された解決策と照合して迅速に問題を解決する、HP のトラブルシューティング用のツールです。

HP Instant Support のセッションを開始するには、プリンタの内蔵 Web サーバの [トラブルシューティング] ページに表示されるリンクをクリックします。[27 ページの「内蔵 Web サーバにアクセスする」](#)を参照してください。

HP Instant Support を使用するには、以下の条件を満たす必要があります。

- プリンタと TCP/IP で接続されていること。HP Instant Support には、内蔵 Web サーバからのみアクセスできます。
- Web にアクセスできること。HP Instant Support は、Web ベースのサービスです。

HP Instant Support は現在、英語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご利用いただけます。

HP インスタント サポートの詳細については、<http://www.hp.com/go/ispe/> をご覧ください。

## HP プロアクティブ サポート

HP プロアクティブ サポートによってプリンタの問題が顕在化する前に問題の識別、診断、および解決ができ、プリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。HP プロアクティブ サポート ツールは、サポートにかかるコストを削減しながら生産性を最大限発揮できるよう、あらゆる規模のビジネスをお手伝いします。すべての操作はマウスのクリックだけで行えます。

HP イメージング & プリンティング サービス スイートのコンポーネントのひとつであるプロアクティブ サポートは、投資価値の最大化、プリンタ稼働時間の拡大、およびプリンタ管理コストの削減に明確に焦点を当てた、印刷環境の管理を支援するサービスです。

HP では、プロアクティブ サポートを今すぐ有効化して時間を節約し、問題を未然に防ぐようお勧めしています。これによってプリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。またプロアクティブ サポートは、診断を実行してソフトウェアとファームウェアのアップデートをチェックします。

Windows では HP Utility を、Mac OS では HP プリンタ モニタをそれぞれ有効化でき、コンピュータと HP の Web サーバとの接続の頻度、および診断チェックの頻度は指定できます。また、診断チェックは手動で実行することもできます。これらの設定を変更するには、以下の手順に従います。

- Windows の HP Utility で [ツール] メニューを選択し、[HP プロアクティブ サポート] を選択します。
- Mac OS の HP プリンタ モニタで [環境設定] - [監視] - [HP プロアクティブ サポート] を選択します。

プロアクティブ サポートによって潜在的な問題が発見された場合は、アラートで通知され、問題の説明と共に解決方法が推奨されます。場合によっては、解決方法が自動的に適用される場合があります。その他の場合には、問題の解決手順を実行するよう求めるメッセージが表示されます。

## HP サポートへのお問い合わせ

HP サポートはお電話でご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連ドライバのマニュアルを参照してください。
- サードパーティ製のソフトウェア ドライバおよび RIP をインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを参照してください。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
  - お使いのプリンタの情報 (プリンタの背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号)
  - フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取ります ([181 ページの「フロントパネル エラーメッセージ」](#)を参照)。
  - プリンタのサービス ID: フロントパネルで [情報] アイコン  を選択し、次に [プリンタ情報の表示] を選択します。
  - お使いのコンピュータ
  - お使いの特別な機器やソフトウェア (スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェア ドライバなど)
  - お使いのケーブル (製品番号) とケーブルの購入場所
  - プリンタでお使いのインターフェースの種類 (USB、またはネットワーク)
  - 現在使用中のソフトウェアの名前とバージョン
  - 可能であれば、[ネットワークと I/O 設定の印刷]、[プリンタ使用状況の印刷] の全ページを印刷しておいてください。サポート センターからこれらのページの FAX 送信をお願いする場合があります (詳細は、[10 ページの「プリンタの印刷メニュー」](#)を参照)

## 電話番号

HP サポートの電話番号は、Web で提供しています。 [http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html) をご覧ください。

## 21 プリンタ仕様

- [プリンタ機能の仕様](#)
- [物理的仕様](#)
- [メモリの仕様](#)
- [電源の仕様](#)
- [エコロジーに関する仕様](#)
- [動作環境の仕様](#)
- [動作音に関する仕様](#)

## プリンタ機能の仕様

表 21-1 HP No.72 インク サプライ品

プリントヘッド	各プリントヘッドに2種類のインク: グレー/フォトブラック、マットブラック/イエロー、マゼンタ/シアン
インクカートリッジ	69mlのインクが入っているカートリッジ: グレー、フォトブラック、イエロー、マゼンタ、シアン  130mlのインクが入っているカートリッジ: グレー、フォトブラック、マットブラック、イエロー、マゼンタ、シアン  300mlのインクが入っているカートリッジ (T1200 シリーズのみ): マットブラックのみ

表 21-2 用紙サイズ

	最小	最大
ロール紙の幅	279 mm	610 mm または 1118 mm
ロール紙の長さ		91.4 m
カット紙の幅	210 mm	610 mm または 1118 mm
カット紙の長さ	279 mm	1676 mm

表 21-3 印刷解像度

印刷品質	高精細	ドライバ	レンダリング解像度 (ppi)	印刷解像度 (dpi)
高画質 (光沢紙*)	オン	HP-GL/2、HP PCL3	1200 × 1200	2400 × 1200
	オン	PostScript	600 × 600	2400 × 1200
	オフ	任意	600 × 600	1200 × 1200
高画質 (その他の用紙)	オフ	任意	600 × 600	1200 × 1200
標準	オフ	HP-GL/2	600 × 600	1200 × 1200
		PostScript、HP PCL3	300 × 300	1200 × 1200
高速	オフ	HP-GL/2	600 × 600	1200 × 1200
		PostScript、HP PCL3	300 × 300	1200 × 1200
エコノモード (厚手コート紙および光沢紙*)	オフ	任意	300 × 300	1200 × 1200
エコノモード (その他の用紙)	オフ	任意	300 × 300	600 × 1200

\*サポートされている光沢紙については、[130 ページの「用紙について」](#)を参照してください。

表 21-4 マージン

上左右のマージン	5 mm
下マージン (用紙の下端)	5 mm (ロール紙) 17 mm (カット紙)

表 21-5 機構的な精度

指定ベクトル長 $\pm 0.1\%$  または $\pm 0.2\text{mm}$  (いずれか大きい方)、気温 23° C、相対湿度 50 ~ 60%、E/A0 サイズの印刷物に [高品質] または [標準] で HP マットフィルム ロール フィードを使用して印刷。

表 21-6 サポートされているグラフィック言語

HP Designjet	言語
T770	HP PCL3 GUI、HP-GL/2 および HP RTL
T770 HD	HP PCL3 GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CAL S
T770 PS	HP PCL3 GUI、HP-GL/2 および HP RTL、PDF、PostScript
T1200	HP PCL3 GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CAL S
T1200 PS	HP PCL3 GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CAL S、PDF、PostScript、TIFF、JPEG

## 物理的仕様

表 21-7 プリンタの物理的仕様

	HP Designjet T770 24 インチ シリーズ	HP Designjet T770 44 インチ シリーズ	HP Designjet T1200 シリーズ
重量	60 kg	81.6 kg	86 kg
幅	1262 mm	1770 mm	1770 mm
奥行き	最小: 692 mm 最大: 702 mm	最小: 692 mm 最大: 702 mm	最小: 692 mm 最大: 722 mm
高さ	1049 mm	1049 mm	1046 mm (1046 mm)

奥行きには上部スピンドルは含まれておらず、ウォール スペースを上げ、インク カバーを開き、ロール カバーとバスケットを閉じた状態で測定されています。

## メモリの仕様

表 21-8 メモリの仕様

HP Designjet	専用のファイル処理メモリ*	ハードディスク
T770	2GB	-
T770 HD	8GB	160GB
T1200	32GB	160GB
T1200 PS	32GB	160GB

\* 384MB の物理的な DRAM

## 電源の仕様

表 21-9 プリンタの電源の仕様

電源	100 ~ 240V AC $\pm 10\%$ 、自動調整
----	--------------------------------

表 21-9 プリンタの電源の仕様 (続き)

周波数	50-60 Hz
電流	< 2A
消費電力	< 200W

## エコロジーに関する仕様

本製品は、欧州連合における WEEE および RoHS 指令に準拠しています。これらの製品モデルの ENERGY STAR 準拠状況を確認するには、<http://www.hp.com/go/energystar/>を参照してください。

プリンタのエコロジーに関する仕様の最新情報については、<http://www.hp.com/> にアクセスし、「ecological specifications」で検索してください (US サイト)。

## 動作環境の仕様

表 21-10 プリンタの動作環境の仕様

	温度範囲	湿度範囲
オプション印刷品質での動作時	22 ~ 26° C	30 ~ 60%
標準印刷での動作時	15 ~ 35° C	20 ~ 80%
消耗品を取り付けていないプリンタ	5 ~ 40° C	
開梱前の消耗品およびプリンタ	-40 ~ 60° C	

## 動作音に関する仕様

プリンタの動作音に関する仕様 (ISO 9296 に準拠)

表 21-11 プリンタの動作音に関する仕様

アイドル状態の騒音出力レベル	4.4B (A)
動作時の騒音出力レベル	6.3 B (A)
アイドル状態のバイスタンダ位置での音圧	29dB (A)
動作時のバイスタンダ位置での音圧	46 dB (A)

# 用語集

**AppleTalk** Apple Computer 株式会社が 1984 年に開発したコンピュータ ネットワーク用のプロトコル ツール。Apple は、現在では TCP/IP ネットワークを推奨しています。

**Bonjour** IETF のゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。ローカル エリアネットワークで使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

**ESD** 静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れるとスパークしたり、衣服を張り付けたりします。制御された静電気には役に立つ用途がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害の 1 つとなります。したがって、破損を防ぐには、製品を設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の 1 つは、静電気放電に敏感なデバイス (プリントヘッドまたはインクカートリッジなど) を扱う前に、製品の接地した箇所 (主に金属部分) に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

**HP-GL/2** Hewlett-Packard Graphics Language 2: HP 社が定義するベクトル グラフィック描画用の言語。

**HP RTL** Hewlett-Packard Raster Transfer Language: HP 社が定義するラスタ (ビットマップ) グラフィック描画用の言語。

**I/O** 入出力: デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

**ICC** International Color Consortium (国際カラーコンソーシアム) の略語。カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体です。

**IP アドレス** TCP/IP ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4 組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

**Jetdirect** HP 社のプリントサーバシリーズの商品名。直接ローカル エリア ネットワークへ接続することが可能になります。

**LED** 発光ダイオード: 電氣的な刺激が与えられると発光する半導体機器です。

**MAC アドレス** Media Access Control address (メディア アクセス コントロール アドレス) の略: ネットワーク上で、特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持つ場合があります。

**Rendezvous** Apple Computer 社のネットワーク ソフトウェアの元の名称。現在は Bonjour と呼ばれます。

**TCP/IP** 伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル: インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

**USB** Universal Serial Bus (ユニバーサル シリアル バス) の略。コンピュータに接続するために設計された標準シリアルバスです。

**イーサネット** ローカル エリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

**インクカートリッジ** 取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

**カッター** プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

**ガモット** プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能なカラーおよび濃度値の範囲。

**カラー空間** 各カラーが一連の固有の数値で表されるカラーモデル。多くの異なるカラー空間が同じカラーモデルを使用できます。たとえば、通常、モニタはRGBカラーモデルを使用しますが、特定のRGB数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー空間を持ちます。

**カラーの一貫性** 大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

**カラーモデル** RGBまたはCMYKなど、数値でカラーを想定したシステム。

**カラー精度** 元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

**スピンドル** 印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

**ノズル** プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

**ファームウェア** プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます (アップデート可能)。

**プラテン** プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

**プリンタドライバ** 生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

**プリントヘッド** 取り外し可能なプリンタコンポーネント。対応するインクカートリッジから1つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。HP Designjet T770 および T1200 シリーズでは、2つの異なったカラーが各プリントヘッドで印刷されます。

**用紙** 書いたり印刷したりすることを目的に製造される、薄くて平らな素材。用紙の多くは、繊維をパルプにしたり、乾燥および圧縮させて製造されます。

# 索引

## 記号/数字

2本のロール紙 [T1200] 46

## A

Autodesk Design Review  
から印刷 80

## H

HP Care Pack 186  
HP-GL/2 30  
HP Utility  
アクセス 27, 177  
言語 28  
HP インスタント サポート 186  
HP インストラクション 186  
HP カスタマー・ケア 185  
HP サポート 187  
HP スタートアップ キット CD 2  
HP スタートアップ キット 186  
HP プロアクティブ サポート  
ト 186

## I

IP アドレス 27

## J

Jetdirect プリント サーバ 135

## K

Knowledge Center 185

## M

Microsoft Office  
からの印刷 97

## P

PANTONE エミュレーション 71  
PANTONE 見本帳 74  
PDF 内のオブジェクトが印刷され  
ない 163  
PDF の一部が印刷されない 163  
PostScript アップグレード  
[T770] 134

## Q

QuarkXpress、使用できないドライ  
バの機能 179

## V

Visio 2003、出力されない 178

## あ

アカウントING 110  
アカウント ID [T1200]  
要求 24  
アクセサリ  
注文する 134  
アクセス コントロール 24  
アラート  
エラー 179  
オン/オフにする 23  
警告 179  
安全なディスク消去 127  
安全に関する注意事項 2

## い

一時停止しています  
メッセージ [T1200] 140  
一部のイメージ 161  
イメージ診断の印刷 163  
イメージの問題  
PDF の問題 163  
Visio 2003 178  
161  
印刷されないオブジェク  
ト 162  
下部の一部が印刷されな  
い 161

## 色

正確に再現されない 160

## インク

使用状況 110  
節約して使用 62

## インクカートリッジ

詳細 113  
仕様 189  
ステータス 113

注文する 130  
取り付けられない 167  
取り付け 115  
取り外し 114  
保守 125

印刷解像度 189

印刷が遅い 176

## 印刷ジョブ

インクの使用状況 110

作成する 50

送信 [T1200] 50

ネスティング [T1200] 61

用紙の使用状況 110

## インサツヒンシツノモンダイ

ぼやけた線 155

## 印刷品質の問題

一般的な 150

インクが残る 157

印刷物の下部 159

ウィザード 150

黒インクが擦れる 158

擦り切れる 157

線の太さ 152

段状の線画 153

白色の点 160

端が段状になっているかまたは

鮮明ではない 159

端が予期したよりも暗い 159

バンディング 151

不正確な線の長さ 155

間違った色 153

用紙が平らになっていな  
い 156

横線 151

粒状感 156

連続していない線 154

## 縦線の色が異なる

縦線の色が異なる 159

## 印刷品質

選択 51

印刷メニュー 10

印刷を拡大縮小する 55

印刷をプレビューする 56

- インスタント サポート 186
- う**
- ウォール スペーサ 7
- え**
- エコロジーに関する仕様 191
- エラー メッセージ、フロントパネル 181
- か**
- 外部ハード ディスク [T1200] 135
- 確認のための試し印刷 78
- 重なった線 55
- カスタマー・ケア 185
- カッター
  - オン/オフ 45
- カット紙
  - 取り付け 39
  - 取り外し 41
- 下部の一部が印刷されない 161
- カラー
  - CMYK 66
  - RGB 66
  - 色あせ 161
  - エミュレーション 72
  - キャリブレーション 66
  - 調整オプション 69
  - プリンタ エミュレーション 68
  - プロファイル 66
  - 利点 66
- カラーの色あせ 161
- カラアマネジメント
  - オプション 68
- カラーマネジメント
  - EWS から [T1200] 73
  - PostScript ドライバから 71
  - ドライバから 68
  - プロセス 66
  - フロントパネルから 75
- 環境設定、Windows ドライバ 24
- 乾燥時間
  - 変更 44
- き**
- 機構的な精度 190
- キャリブレーション
  - カラー 66
- 切り取り線 [T1200] 60
- く**
- グラフィック言語 190
- クリーニングを行う、プラテン 158
- グレースケール 58
- け**
- 言語 27
- こ**
- 構成する 29
- 黒点の補正 74
- このガイドの使用方法 2
- コンピュータの通信
  - コンピュータとプリンタ間の通信の問題 176
- さ**
- サポート サービス
  - HP Care Pack 186
  - HP インスタント サポート 186
  - HP カスタマー・ケア 185
  - HP サポート 187
  - HP スタートアップ キット 186
  - HP プロアクティブ サポート 186
  - Knowledge Center 185
  - プリンタのインストール 186
  - 保証期間の延長 186
- し**
- 使用状況に関する情報
  - オン/オフにする 23
- 情報
  - インクカートリッジ 113
  - プリンタ使用状況 110
- 仕様
  - インク サプライ品 189
  - 印刷解像度 189
  - エコロジーに関する 191
  - 機構的な精度 190
  - グラフィック言語 190
  - 電源 190
  - 動作音 191
  - 動作環境 191
  - ハードディスク 190
  - 物理的 190
  - プリンタ機能 189
  - マージン 189
  - メモリ 190
  - 用紙サイズ 189
- ショートカット 53
- ショートカットを使用して印刷する 53
- ジョブ キュー
  - 内蔵 Web サーバ [T1200] 104
- ジョブ
  - 作成する 50
  - 送信 [T1200] 50
  - ジョブのステータス 107
  - ジョブの送信 [T1200] 50
  - ジョブのプレビュー
    - 内蔵 Web サーバ [T1200] 105
  - ジョブを再印刷する 107
  - 白黒 58
- す**
- スピンドル
  - ロール紙の取り付け 33
- スリープ モード待ち時間 28
- 擦り切れた印刷 157
- せ**
- セキュリティ 24
- 節約
  - インク 62
  - 用紙 60
- 前回のジョブを再印刷する 60
- 線の長さの正確さ 155
- 線の太さ 152
- 前面図 5
- そ**
- ソフトウェア アップデート 127
- ソフトウェア 9
- た**
- 試し印刷 56
- 段状の線画 153
- ち**
- 注文する
  - アクセサリ 134
  - インクカートリッジ 130
  - プリントヘッド 130
  - 用紙 130
- つ**
- 通信ポート 7
- て**
- ディスク消去、安全な 127
- 電源の仕様 190
- 電源
  - オン/オフ 26
- 電話番号 187

- と
  - 動作音に関する仕様 191
  - 動作環境の仕様 191
  - ドライバに含まれない用紙 139
  - ドライバの環境設定 24
  - ドライバの機能
    - QuarkXpress 179
- な
  - 内蔵 Web サーバ
    - アクセス 27
    - アクセスできない 177
    - インクおよび用紙の使用状況 110
    - 言語 28
    - ジョブキュー [T1200] 104
    - ジョブのプレビュー [T1200] 105
    - プリンタの使用状況に関する情報 110
- ね
  - ネスティング [T1200]
    - オン/オフにする 22
  - ネットワーク設定 29
- は
  - ハード ディスク、外部 [T1200] 135
  - ハードディスクの仕様 190
  - ハードディスクを安全に消去する 127
  - 背面図 6
  - バスケット
    - 排出の問題 145
  - バンディングの問題 146
- ひ
  - 品質、高い 57
- ふ
  - ファームウェア アップデート 126
  - ファイル システムの確認 178
  - ファイルの印刷[T1200] 50
  - ブザーのオン/オフ 28
  - 物理的仕様 190
  - プラテンのクリーニング 158
  - プリンタが起動しない 175
  - プリンタ機能の仕様 189
  - プリンタ ステータス 125
  - プリンタ ソフトウェア
    - Mac OS のアンインストール 18
    - Windows のアンインストール 14
  - プリンタで印刷されない 175
  - プリンタに接続する
    - Mac OS に直接 17
    - Mac OS ネットワーク 14
    - Windows に直接 12
    - Windows ネットワーク 12
  - プリンタの主な機能 4
  - プリンタの主なコンポーネント 5
  - プリンタの機能 4
  - プリンタのコンポーネント 5
  - プリンタ モデル 4
  - プリンタを移動する 125
  - プリンタをクリーニングする 125
  - プリンタを接続する
    - 方法を選択する 12
  - プリンタを保管する 125
  - プリントヘッドクリーナ
    - 仕様 189
  - プリントヘッド ドロップ検出器
    - クリーニング 168
  - プリントヘッド
    - クリーニング除去 168
    - 交換する、取り付け直す 167
    - 詳細 116
    - 仕様 189
    - ステータス 116
    - 注文する 130
    - 取り付けられない 167
    - 取り付ける 120
    - 取り外し 117
  - プリントヘッドの
    - 軸合わせ 171
  - プレゼンテーション、印刷 90
  - プロアクティブ サポート 186
  - プロジェクト、印刷 80
  - フロントパネルオプション
    - 再印刷 107
  - フロントパネル オプション
    - CMYK ソース プロファイル 76
    - HP Utility ソフトウェア 177
    - I/O タイムアウトの選択 161
    - PANTONE エミュレーション 76
    - RGB ソースプロファイル 76
    - イメージ診断の印刷 163
    - インクカートリッジ情報 113
  - インクカートリッジの交換 114
  - 印刷品質 51
  - 印刷メニュー 10
  - エコノモードの有効化 57
  - 拡張精度のキャリブレーション 147
  - 拡張精度の調整 147
  - 拡張精度のリセット 148
  - カッターの有効化 45
  - 画面コントラストの選択 29
  - カラー キャリブレーション 67
  - カラー/グレースケール 76
  - 乾燥時間の選択 44
  - 切り取り線の有効化 60
  - グラフィック言語の選択 30
  - 言語の選択 27
  - 高精細の有効化 58
  - 黒点補正 76
  - サイズ変更 55
  - スリープ モード待ち時間 28
  - 接続の情報を表示する 177
  - 接続の情報を表示する 177
  - 設定の表示 14
  - 設定の変更 30
  - 前回のジョブの再印刷 60
  - 単位の選択 29
  - 内蔵 Web サーバを使用 177
  - 排紙/カット 44, 45, 145, 146
  - ブザーの有効化 28
  - プリンタ情報の表示 187
  - プリンタのエミュレート 76
  - プリントヘッド情報 116, 152, 156
  - プリントヘッドのクリーニング 168
  - プリントヘッドの交換 117
  - プリントヘッドの軸合わせ 172
  - マージ設定の有効化 56
  - 待ち時間の選択 62
  - 有効なロールの選択 21
  - 用紙が一致しない場合の動作 21
  - 用紙サイズの選択 52
  - 用紙情報 42
  - 用紙の種類を選択 139
  - 用紙を移動 44
  - レンダリング用途 76
  - ロール紙切替オプション 21
  - ロール紙の取り外し 38
  - ロールの保護 63

フロントパネルのコントラスト 29  
フロントパネルのボタン  
インク容量の表示 8  
印刷の一時停止 [T1200] 8  
情報の表示 8  
排紙/カット 8  
用紙の取り外し [T770] 8  
フロントパネル  
言語 27  
コントラスト 29  
単位 29

へ  
ページサイズ 52

ほ  
ポート 7  
保守キット 127  
保証期間の延長 186  
ぼやけた線 155

ま  
マージン  
仕様 189  
なし [T1200] 59  
間違った色 153  
マルチロール プリンタ  
[T1200] 46

む  
無人印刷 [T1200] 63

め  
メモリ アップグレード  
[T770] 134  
メモリ エラー (AutoCAD) 178  
メモリの仕様 190

も  
モデル、プリンタ 4

や  
夜間印刷 [T1200] 63

よ  
用紙が一致しない場合の動作  
[T1200] 21  
用紙の一時停止  
有効化/無効化 141  
用紙の種類 130  
用紙の適合性 [T1200] 21  
用紙の取り付けの問題 137

用紙の取り付け  
一般的なヒント 32  
カット紙を取り付けられない 138  
ドライバに含まれない用紙 139  
取り付けられない 137  
プリンタへのロール紙の 34  
ロール紙を取り付けられない 137  
用紙を取り付けられない 137  
用紙を取り付ける  
用紙 39  
ロール紙をスピンドルに 33  
用紙を取り外す  
用紙 41  
用紙  
移動 44  
拡張精度のキャリブレーション 146  
サイズ 52  
サイズ (最大と最小) 189  
種類の選択 54  
詳細設定 45  
使用状況 110  
情報を表示する 42, 43  
節約使用 60  
平らになっていない 156  
詰まっている 142  
ドライバに含まれない用紙 139  
取り付けのエラー メッセージ 138  
取り付けられた用紙に印刷 140  
取り付けられている用紙への印刷 54  
取り付けられない 137  
排紙/カット 45  
バスケットへの排出の問題 145  
プリセットのダウンロード 43  
プリセット 43  
保守 44  
間違った用紙への印刷 140

り  
粒状感 156

れ  
レンダリング用途 74

ろ  
ロール紙切替オプション  
[T1200] 21  
ロール紙の保護 [T1200] 63  
ロール紙保護 [T1200] 63  
ロール紙  
スピンドルに取り付ける 33  
取り付け 34  
取り外す 38  
ロール紙を取り外す  
ロール紙 38